

照会先：

医政局医事課医師臨床研修推進室

課長補佐 井内

専門官 村重

電話 03-5253-1111

内線 2563、4124

## 「臨床研修に関する調査」報告 のポイント

平成 18 年 8 月 31 日

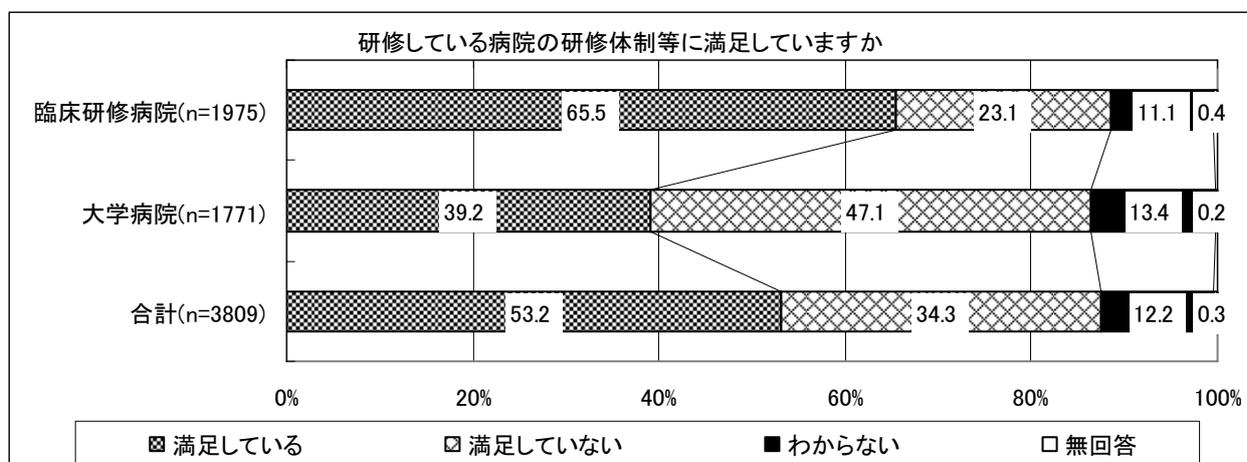
## < 2 年次研修医への調査より >

### 1. 臨床研修体制・プログラムについて

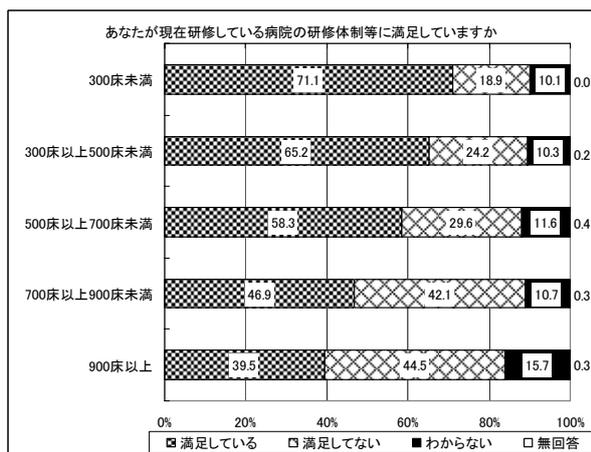
(1) 研修体制についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高く、また、病床規模が小さい病院ほど高い。

昨年度（1 年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が 11.0 ポイント増加、満足していない者が 0.7 ポイント減少しているが、大学病院では満足している者、満足していない者ともに 4 ポイント程度増加している。

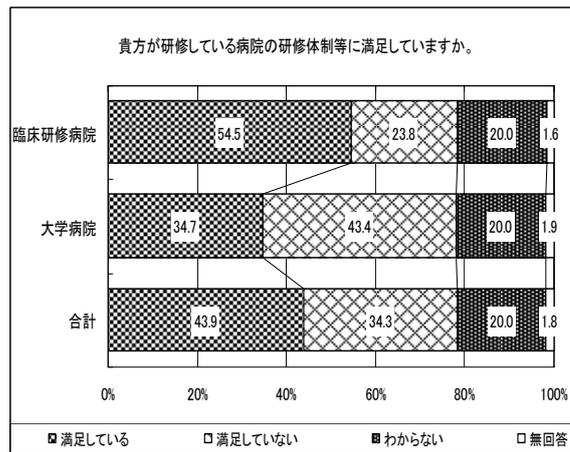
#### ●平成 17 年度 研修体制についての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



#### ●平成 17 年度（病床規模別） 研修体制についての満足度



#### ●平成 16 年度（臨床研修病院/大学病院） 研修体制についての満足度

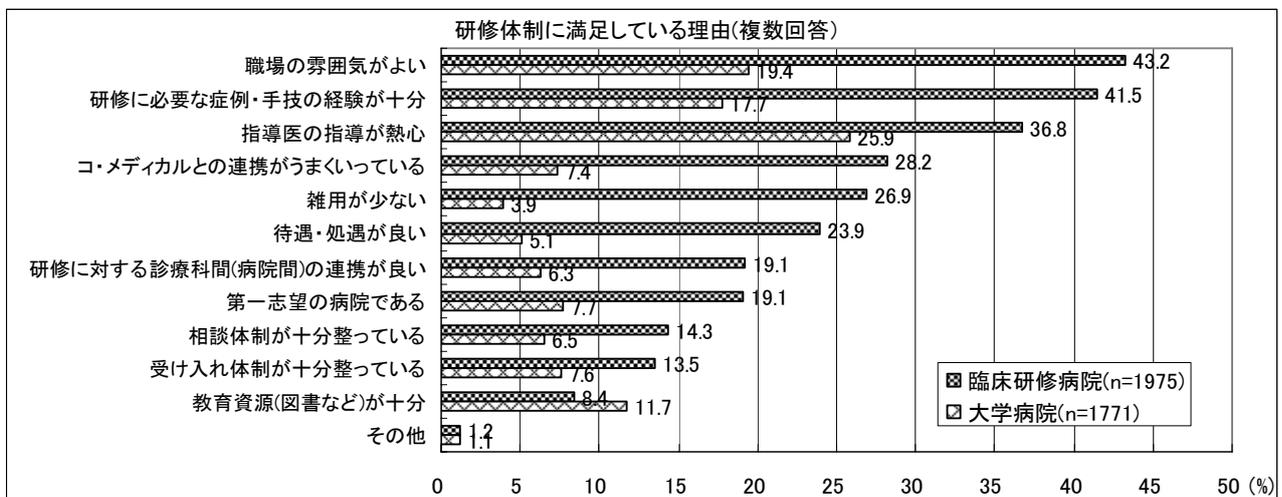


(2) 研修体制に満足している理由、満足していない理由

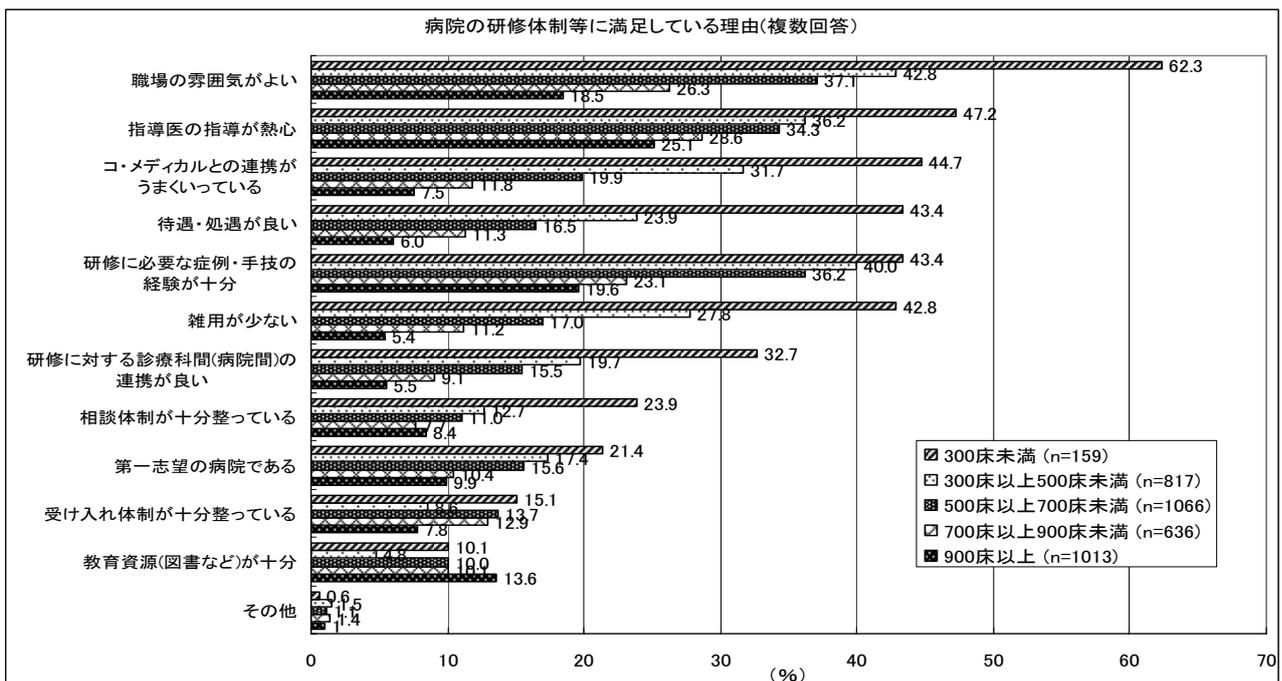
1) 研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気が良い」(43.2%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(41.5%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(25.9%)等が多い。また、300床未満の病院において「職場の雰囲気がよい」等の理由が挙げられている。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。今後の「満足している理由」「満足していない理由」は同様の計算法を行っている。)

●平成17年度 研修体制に満足している理由（臨床研修病院 / 大学病院）

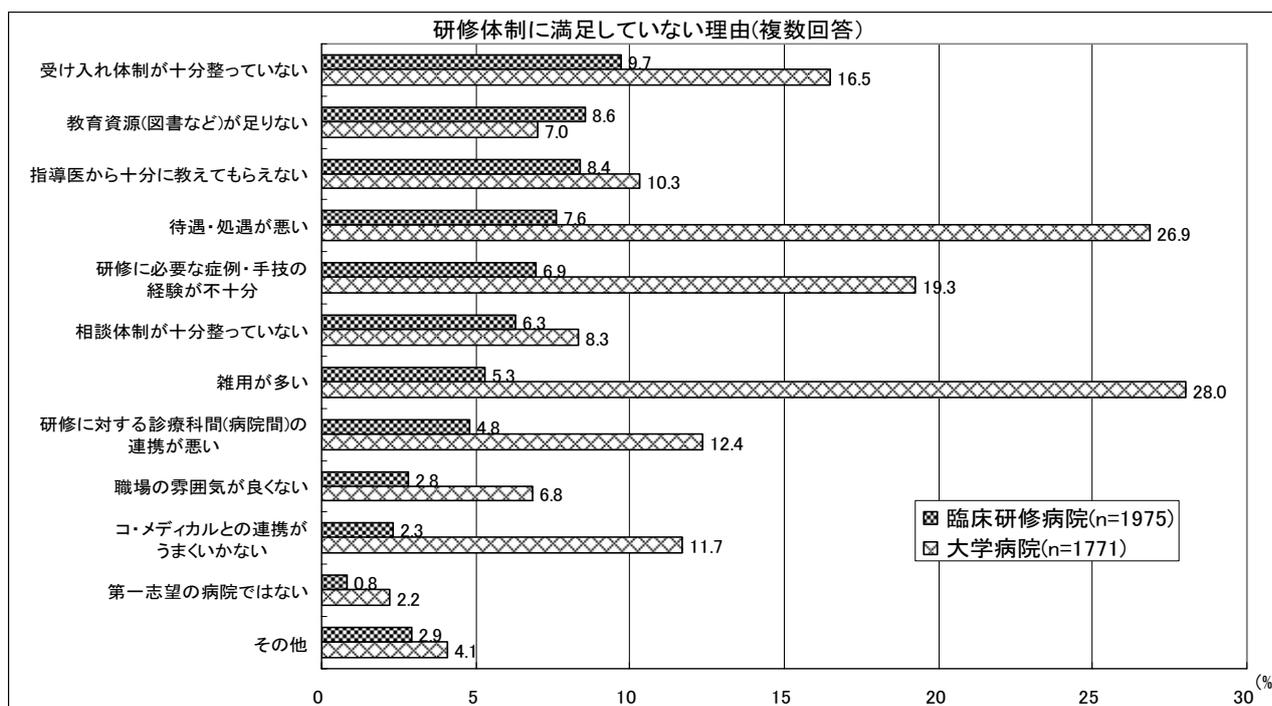


●平成17年度 研修体制に満足している理由（病床規模別）

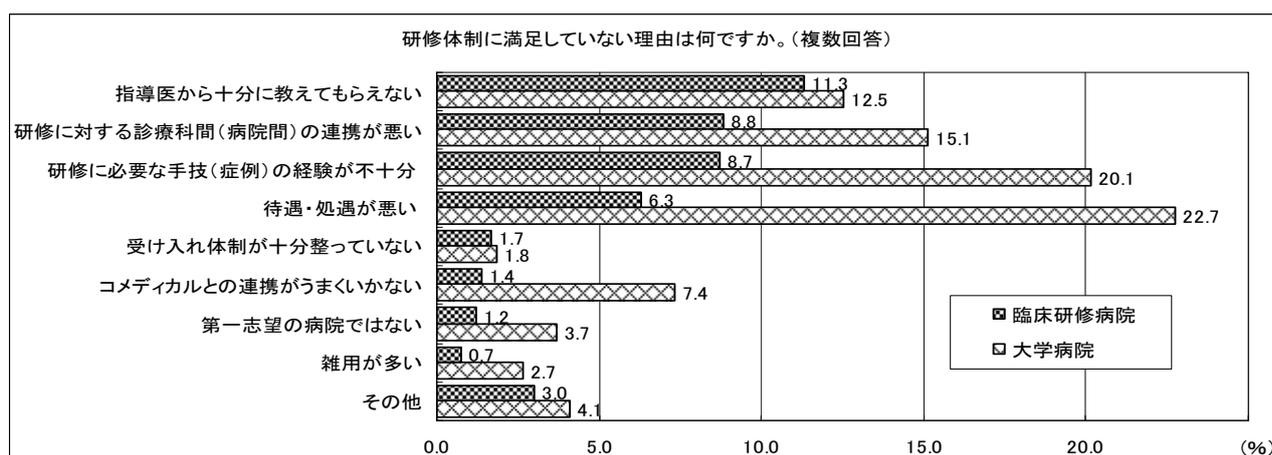


2) 研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「受け入れ体制が十分整っていない」(9.7%)、大学病院においては「雑用が多い」(28.0%)、「待遇・処遇が悪い」(26.9%)等が多い。また、昨年(1年次研修医)の満足していない理由と比べ、特に「受け入れ体制が十分整っていない」、「雑用が多い」が大きく増加している。

●平成17年度 研修体制に満足していない理由(臨床研修病院/大学病院)



●平成16年度研修体制に満足していない理由(臨床研修病院/大学病院)



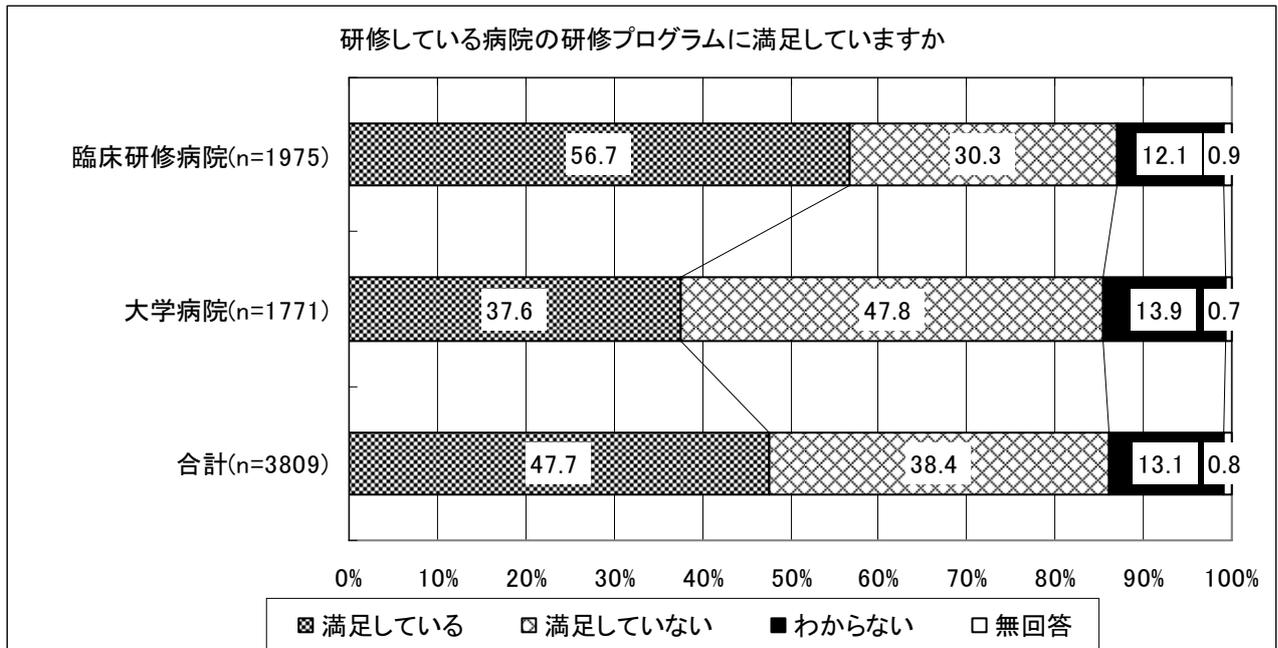
●研修体制に満足していない理由(平成16年度/平成17年度比較)

		平成16年度	平成17年度
受け入れ体制が十分整っていない	臨床研修病院	1.7%	9.7%
	大学病院	1.8%	16.5%
雑用が多い	臨床研修病院	0.7%	5.3%
	大学病院	2.7%	28.0%

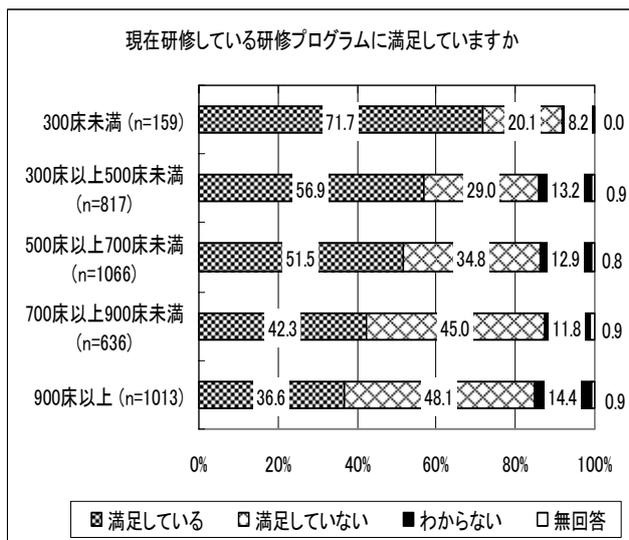
(3) 研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高く、また、病床規模が小さい病院ほど高い。

昨年度（1 年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が 6.5 ポイント、満足していない者が 1.2 ポイント、大学病院では満足している者が 3.1 ポイント、満足していない者は 4.7 ポイント増加している。

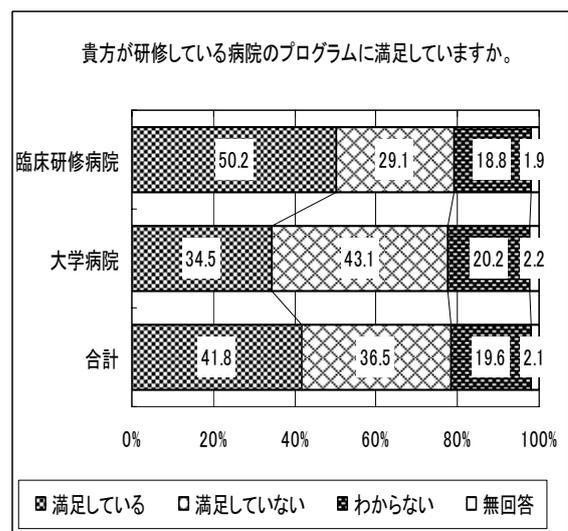
●平成 17 年度 研修プログラムについての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



●平成 17 年度（病床規模別）  
研修プログラムについての満足度



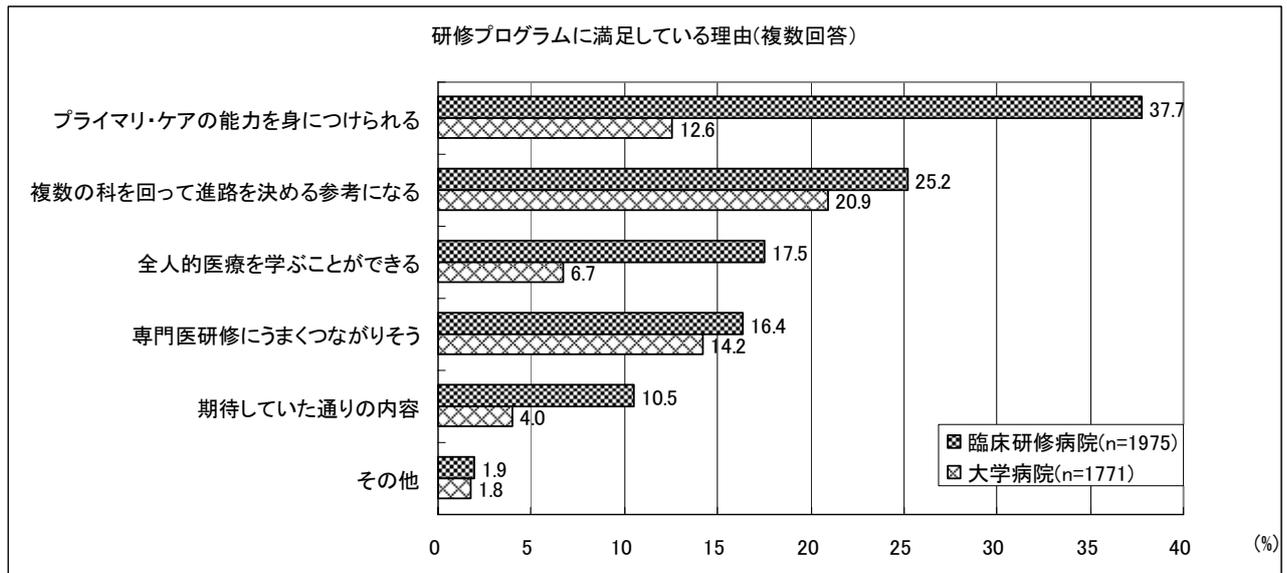
●平成 16 年度（臨床研修病院/大学病院）  
研修プログラムについての満足度



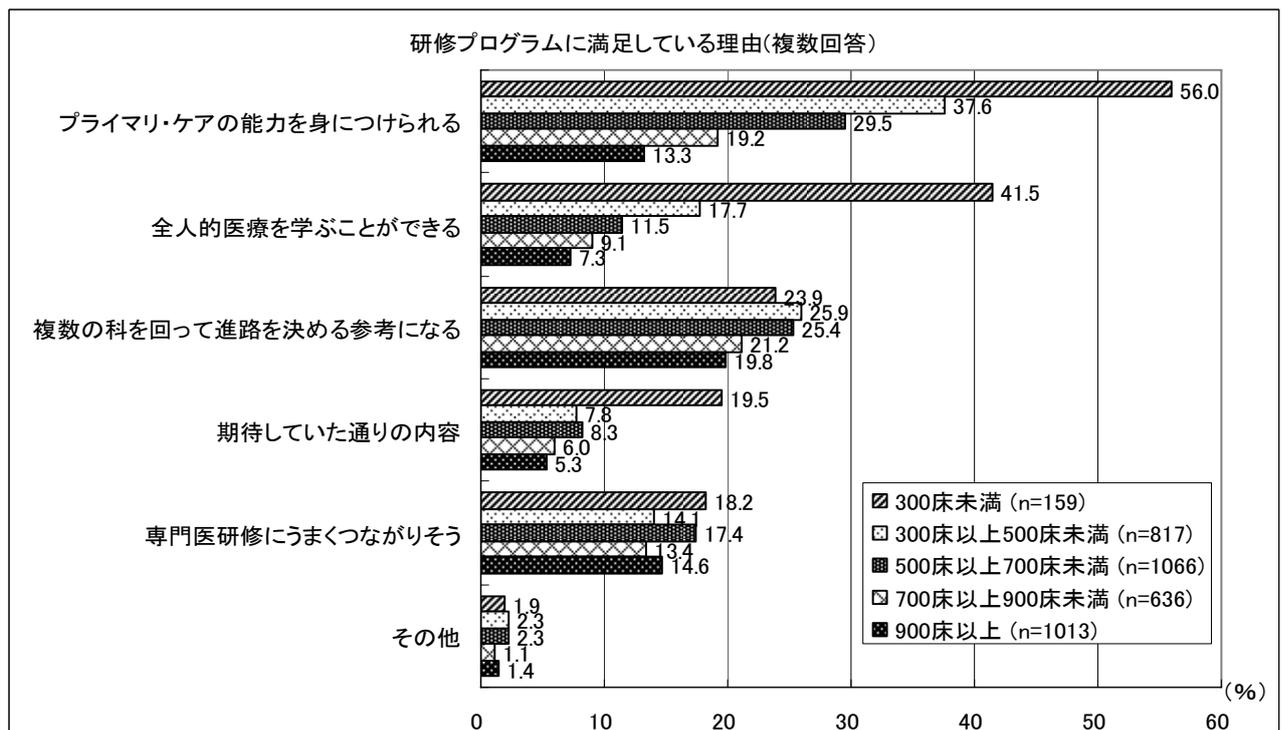
(4) 研修プログラムに満足している理由、満足していない理由

- 1) 研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.7%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.2%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(20.9%)等が多い。また、特に300床未満の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」「全人的医療を学ぶことができる」が多い。

●平成17年度 研修プログラムに満足している理由（臨床研修病院 / 大学病院）



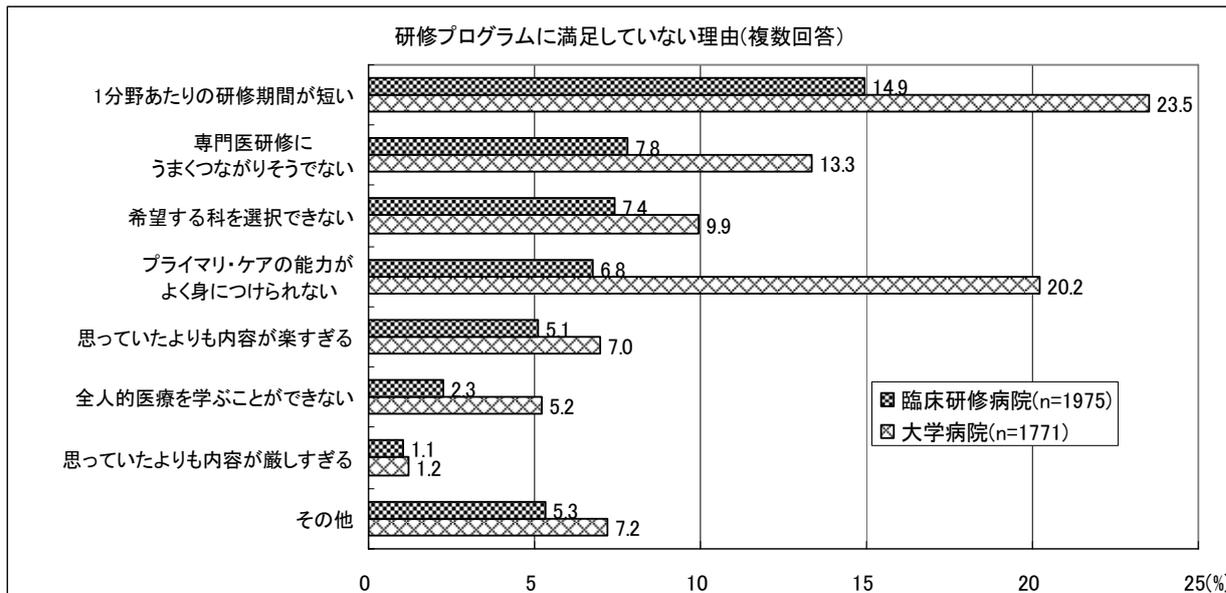
●平成17年度 研修プログラムに満足している理由（病床規模別）



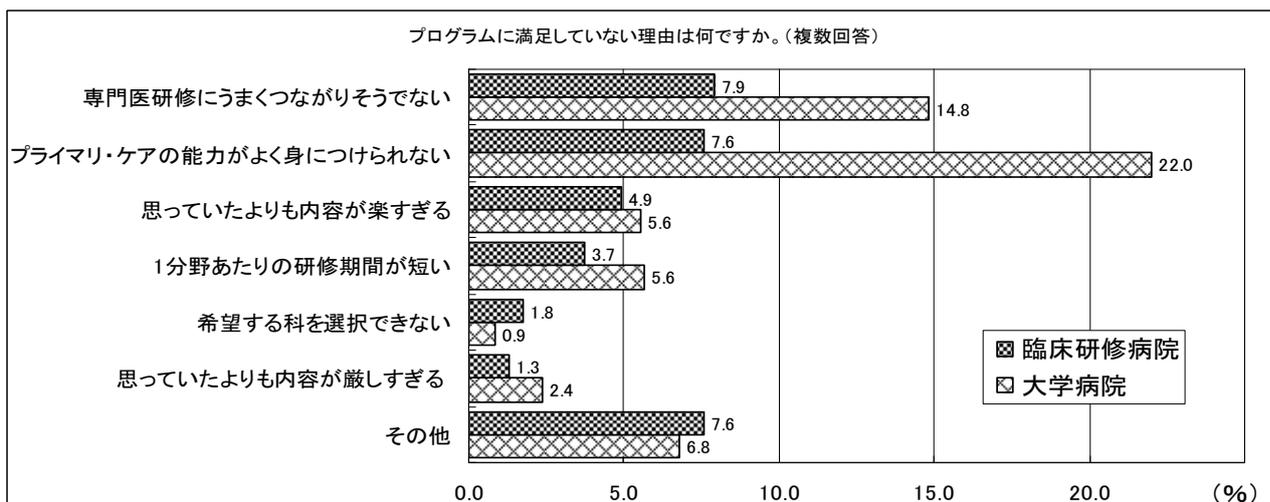
2) 研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い(14.9%)」、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短い(23.5%)」「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない(20.2%)」等が多い。

また、昨年(1年次研修医)と比べると、特に「1分野あたりの研修期間が短い」が増加している。

●平成17年度 研修プログラムに満足していない理由(臨床研修病院 / 大学病院)



●平成16年度 研修プログラムに満足していない理由(臨床研修病院 / 大学病院)

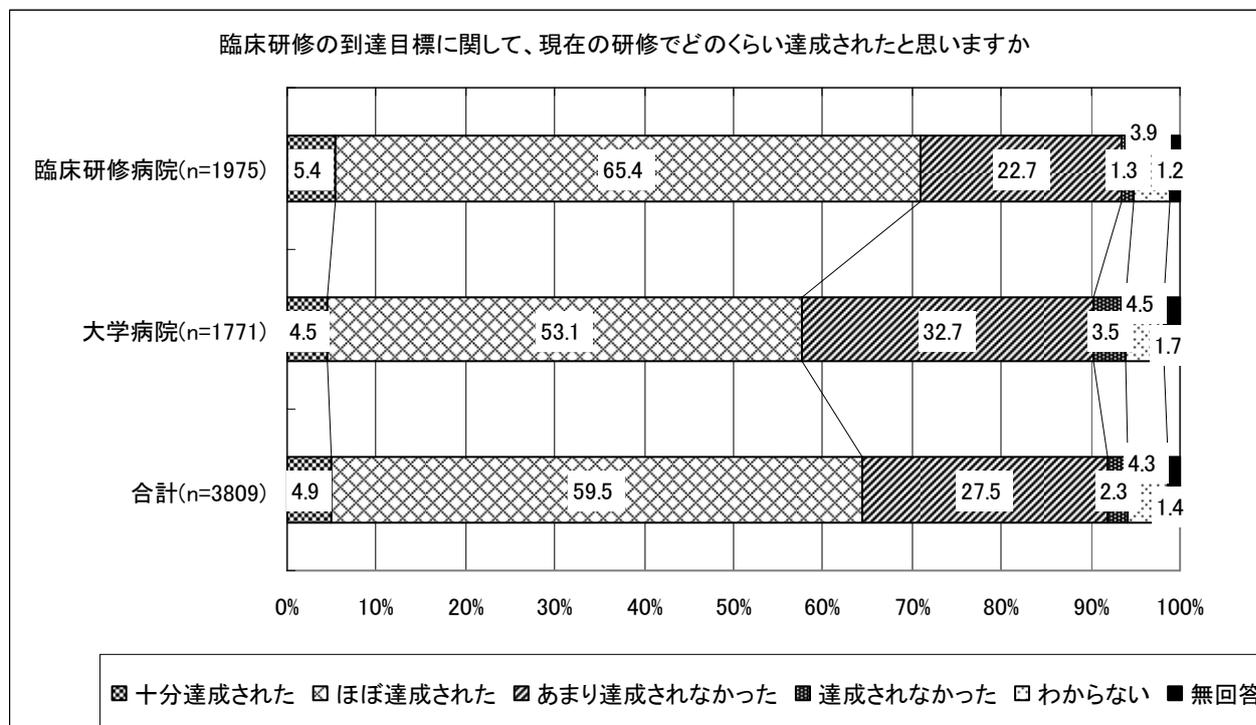


●研修体制に満足していない理由(平成16年度/平成17年度比較)

		平成16年度	平成17年度
1分野あたりの研修期間が短い	臨床研修病院	3.7%	14.9%
	大学病院	5.6%	23.5%

(3) 目標が十分、もしくはほぼ達成されたとした研修医の割合は、全体では 64.4%、臨床研修病院では 70.8%、大学病院では 57.6%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。

●平成 17 年度 臨床研修の目標達成度（臨床研修病院 / 大学病院）



## 2. 臨床研修修了後の進路について

### (1) 臨床研修修了後の研修・勤務先

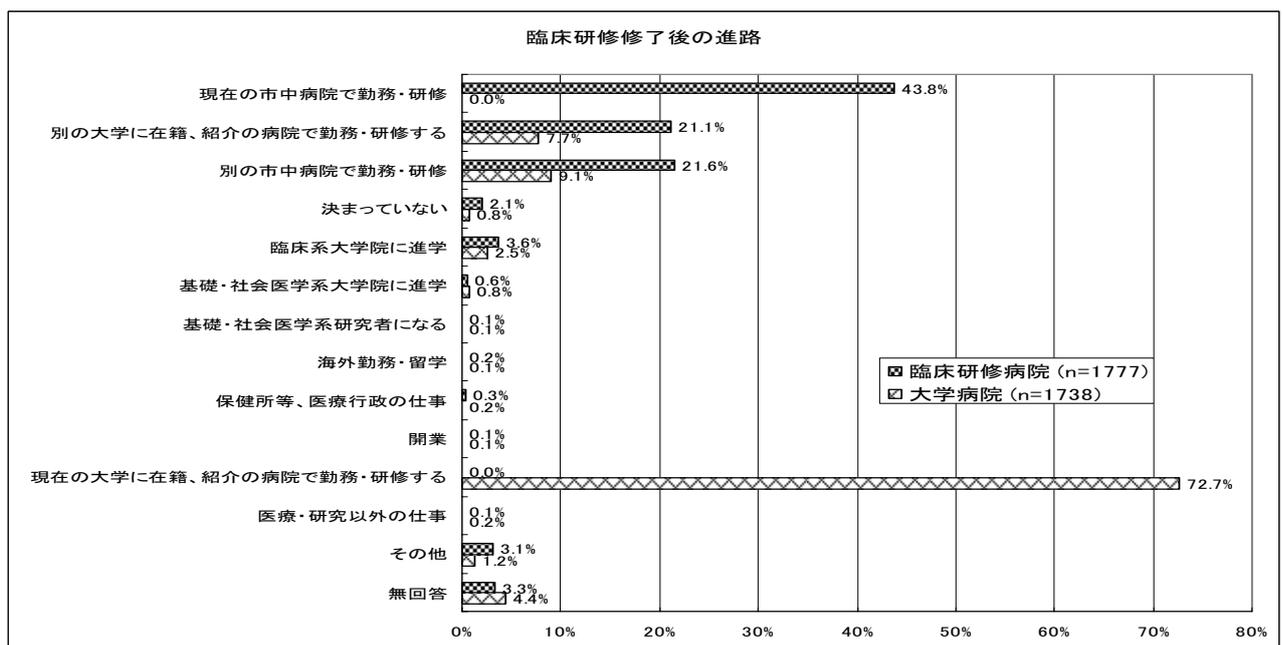
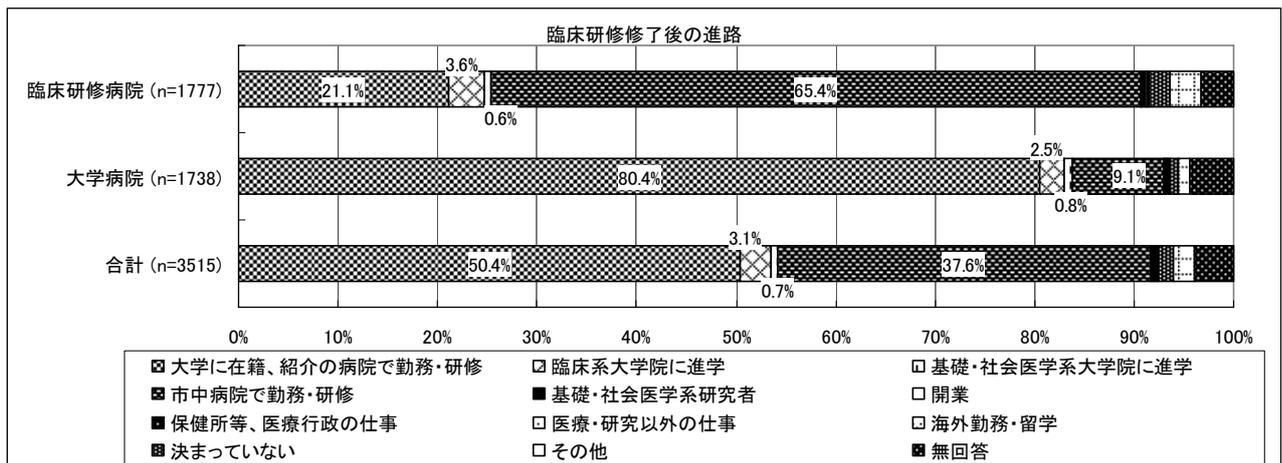
臨床研修修了後の進路は、大学病院で勤務・研修を行う者は50.4%（大学院を入れると54.2%）、市中病院で勤務・研修を行う者は37.6%であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、臨床研修後に大学で勤務・研修を行う者の割合は80.4%（大学院を入れると83.7%）であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は21.1%（大学院を入れると25.3%）であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、研修修了後に市中病院で勤務・研修を行う者の割合が9.1%であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は65.4%であった。

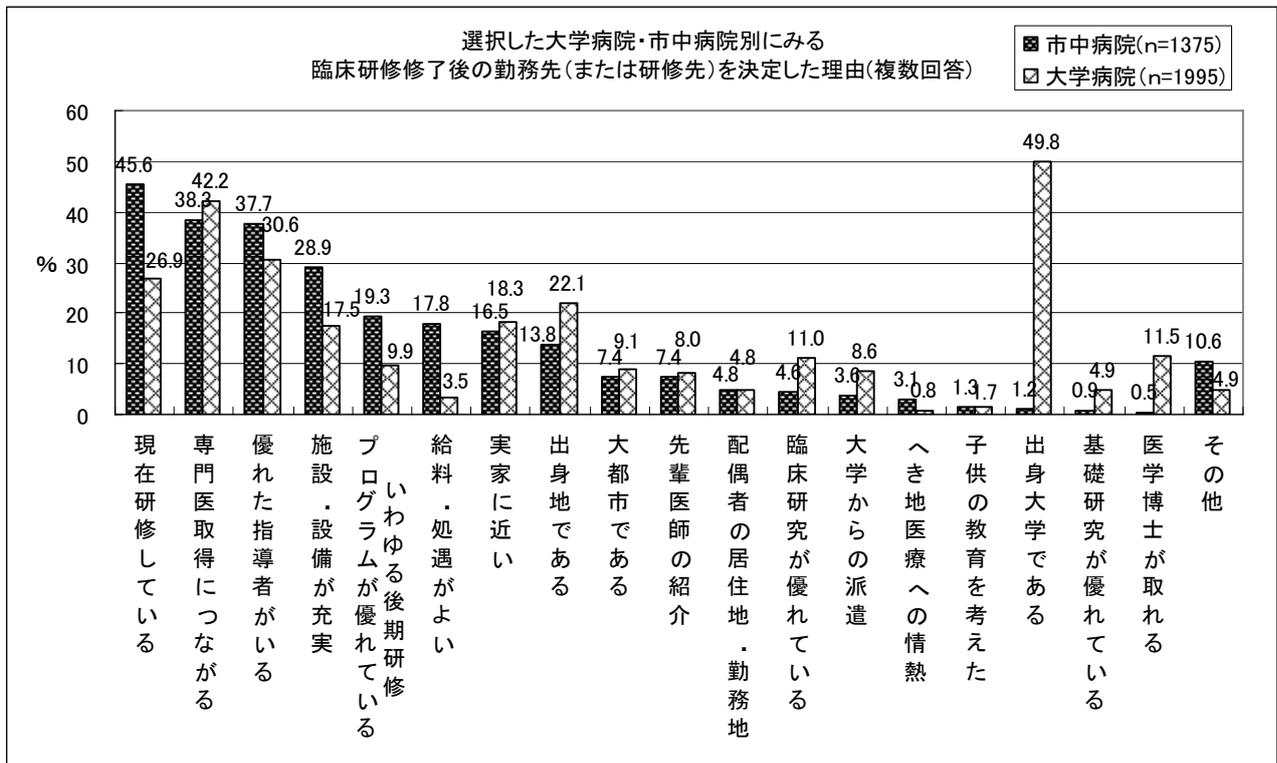
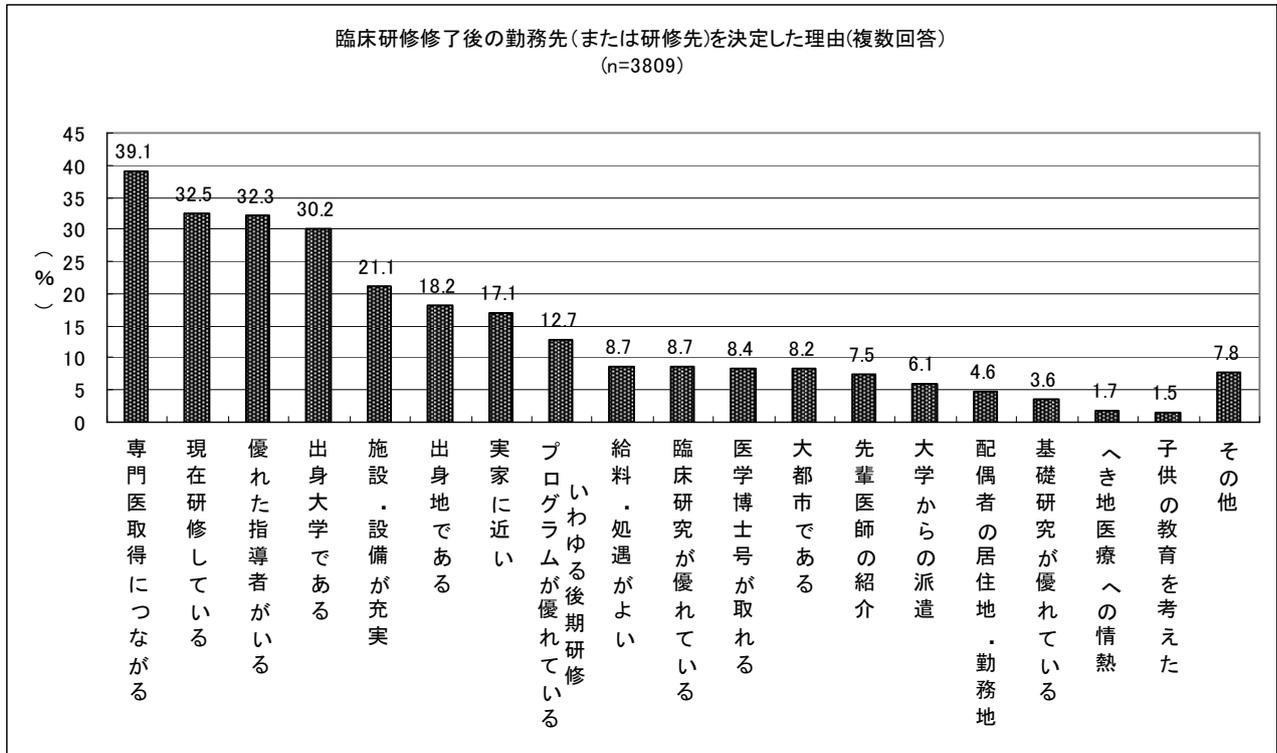
研修後も臨床研修を行った病院にて研修・勤務を引き続き行う傾向があり、特に大学病院ではその傾向が強い。

### ●臨床研修後の進路（臨床研修病院 / 大学病院）



(2) 研修修了後の研修・勤務先を決定した理由

臨床研修修了後の勤務・研修先を決定した理由では、全体では、「専門医取得につながる」(39.1%)、「現在研修している」(32.5%)、「優れた指導者がいる」(32.3%)、「出身大学である」(30.2%)等が上位を占めた。

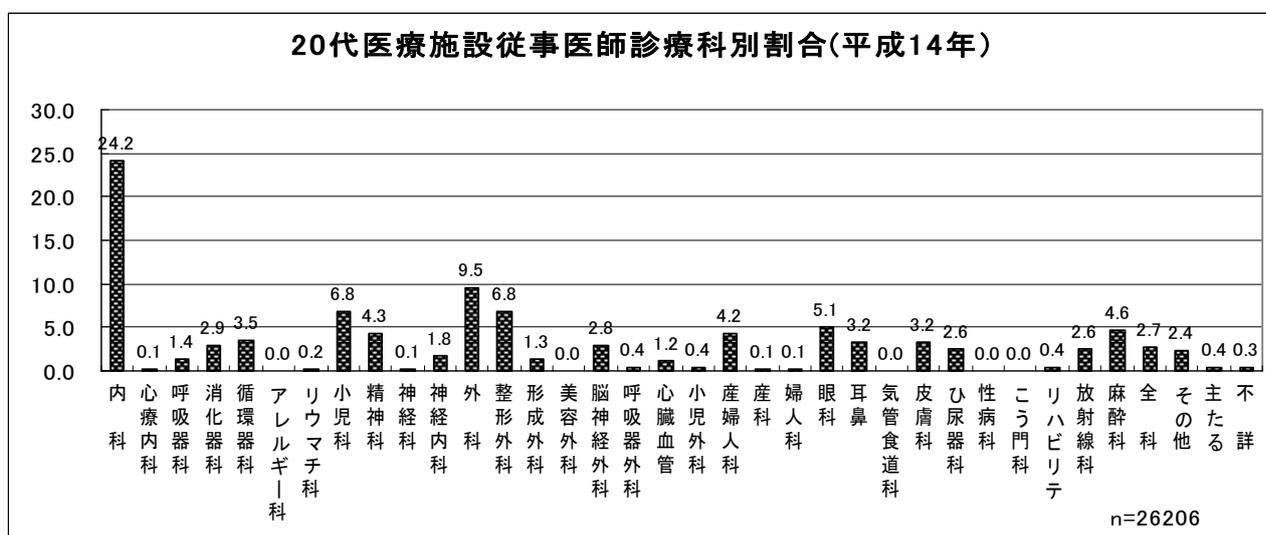


(3) 研修後に専門としたい診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた 3298 人のうち、最も多い科は内科で 14.6%であった。また、小児科は 7.5%、産婦人科は 4.9%、麻酔科は 5.8%であった。小児科、産婦人科、麻酔科に関しては、20 代医療施設従事医師診療科別割合（平成 14 年）よりも高くなっている。

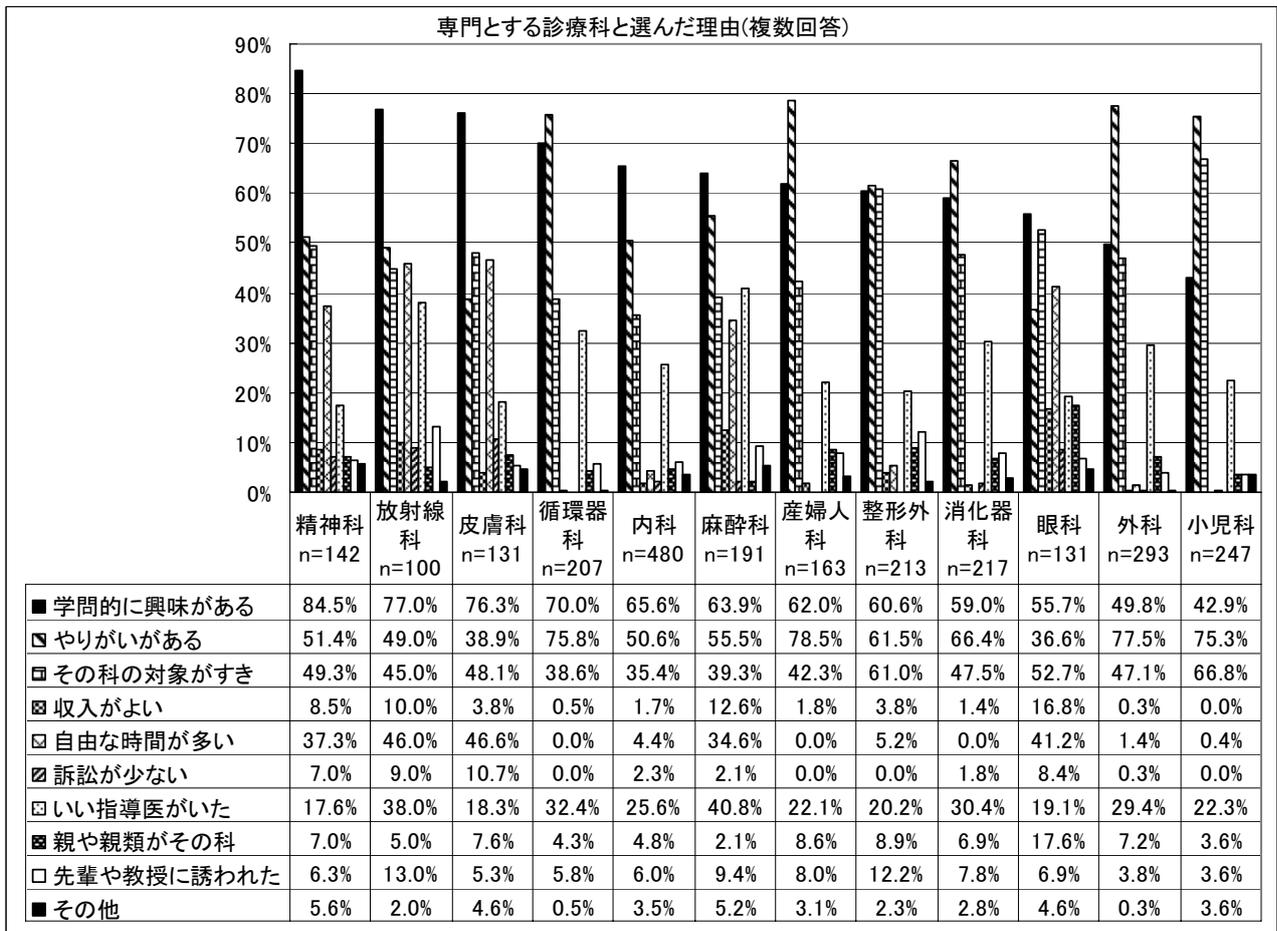
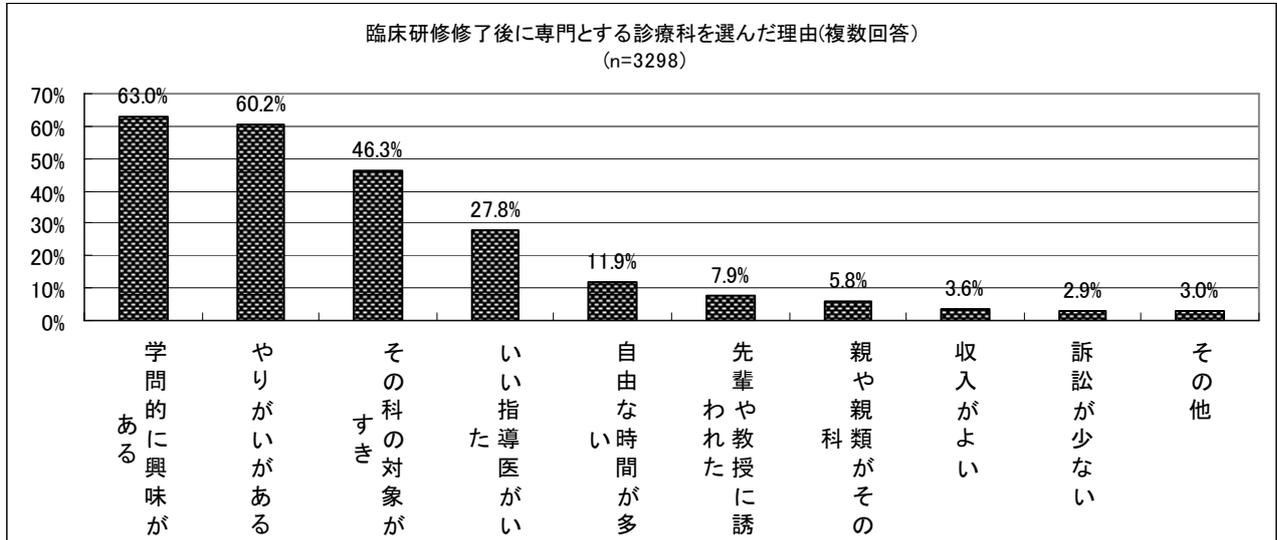
診療科	人数	割合	診療科	人数	割合
内科	480	14.6%	脳神経外科	57	1.7%
外科	293	8.9%	心臓血管外科	46	1.4%
小児科	247	7.5%	総合診療科	25	0.8%
消化器科	217	6.6%	小児外科	16	0.5%
整形外科	213	6.5%	呼吸器外科	15	0.5%
循環器科	207	6.3%	リハビリテーション科	15	0.5%
麻酔科	191	5.8%	病理	15	0.5%
産婦人科	163	4.9%	基礎系	11	0.3%
精神科	142	4.3%	リウマチ科	8	0.2%
眼科	131	4.0%	心療内科	6	0.2%
皮膚科	131	4.0%	美容外科	6	0.2%
放射線科	100	3.0%	緩和ケア	5	0.2%
呼吸器科	92	2.8%	医療行政職	5	0.2%
泌尿器科	86	2.6%	アレルギー科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	84	2.5%	その他	67	2.0%
形成外科	71	2.2%	無回答	18	0.5%
救命救急	70	2.1%	総計	3298	100.0%
神経内科	62	1.9%			

<参考>



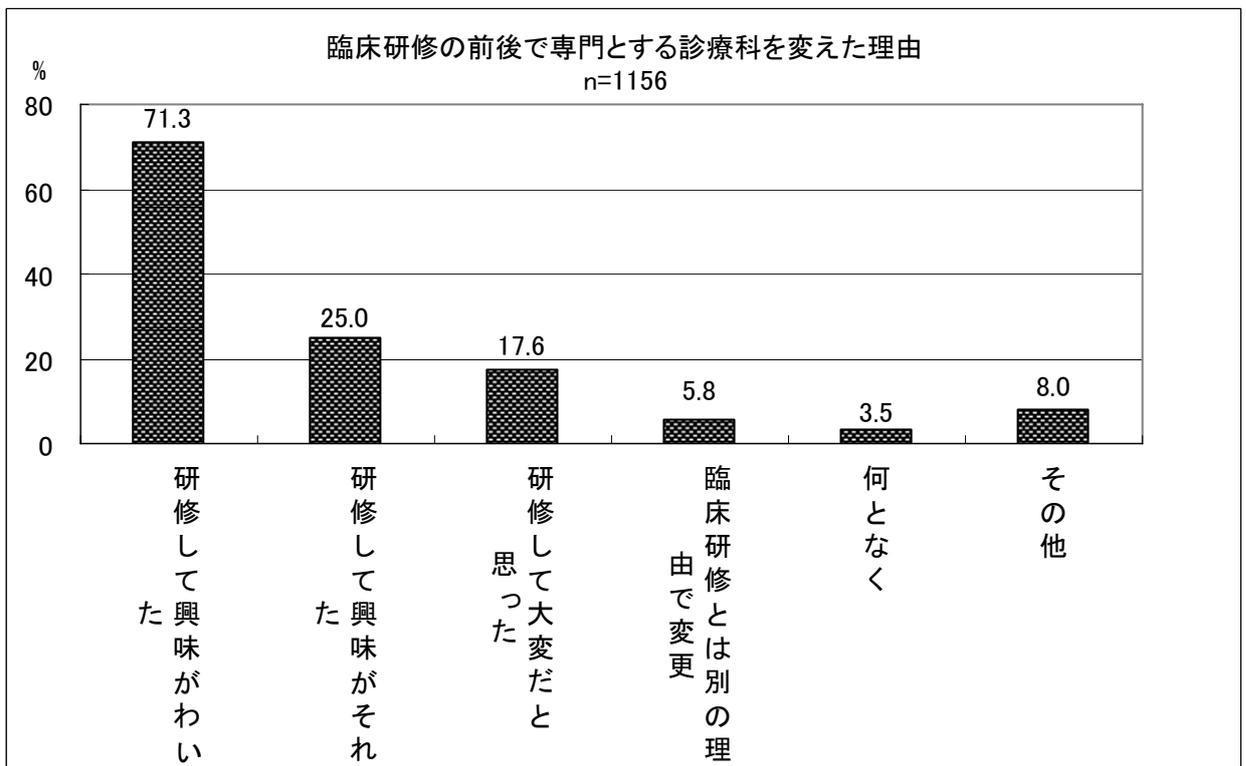
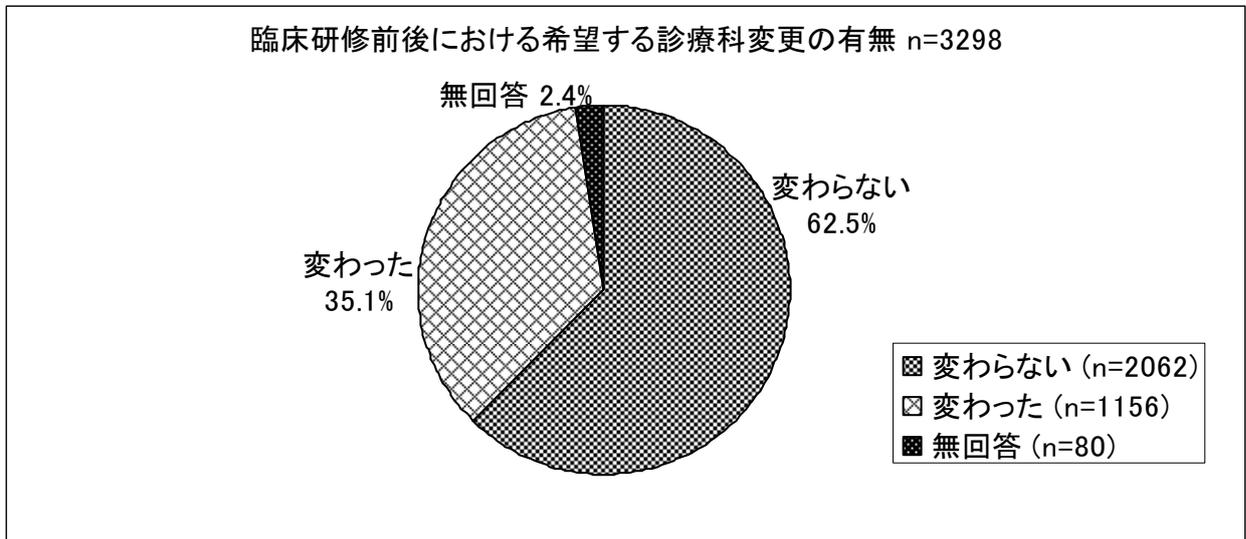
#### (4) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(63.0%)、次いで、「やりがいがある」(60.2%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科、循環器科では「学問的に興味がある」が70%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



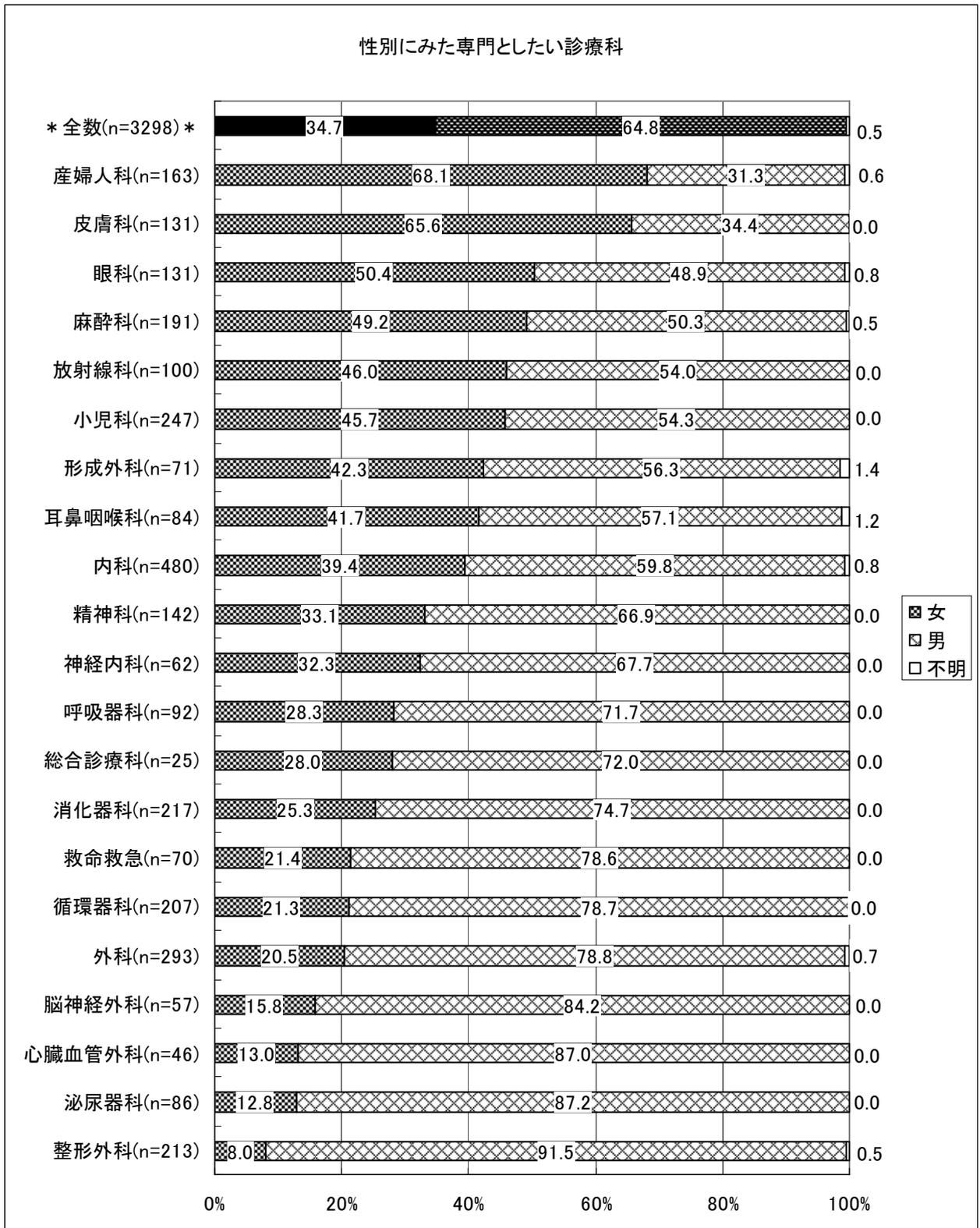
(5) 専門としたい診療科の変化と理由

臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1156人（35.1%）であった。また、理由は「研修してみて興味がわいたから」（71.3%）が最も多く、「研修してみて大変だと思った」は17.6%であった。



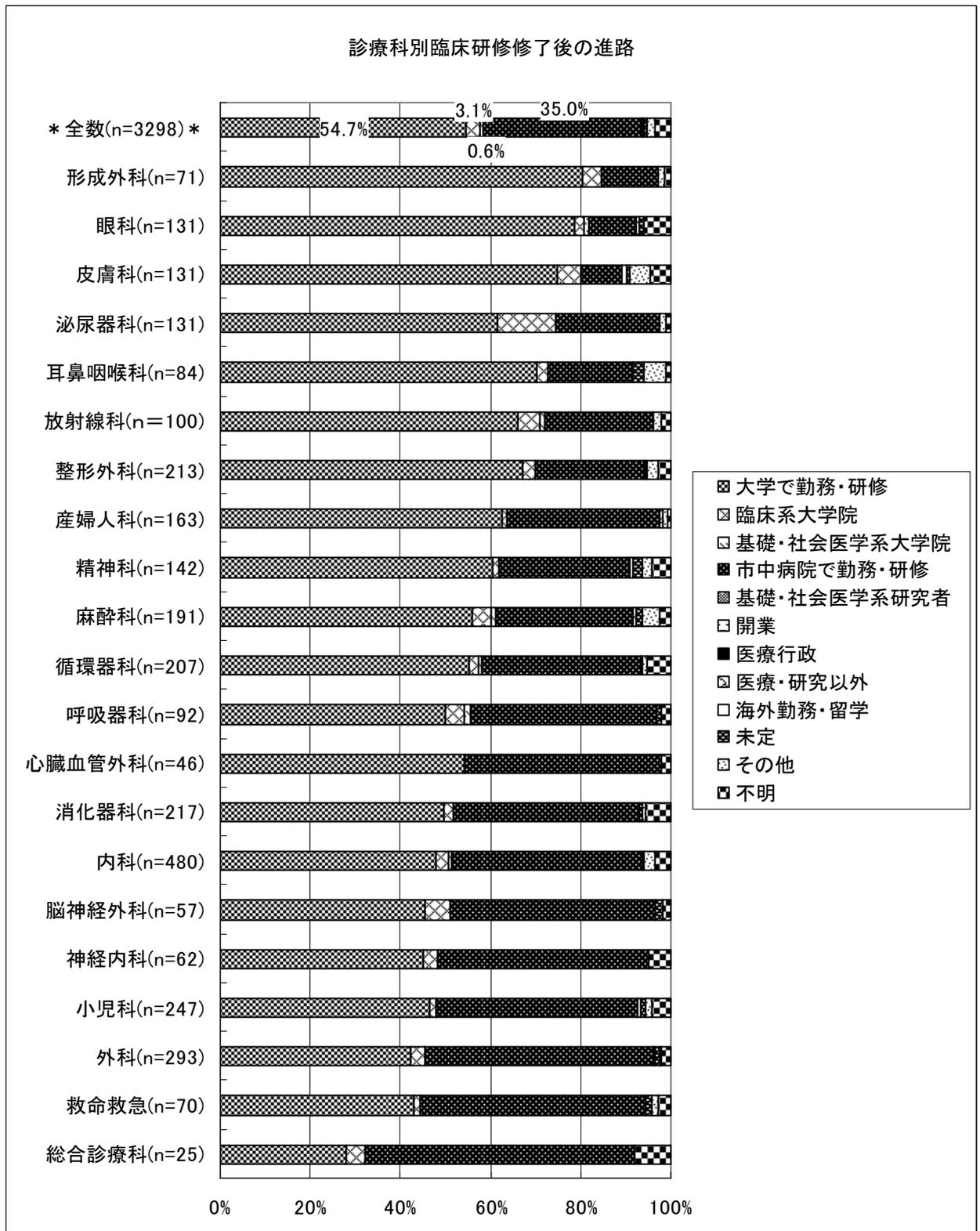
(6) 性別にみた専門としたい診療科

女性医師の割合が高いのは、産婦人科（68.1%）皮膚科（65.6%）、眼科（50.4%）等であり、女性医師の割合が低いのは、整形外科（8.0%）、泌尿器科（12.8%）、心臓血管外科（13.0%）等であった。



(7) (診療科別) 臨床研修修了後の進路

大学病院で勤務・研修する割合が高い科は、形成外科、眼科、皮膚科等であり、市中病院で勤務・研修する割合が高い科は、総合診療科、外科、救命救急等であった。

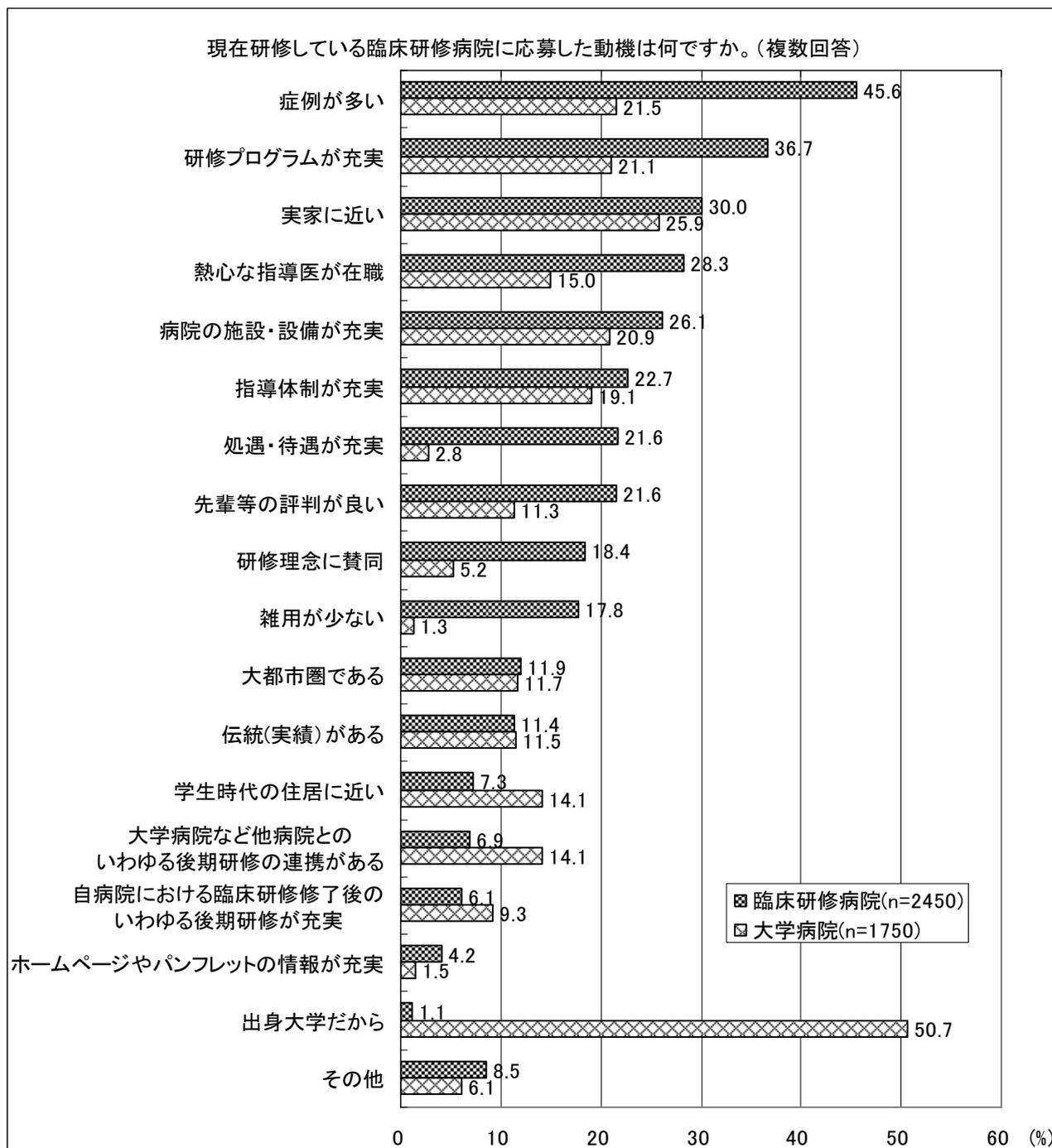


## < 1年次研修医への調査より >

### 1. 臨床研修体制・プログラムについて

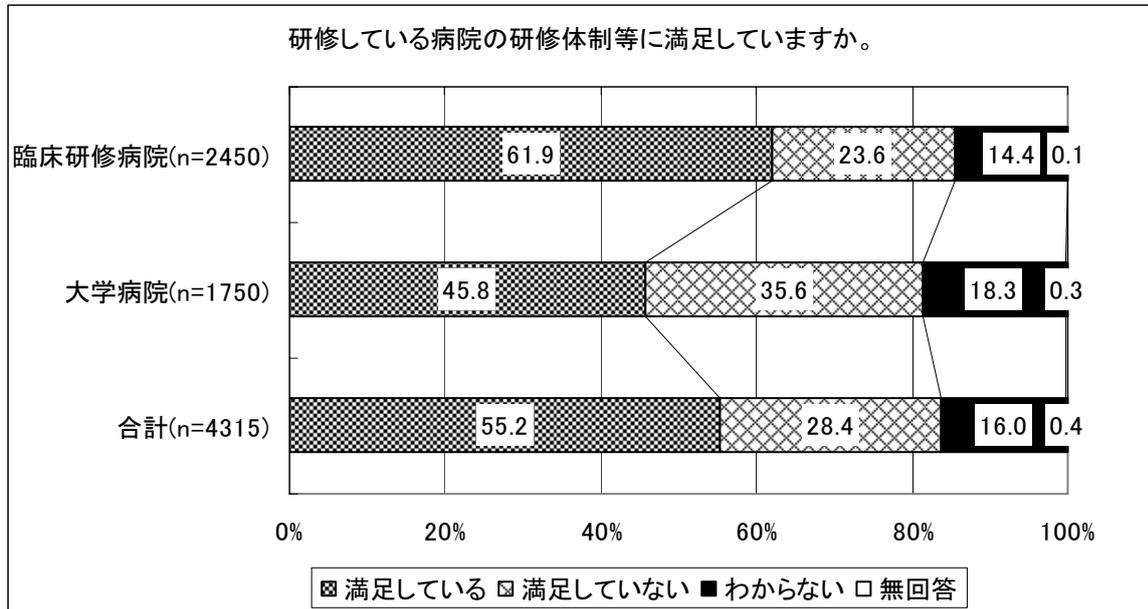
#### (1) 現在研修している病院に応募した動機

現在研修している臨床研修病院に応募した動機としては、臨床病院では「症例が多い」(45.6%)、「研修プログラムが充実」(36.7%)、大学病院では「出身大学だから」(50.7%)が多い。

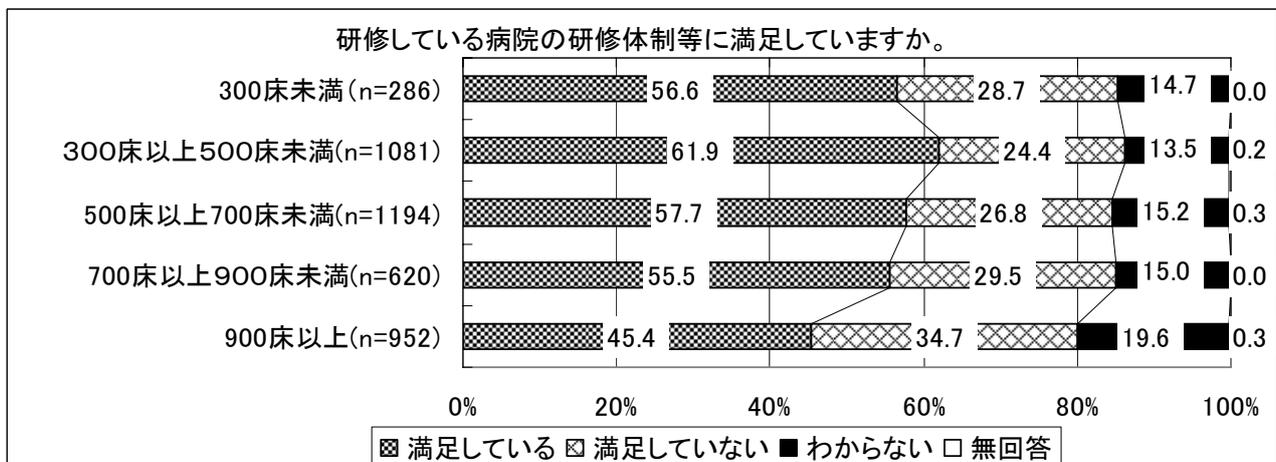


(2) 研修体制についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

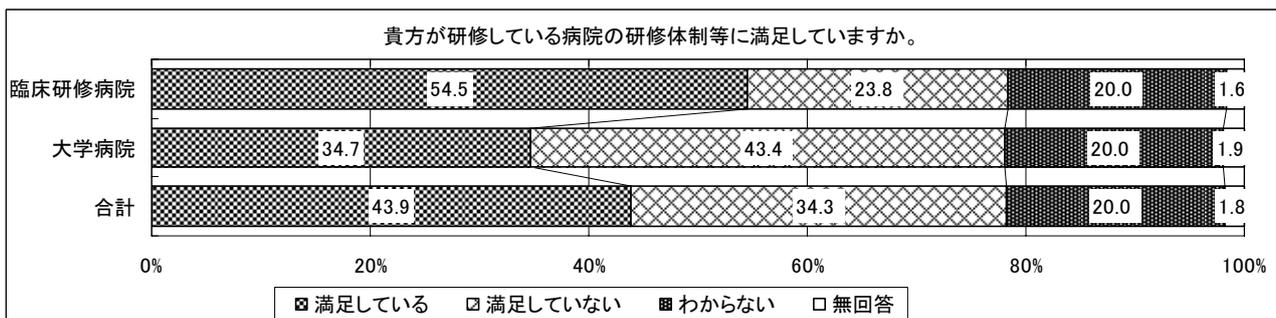
●平成 17 年度 研修体制についての満足度 ( 臨床研修病院 / 大学病院 )



●平成 17 年度 研修体制についての満足度 ( 病床規模別 )



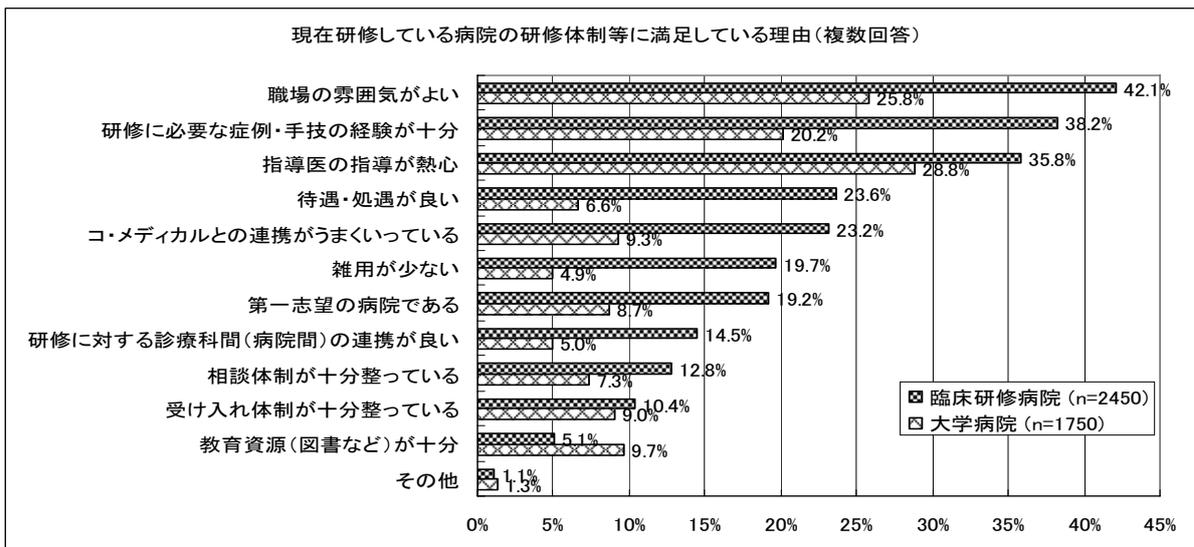
●平成 16 年度 研修体制についての満足度



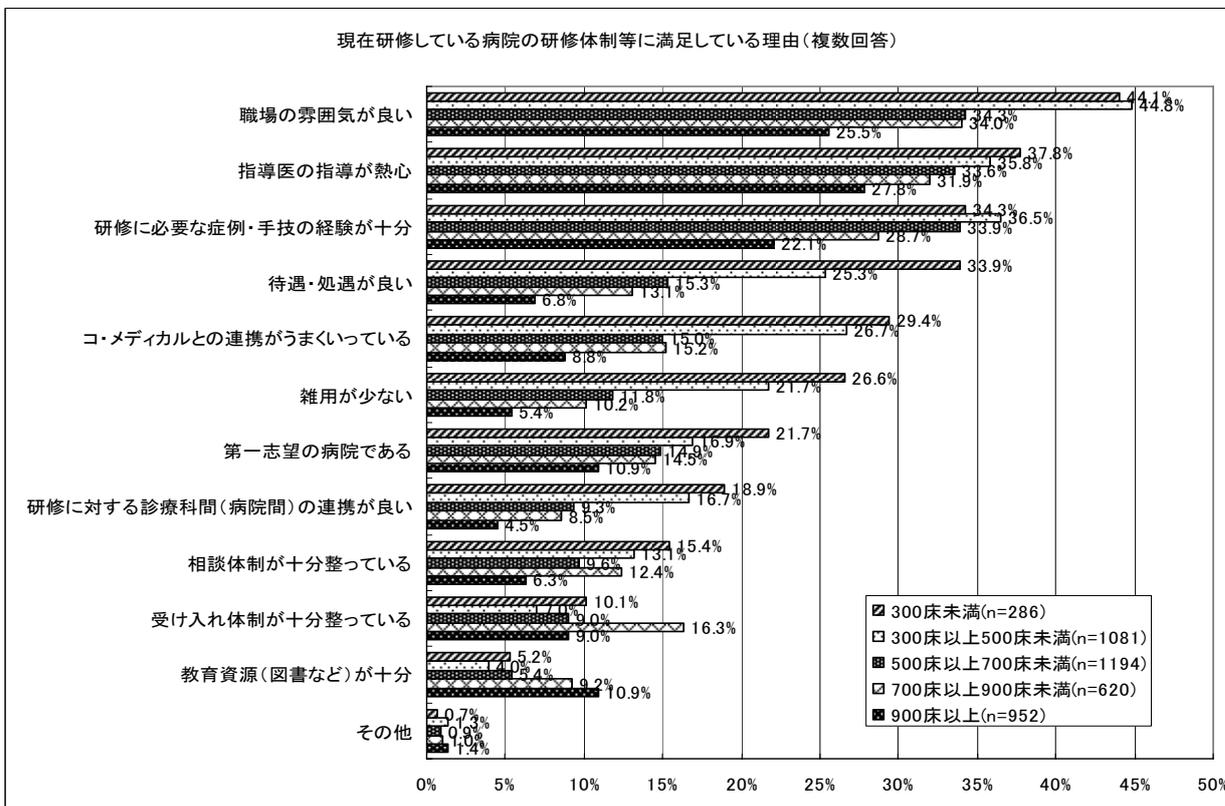
(3) 研修体制に満足している理由、満足していない理由

1) 研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気が良い」(42.1%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(38.2%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(28.8%)等が多い。また、病床数の少ない病院において「職場の雰囲気がよい」等の理由が多い。

●平成17年度 研修体制に満足している理由（臨床研修病院 / 大学病院）

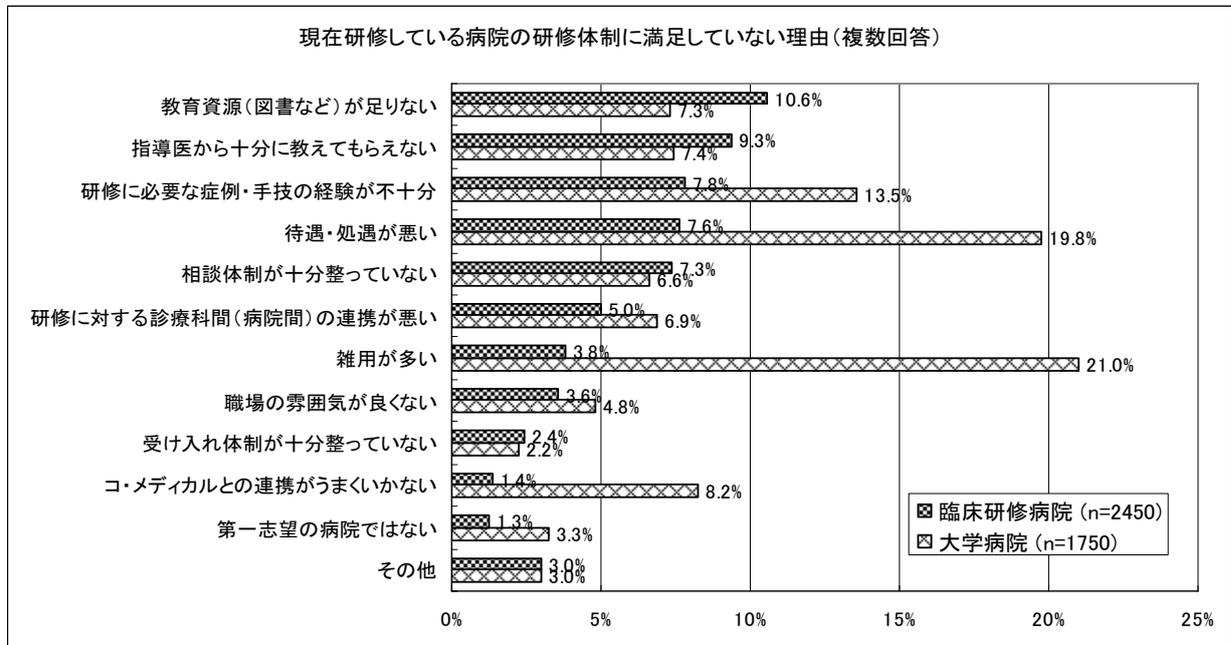


●平成17年度 研修体制に満足している理由（病床規模別）

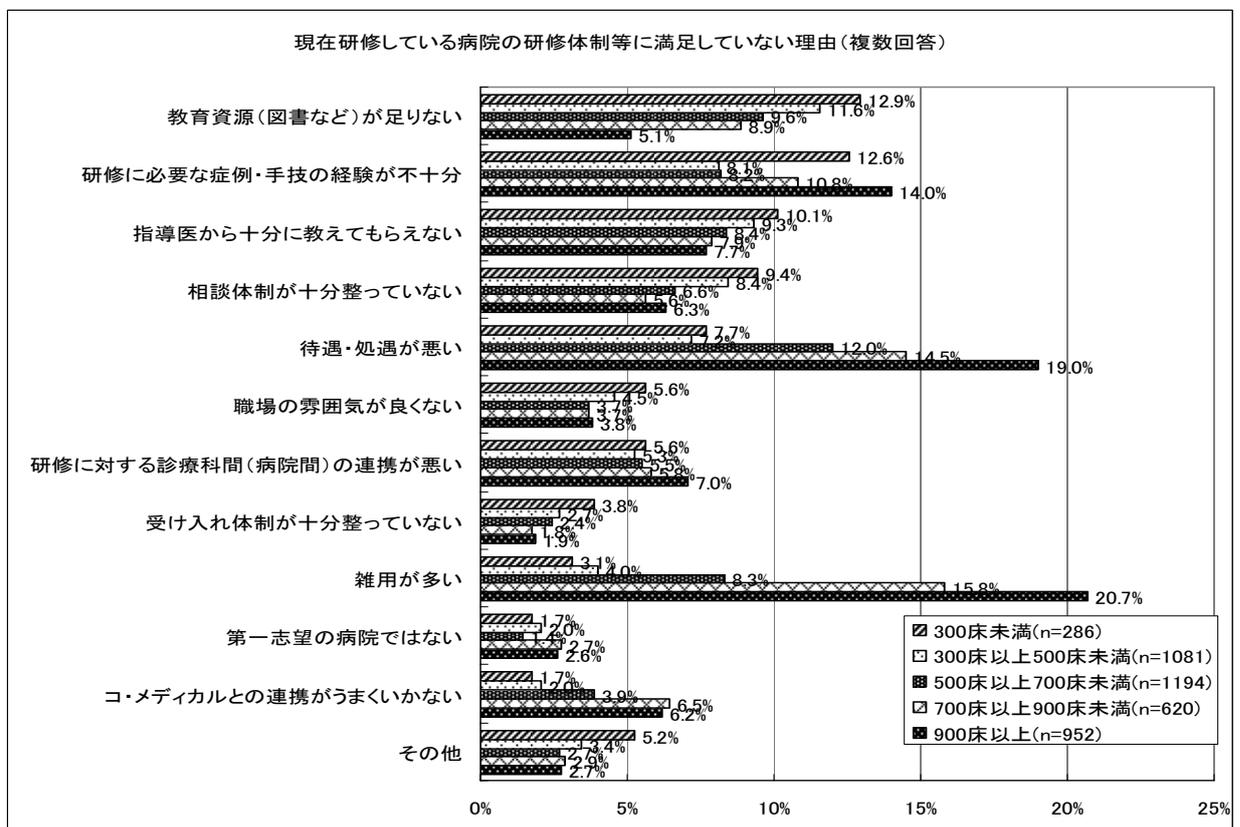


2) 研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「教育資源（図書等）が足りない」（10.6%）、大学病院においては「雑用が多い」（21.0%）「待遇・処遇が悪い」（19.8%）等が多い。

●平成 17 年度 研修体制に満足していない理由（臨床研修病院 / 大学病院）

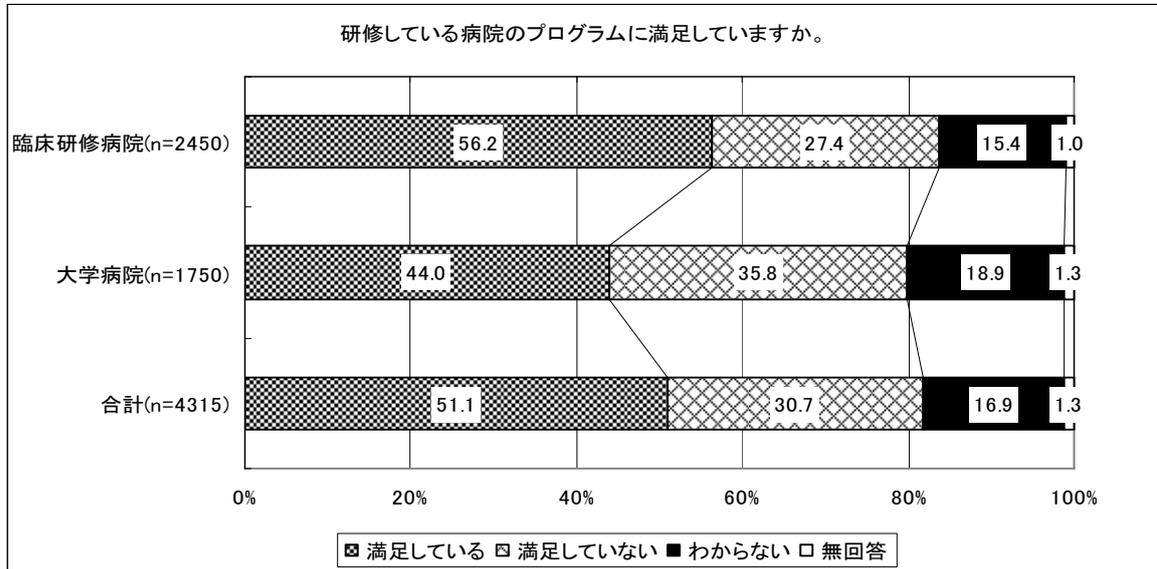


●平成 17 年度 研修体制に満足していない理由（病床規模別）

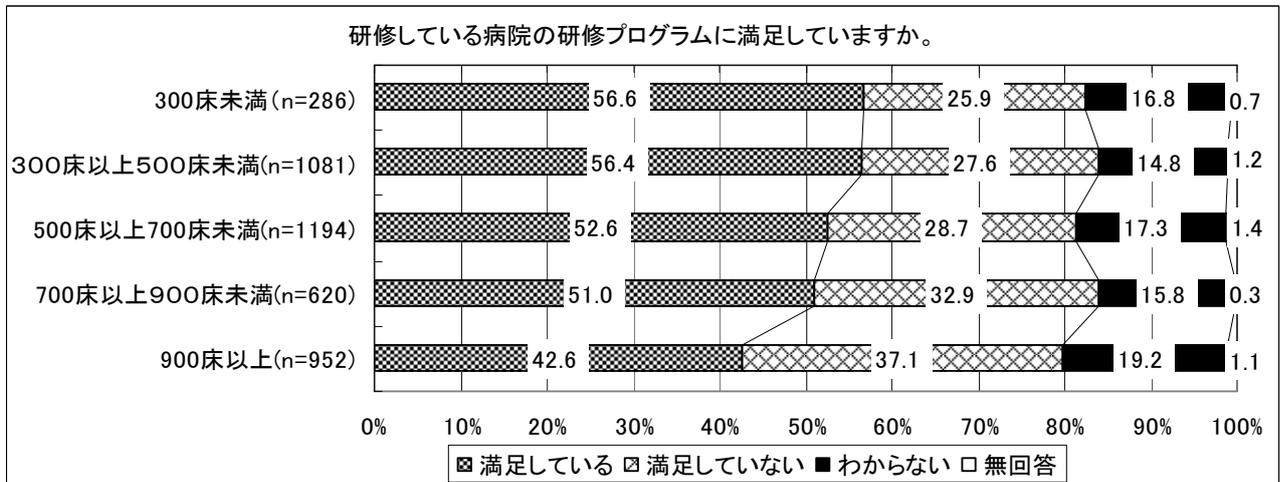


(4) 研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高く、また、病床規模が小さい病院ほど高い。

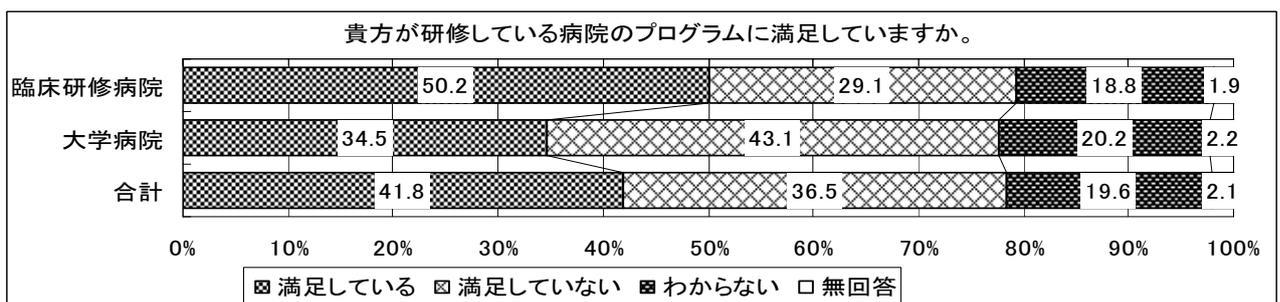
●平成 17 年度 研修プログラムについての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



●平成 17 年度 研修プログラムについての満足度（病床規模別）



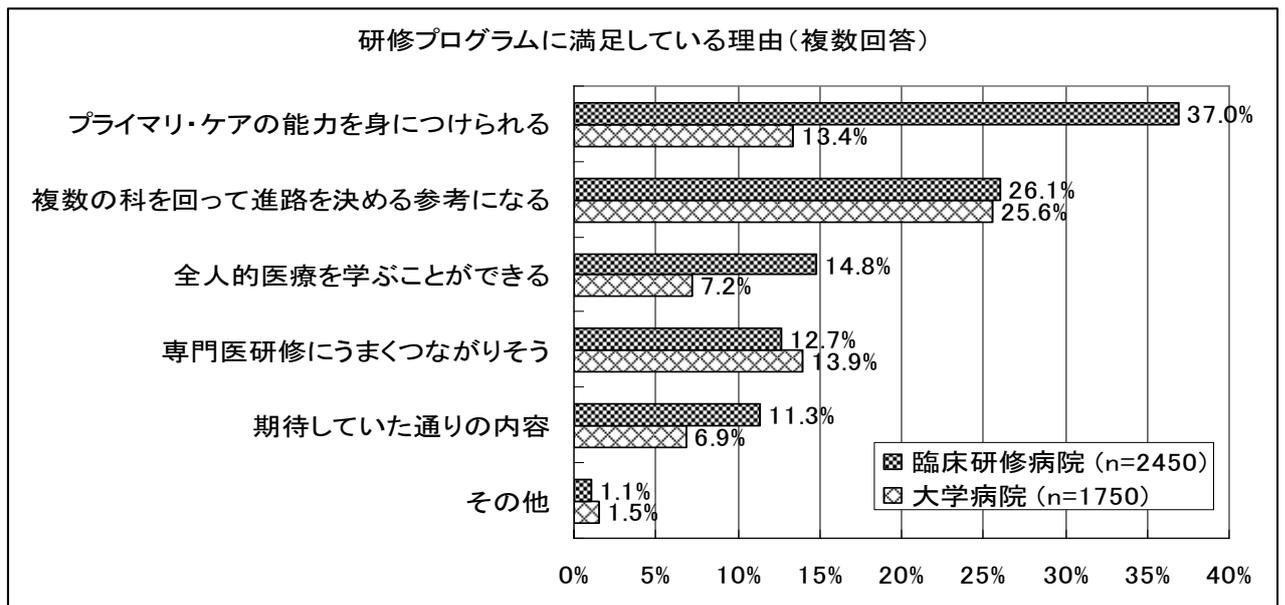
●平成 16 年度 研修プログラムについての満足度



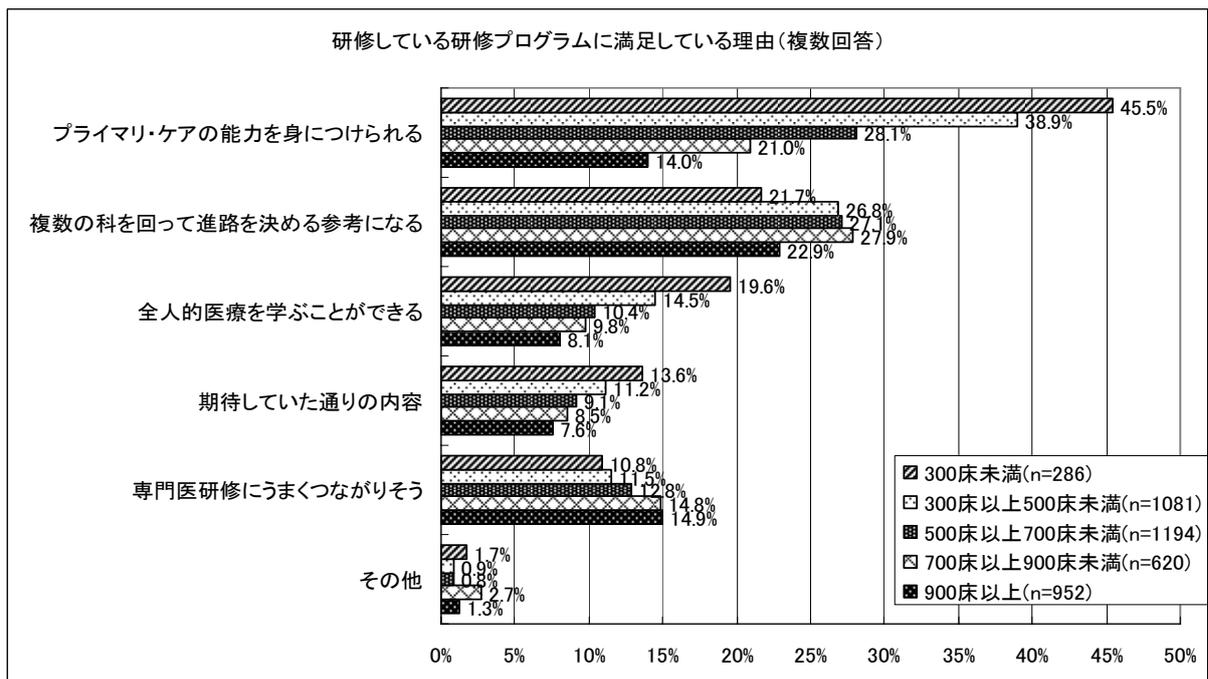
(5) 研修プログラムに満足している理由、満足していない理由

- 1) 研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.0%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(26.1%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.6%)等が多い。また、特に300床未満の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」「全人的医療を学ぶことができる」が300床以上の病院に比べ多い。

●平成17年度 研修プログラムに満足している理由（臨床研修病院 / 大学病院）

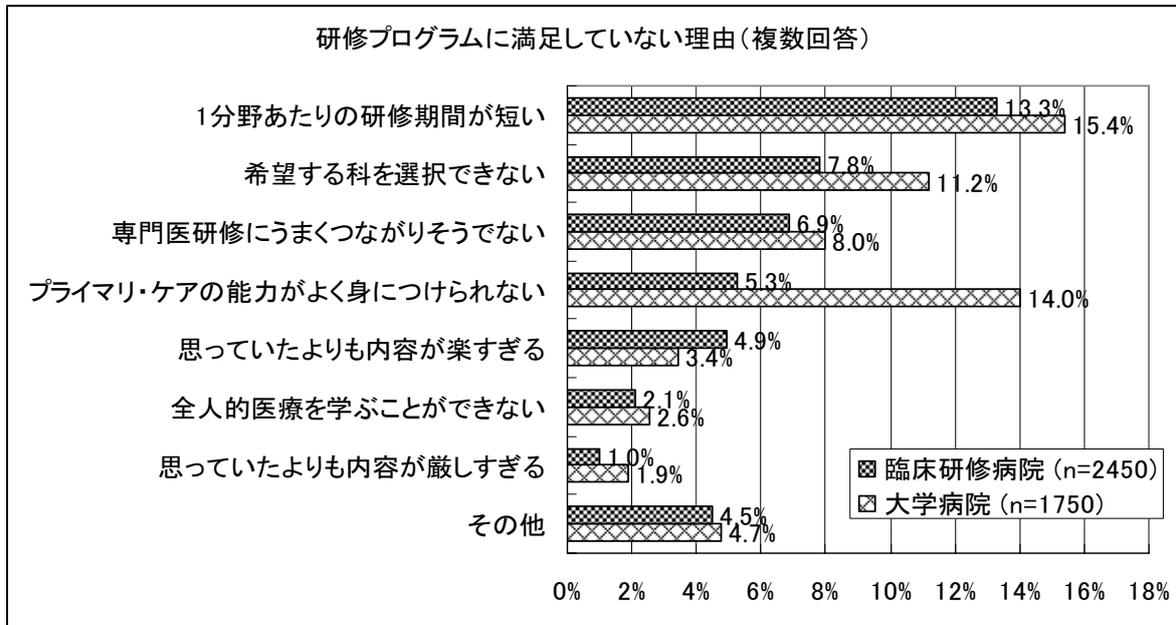


●平成17年度 研修プログラムに満足している理由（病床規模別）

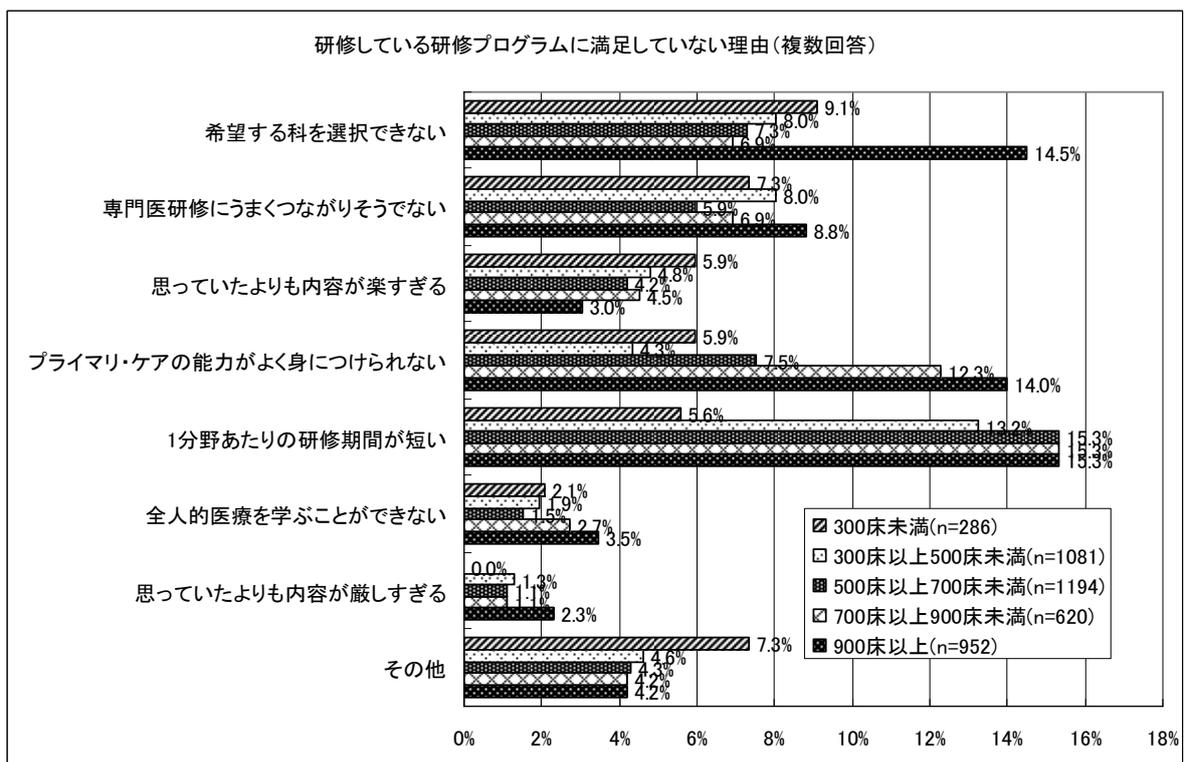


2) 研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(13.3%)、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短」(15.4%)、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」(14.0%)等が多い。

●平成17年度 研修プログラムに満足していない理由 (臨床研修病院 / 大学病院)



●平成17年度 研修プログラムに満足していない理由 (病床規模別)



## <病院に関する調査より>

### (1) 有効回答率

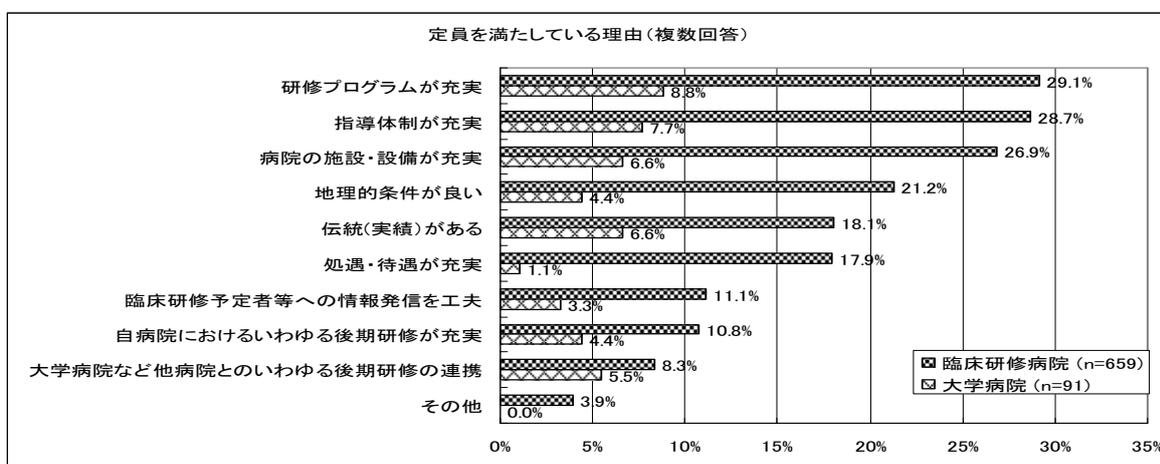
対象病院数 849施設（臨床研修病院745施設、大学病院104施設）

回答病院数 755施設（臨床研修病院659施設、大学病院 91施設）

有効回答率 88.9%（臨床研修病院88.5%、大学病院87.5%）

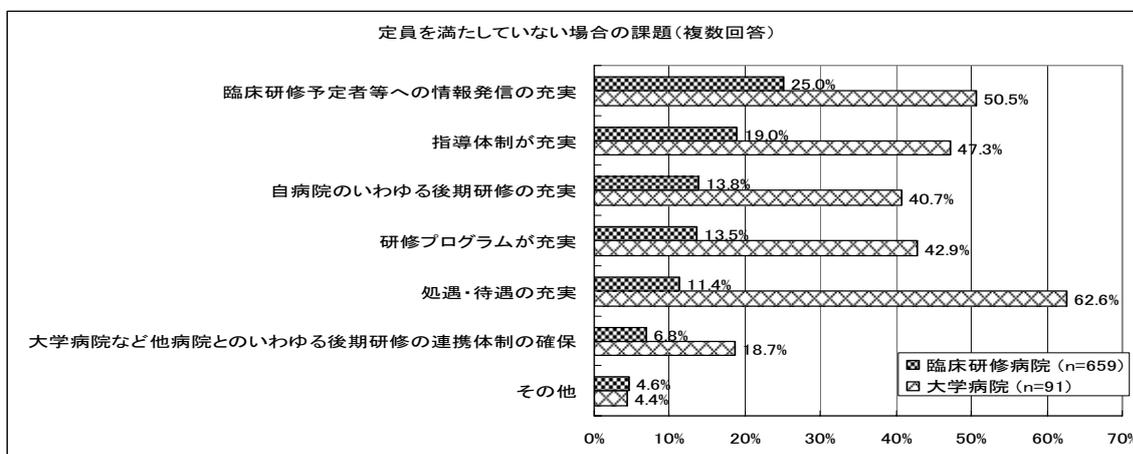
### (2) 定員を満たしている理由

募集定員を満たしている理由として、臨床研修病院においては「研修プログラムが充実」(29.1%)、「指導体制が充実」(28.7%)、「病院の施設・設備が充実」(26.9%)が、大学病院においては「研修プログラムが充実」(8.8%)等が多く挙げられた。



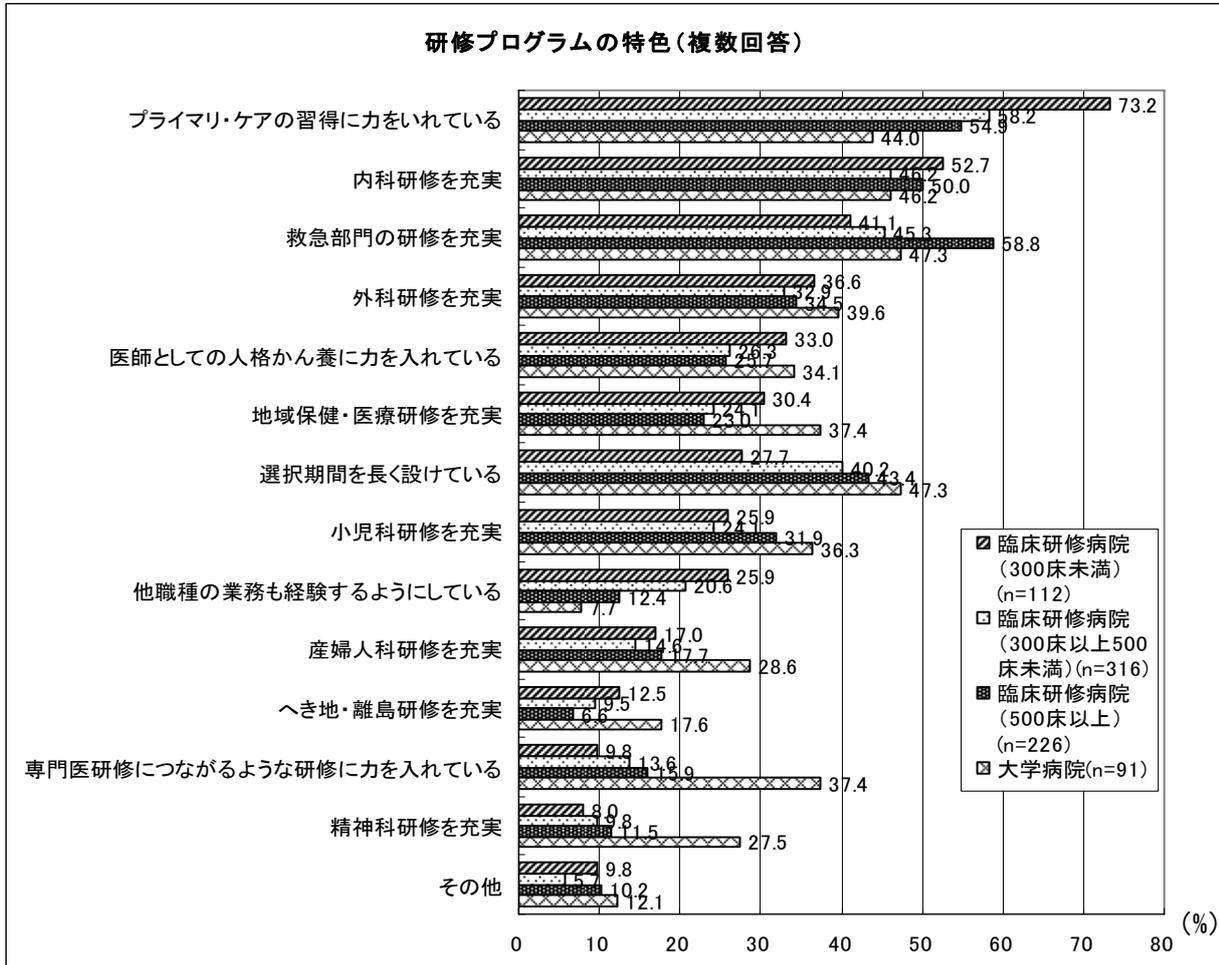
### (3) 定員を満たしていない場合の課題

研修医が募集定員を満たしていない場合の課題として、臨床研修病院においては「臨床研修予定者等への情報発信の充実」(25.0%)、「指導体制が充実」(19.0%)等が、大学病院においては「処遇・待遇の充実」(62.6%)、「臨床研修予定者等への情報発信の充実」(50.5%)等が多く挙げられた。



#### (4) 研修プログラムの特色

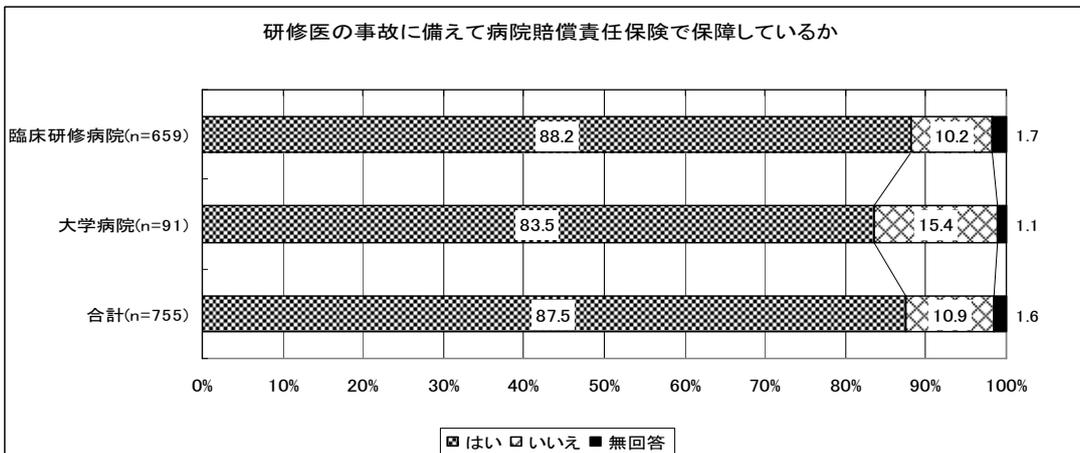
研修プログラムの特色として挙げられたのは、臨床研修病院では「プライマリ・ケアの習得に力をいれている」「内科研修を充実」等が、大学病院では「救急部門の研修を充実」「選択期間を長く設けている」等が挙げられている。



#### (5) 研修医の処遇・待遇について

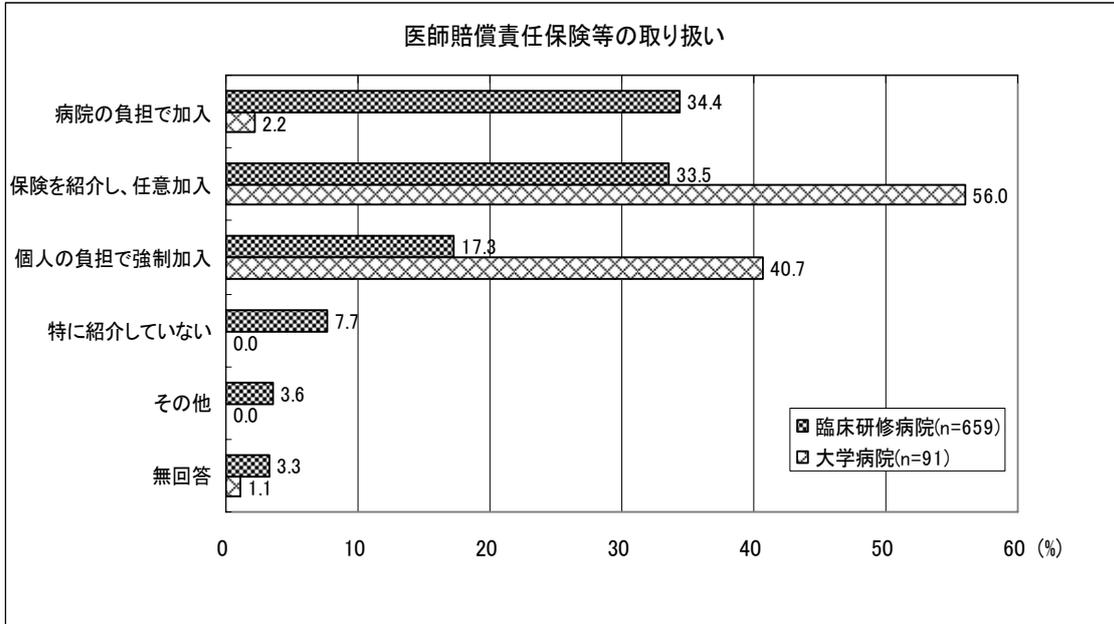
##### 1) 事故に備えての病院賠償責任保険での保障

臨床研修病院で88.2%、大学病院で83.5%が保障されていた。



2) 事故に備えての医師賠償責任保険等の取り扱い

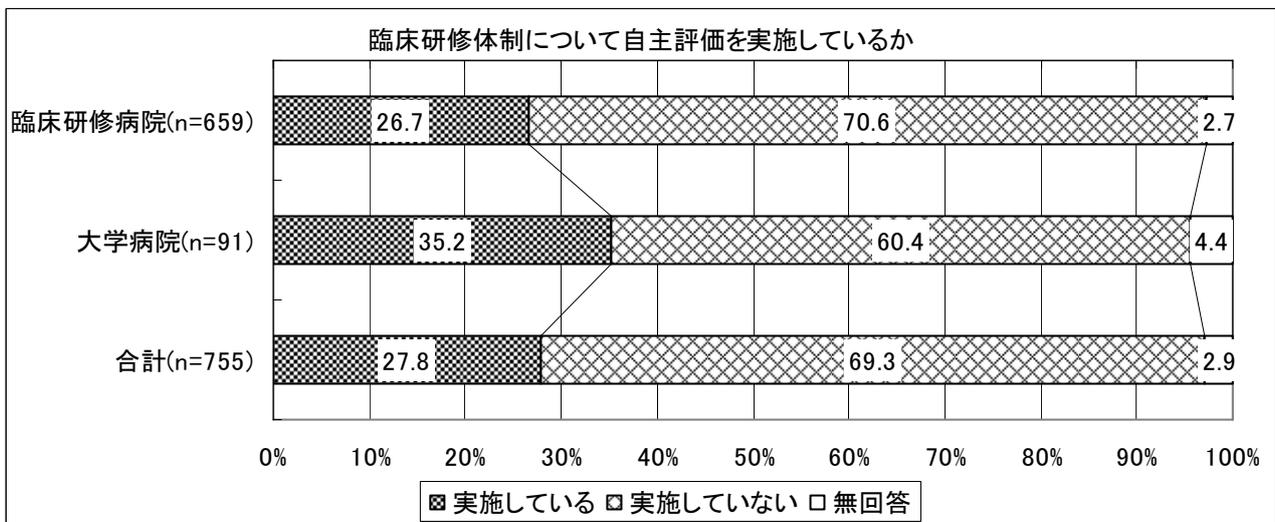
臨床研修病院では「病院の負担で加入」(34.4%)、「保険を紹介し任意加入」(33.5%)等が多く、大学病院では「保険を紹介し任意加入」(56.0%)、「個人の負担で強制加入」(40.7%)等が多い。



(6) 臨床研修における評価について

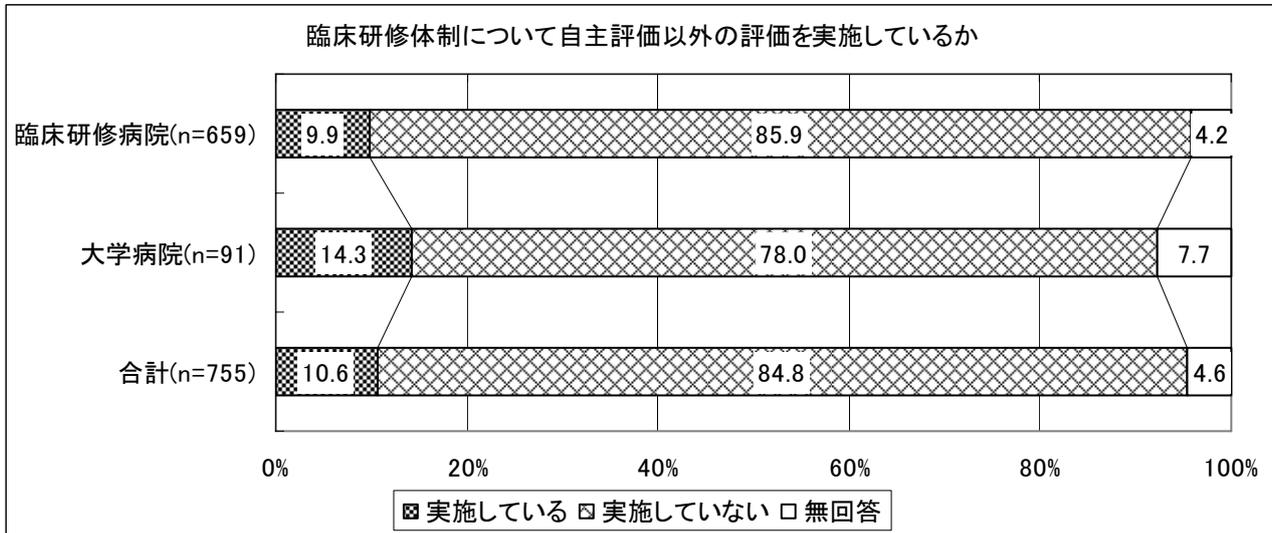
1) 臨床研修についての自主評価の実施の有無

臨床研修体制について、自主評価を実施しているのは、臨床研修病院では26.7%、大学病院では35.2%、自主評価していないのは、臨床研修病院では70.6%、大学病院では60.4%であった。



## 2) 臨床研修についての自主評価以外の評価

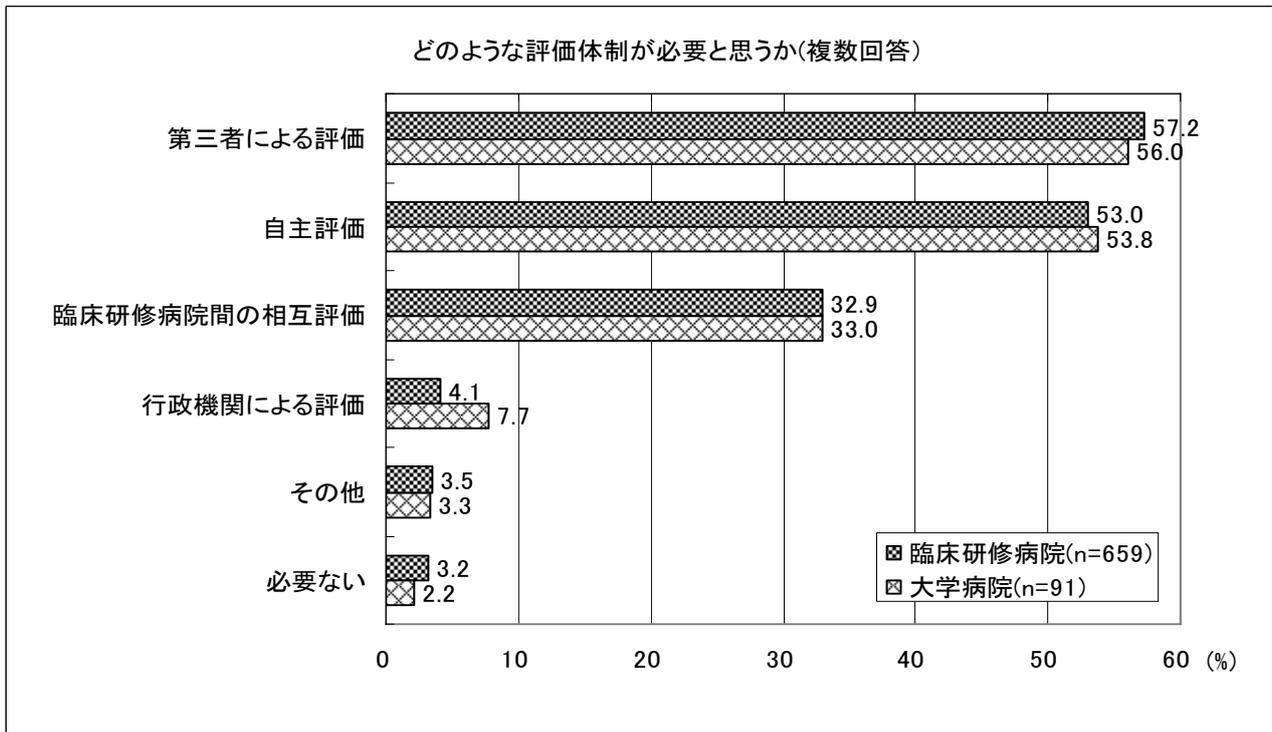
臨床研修体制について、自主評価以外の評価を実施しているのは、臨床研修病院では 9.9%、大学病院では 14.3%、自主評価以外の評価を実施していないのは、臨床研修病院では 85.9%、大学病院では 78.0%であった。



## 3) 臨床研修についての必要な評価体制について

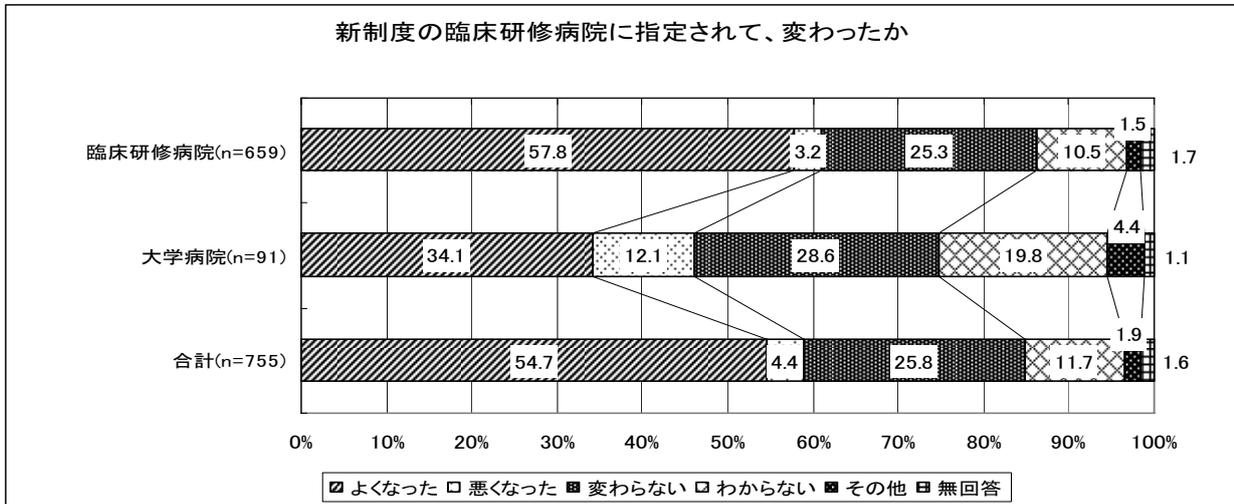
必要な臨床研修の評価としては、臨床研修病院、大学病院ともに、「第三者による評価」、「自主評価」が多い。

(なお、本データは、「評価している」と回答した病院がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、アンケートに回答した全ての病院数を分母として計算している。)



(7) 新医師臨床研修制度による病院の変化について

新制度の臨床研修病院に指定されて、「よくなった」と回答したのが臨床研修病院では57.8%、大学病院では34.1%、「悪くなった」と回答したのが臨床研修病院では3.2%、大学病院では12.1%であった。



照会先：

医政局医事課医師臨床研修推進室

課長補佐 井内

専門官 村重

電話 03-5253-1111

内線 2563、4124

平成 18 年 8 月 31 日

## 平成 17 年度「臨床研修に関する調査」報告の概要

厚生労働科学研究費補助金研究「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」班において、臨床研修に関する調査報告を作成した。

## I 調査の概要

### 1. 調査目的

新医師臨床研修制度の効果等を検証・分析するための基礎となるデータを収集するため、臨床研修病院及び研修医に対し調査を行うもの。

### 2. 調査対象

単独型及び管理型臨床研修病院

単独型相当及び管理型相当大学病院 (合計で 849 施設)

当該病院の研修プログラムに在籍する臨床研修医

(1 年次 7, 526 人、2 年次 7, 344 人 計 14, 870 人)

### 3. 調査内容

共通質問 (全病院、全研修医 (1 年次、2 年次))

・研修の満足度、研修修了後の進路 等

### 4. 実施時期

平成 18 年 3 月 (配布)

### 5. 調査方法

病院用と研修医用の調査票を各病院に郵送し、研修医用の調査票を病院で取りまとめたのち、病院用調査表と合わせて郵送で回収した。

### 6. 集計対象者の概況

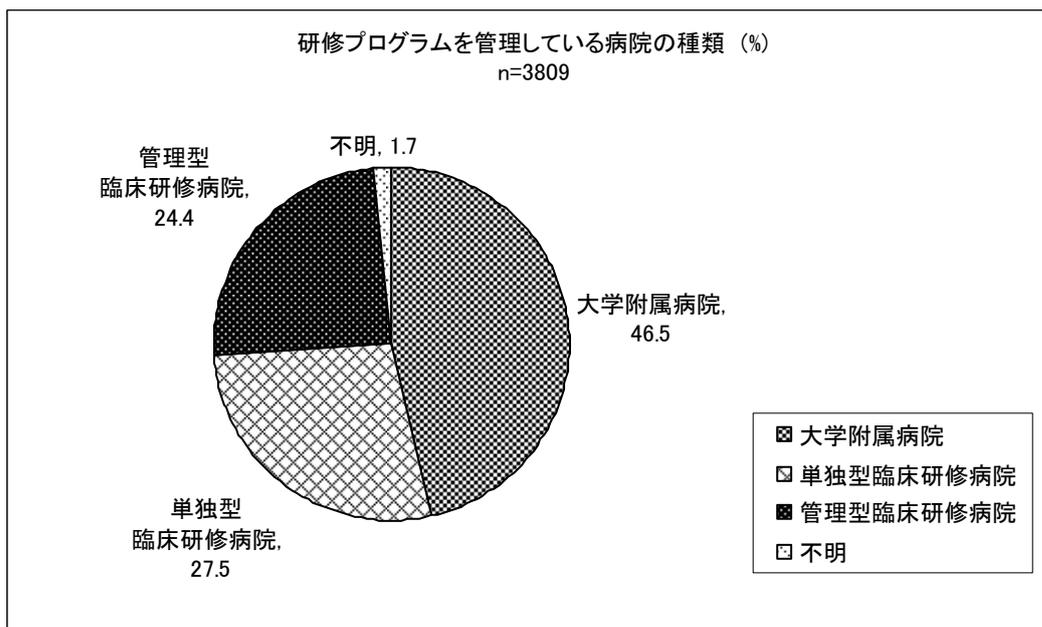
集計対象とした有効回答数は、2 年次生 3809 人 (51.9%)、1 年次生 4315 人 (57.3%) であった。

## 1.研修2年次生に関する調査

### (1)研修医のプログラムを管理している病院について

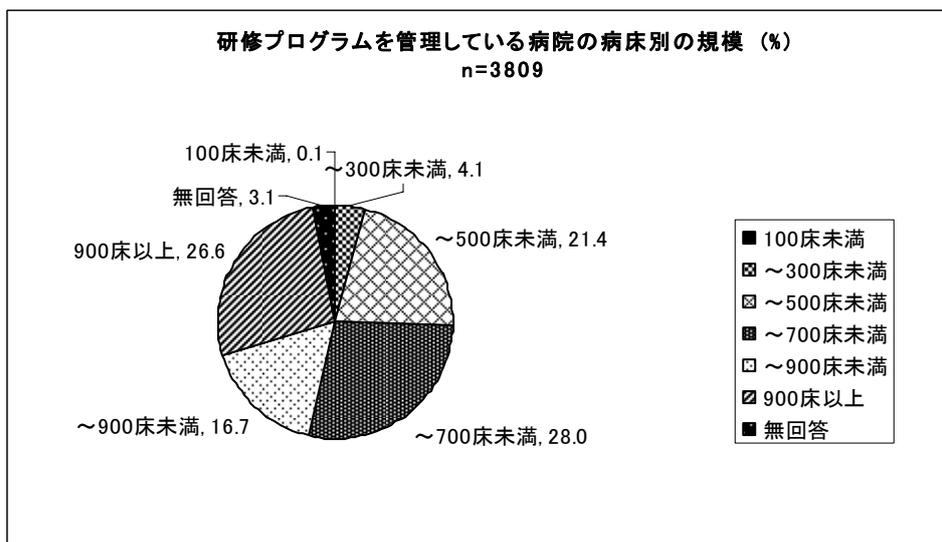
#### 1)研修医のプログラムを管理している病院の種類

研修医のプログラムを管理している病院は、大学病院 46.5%、臨床研修病院 51.9%であった。



#### 2)研修プログラムを管理している病院の規模

研修プログラムを管理している病院の規模は、300床未満 (4.2%)、300床以上 500床未満 (21.4%)、500床以上 700床未満 (28.0%)、700床以上 900床未満 (16.7%)、900床以上 (26.6%) であった。

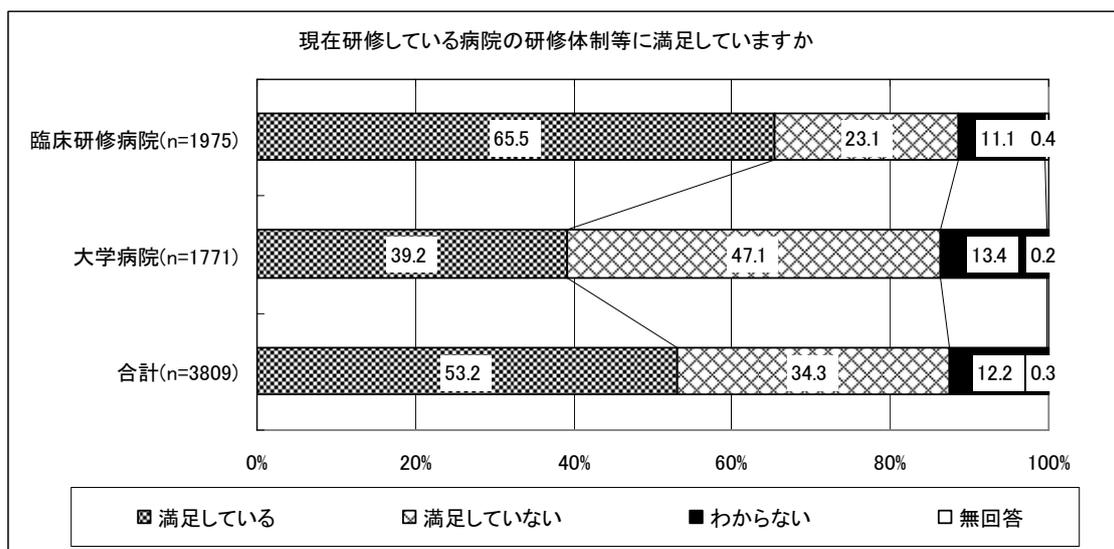


(2) 臨床研修病院・大学病院別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

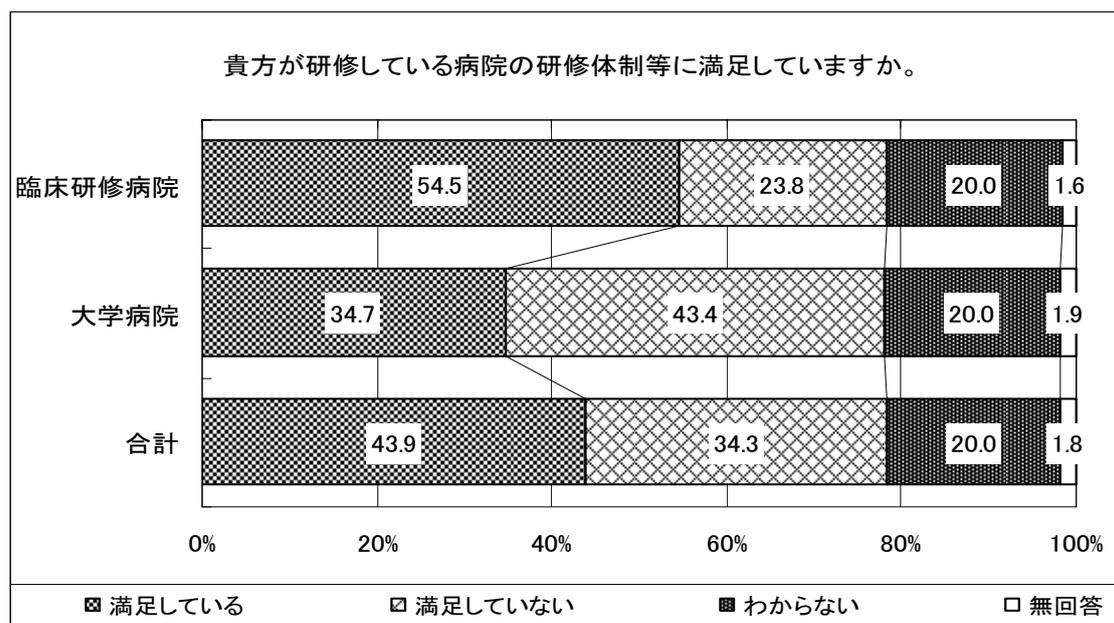
1) 研修体制についての満足度

研修体制についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度(1年次研修医)の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が11.0ポイント増加、満足していない者が0.7ポイント減少しているが、大学病院では満足している者、満足していない者ともに4ポイント程度増加している。



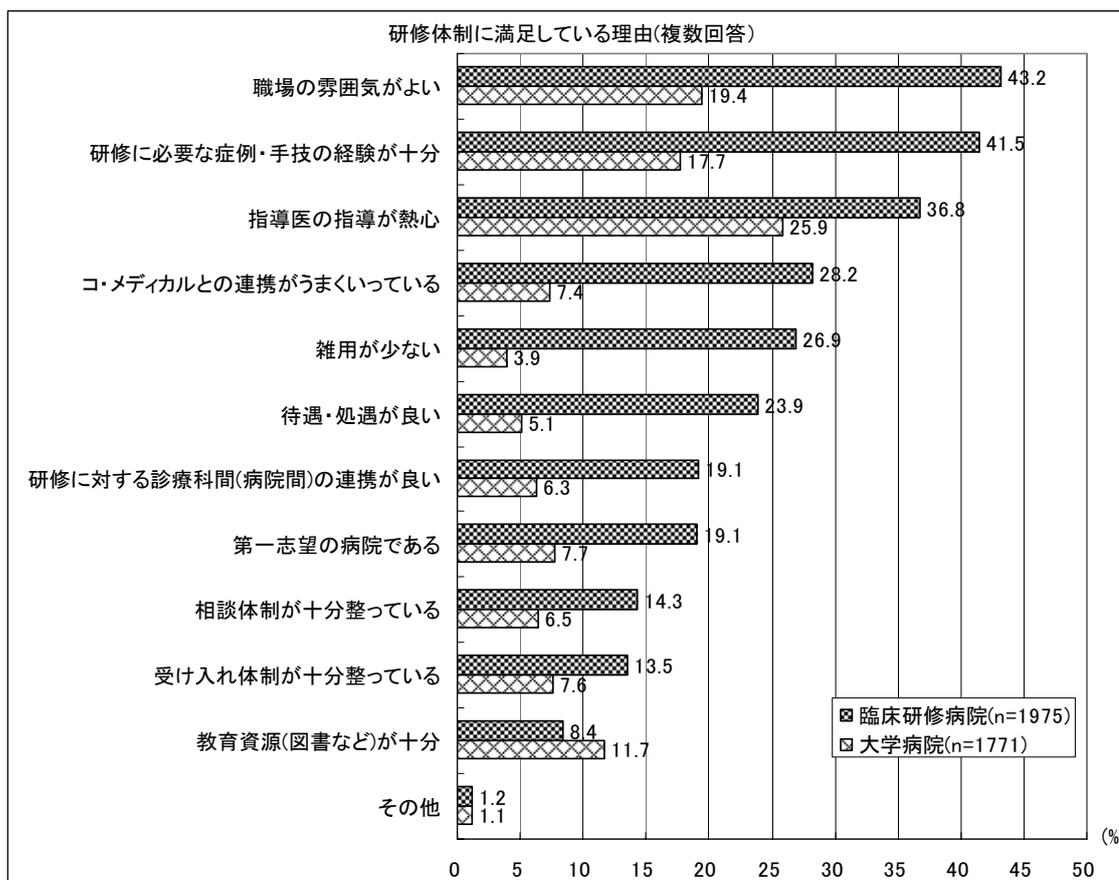
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



2) 研修体制に満足している理由

研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気がよい」(43.2%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(41.5%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(25.9%)等が多い。

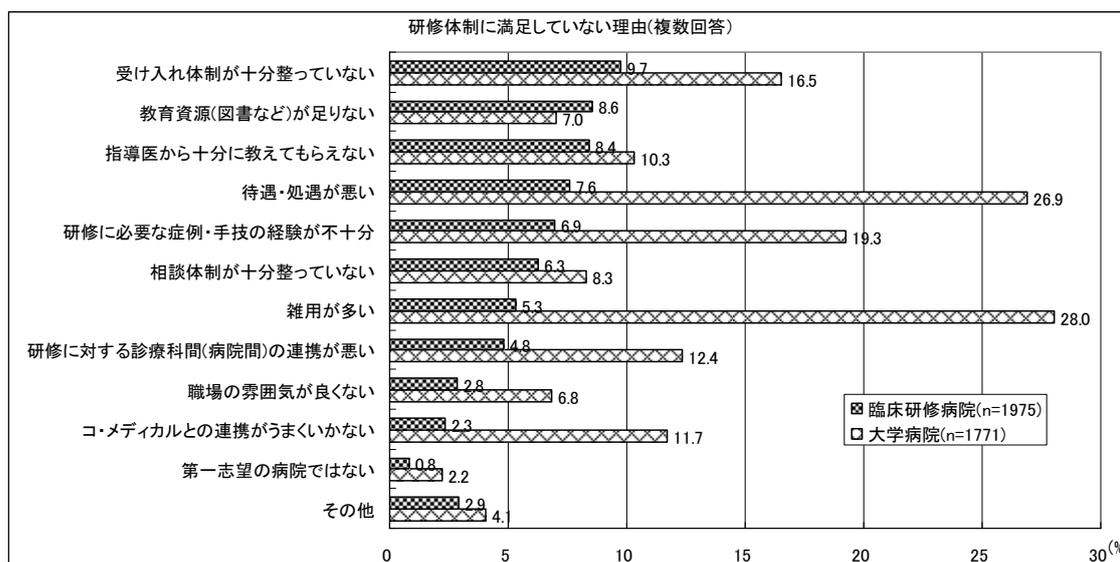
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



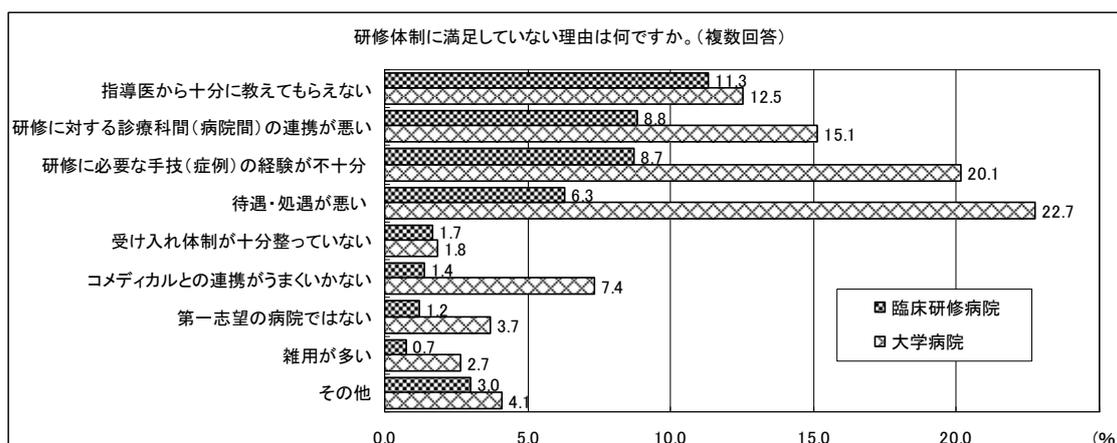
### 3) 研修体制に満足していない理由

研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「受け入れ体制が十分整っていない」(9.7%)、大学病院においては「雑用が多い」(28.0%)、「待遇・処遇が悪い」(26.9%)等が多い。また、昨年(1年次研修医)の満足していない理由と比べ、特に「受け入れ体制が十分整っていない」「雑用が多い」が大きく増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



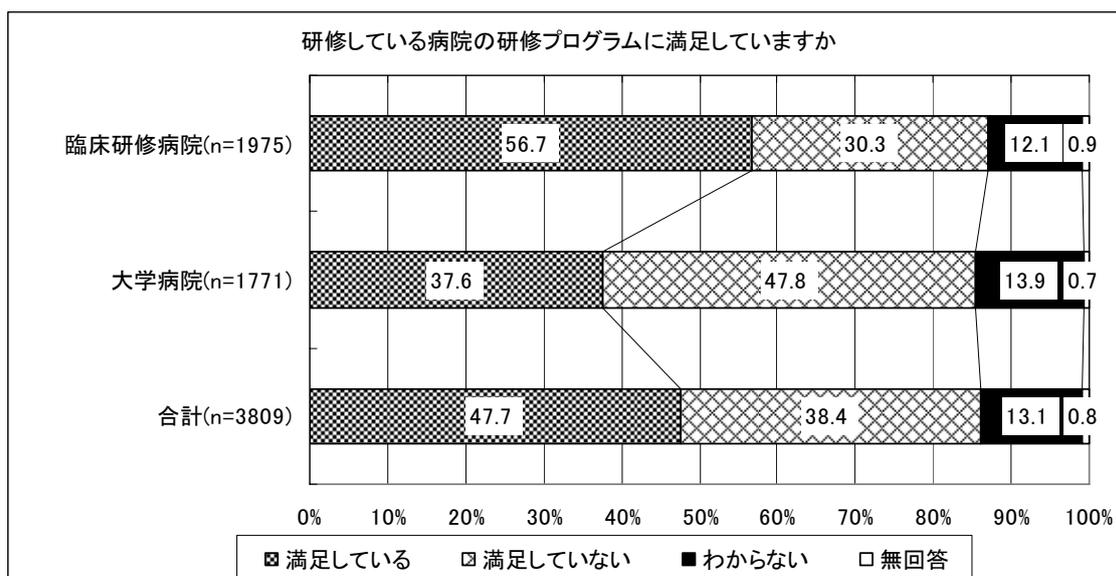
### <参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



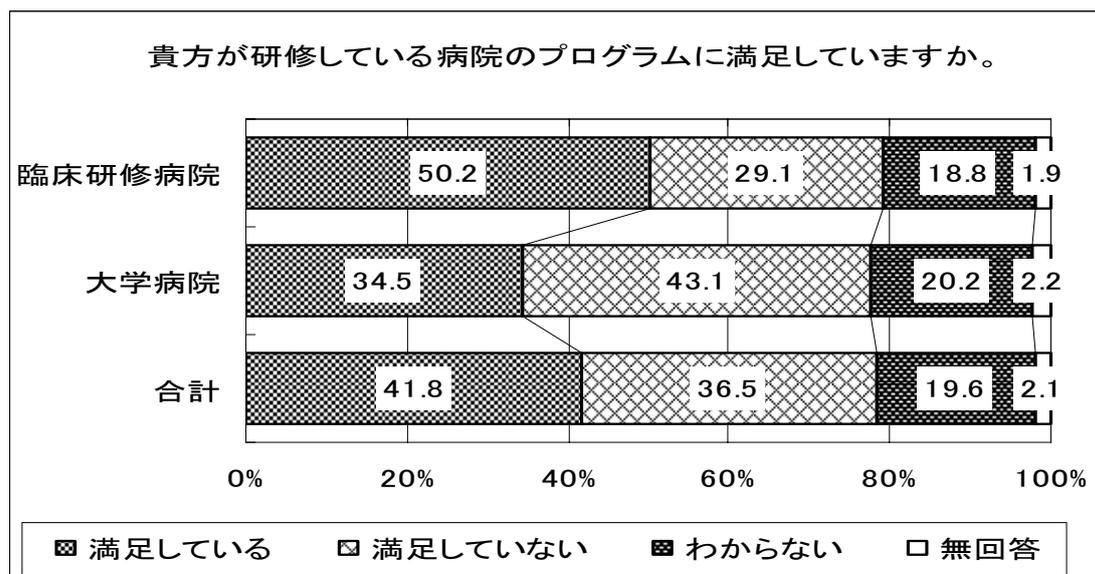
#### 4) 研修プログラムへの満足度

研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が6.5ポイント、満足していない者が1.2ポイント、大学病院では満足している者が3.1ポイント、満足していない者は4.7ポイント増加している。



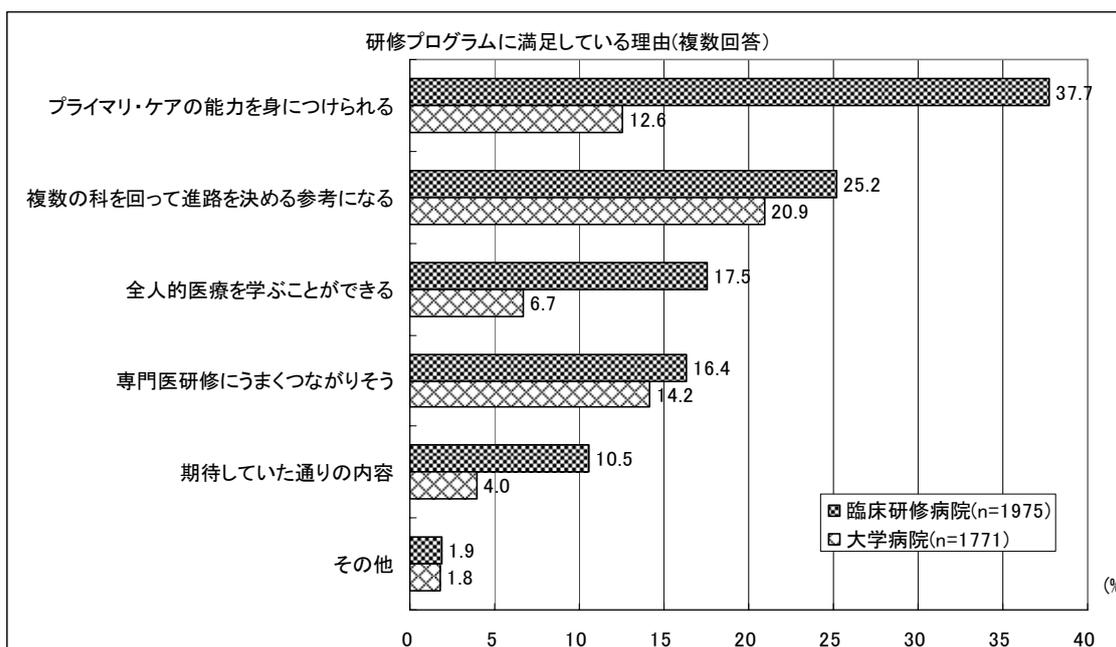
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



5) 満足している理由

研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.7%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.2%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(20.9%) 等が多い。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)

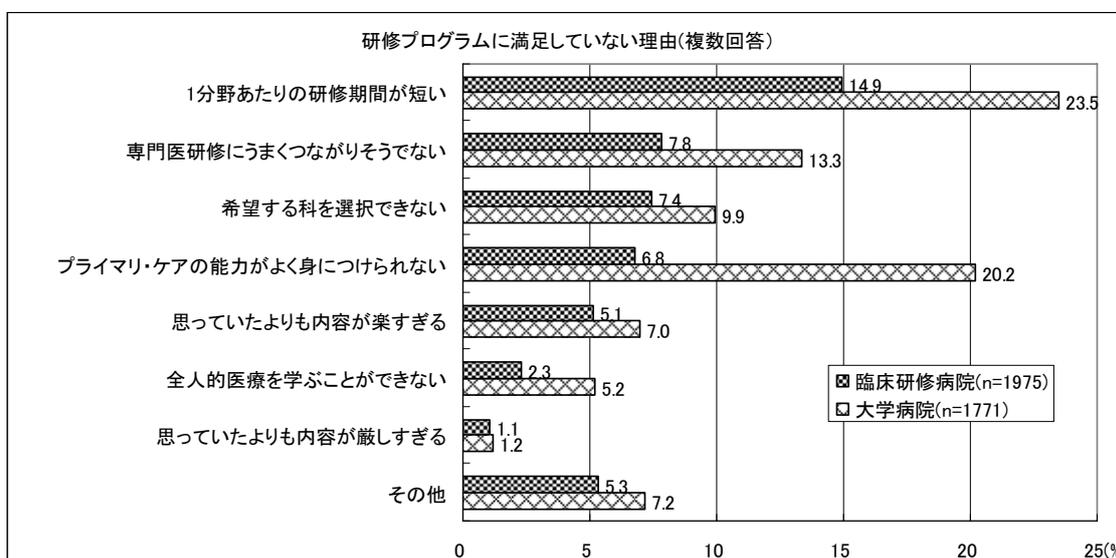


6) 満足していない理由

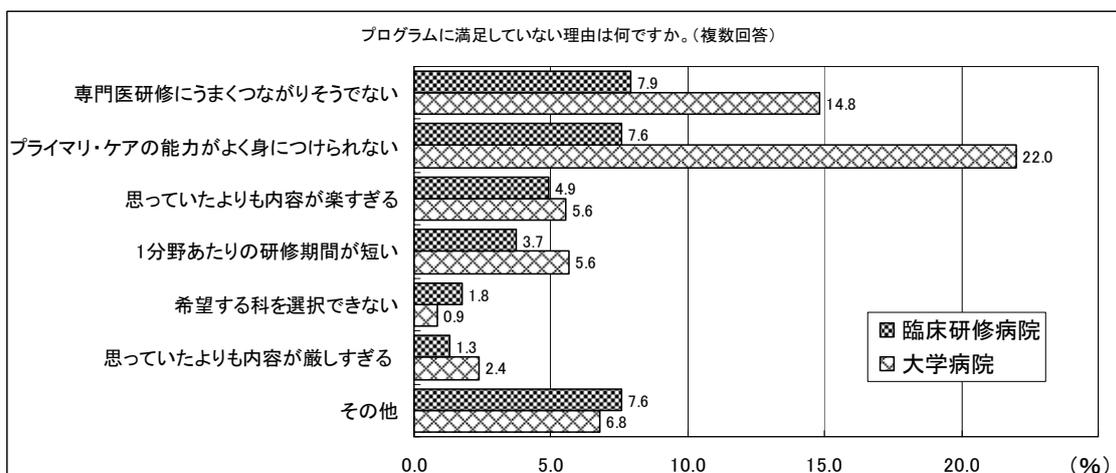
研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(14.9%)、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(23.5%)、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」(20.2%)等が多い。

また、昨年(1年次研修医)と比べると、特に「1分野あたりの研修期間が短い」が増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



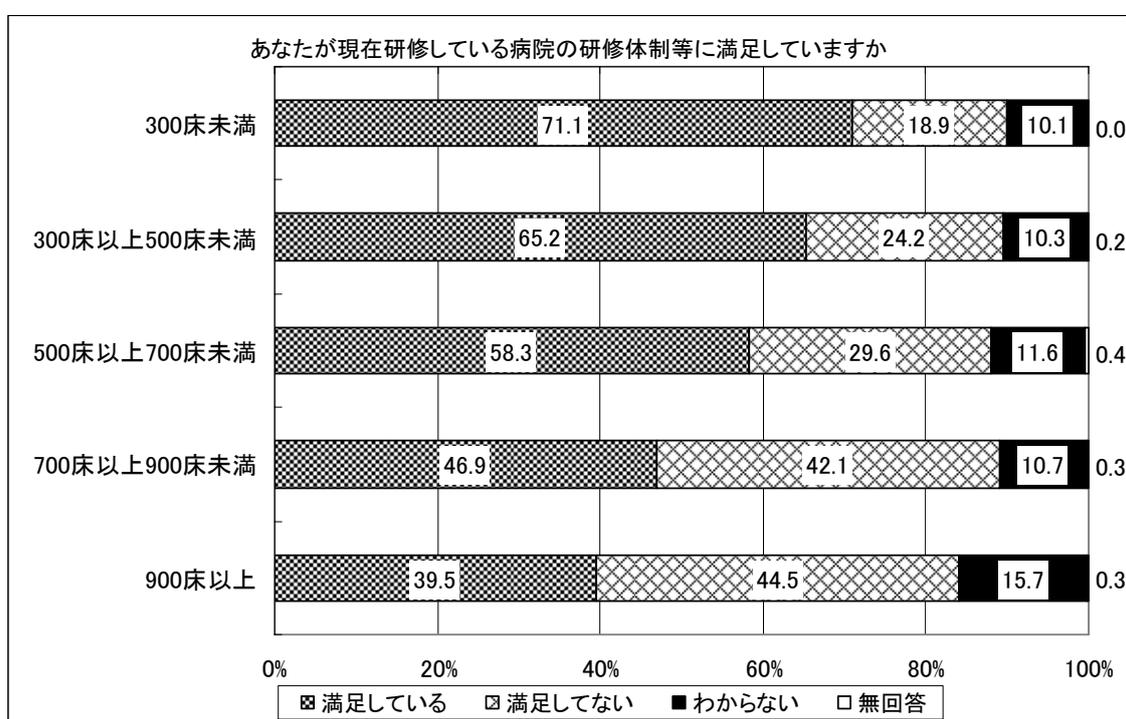
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



(3) 病床規模別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

1) 研修体制についての満足度

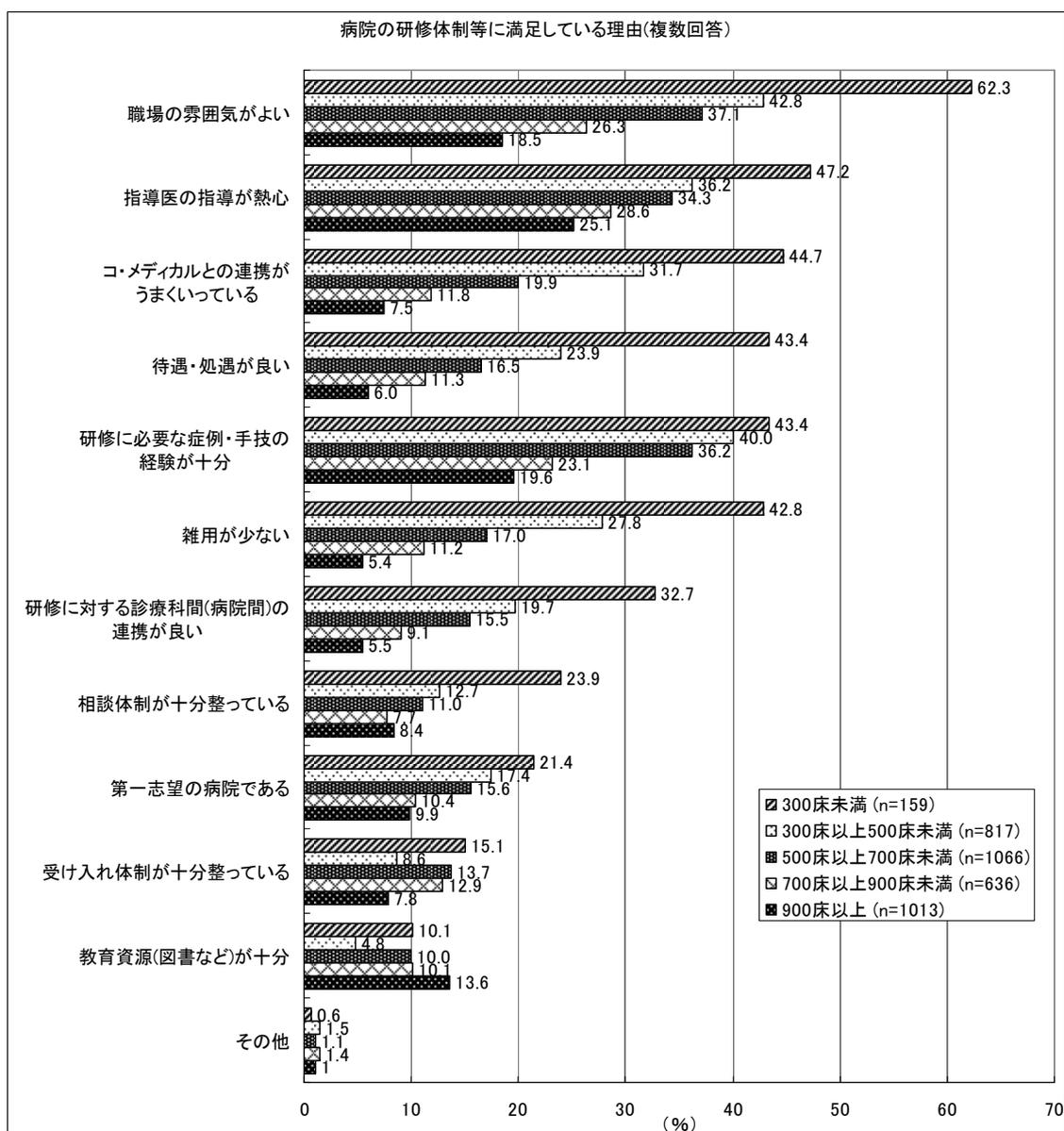
病院の研修体制について満足している者の割合は、300床未満の病院において71.1%、300床以上500床未満の病院において65.2%、500床以上700床未満の病院において58.3%、700床以上900床未満の病院において46.9%、900床未満の病院において39.5%であり、満足していない者の割合は、300床未満の病院において18.9%、300床以上500床未満の病院において24.2%、500床以上700床未満の病院において29.6%、700床以上900床未満の病院において42.1%、900床以上の病院において44.5%であった。



## 2) 研修体制について満足している理由

満足している理由としては、病床規模の小さい病院においては、「職場の雰囲気が良い」「指導医の指導が熱心」「コ・メディカルとの連携がうまくいっている」等が多く、病床数の多い病院においては、「教育資源（図書など）が十分」が病床規模の小さい病院よりも多かった。

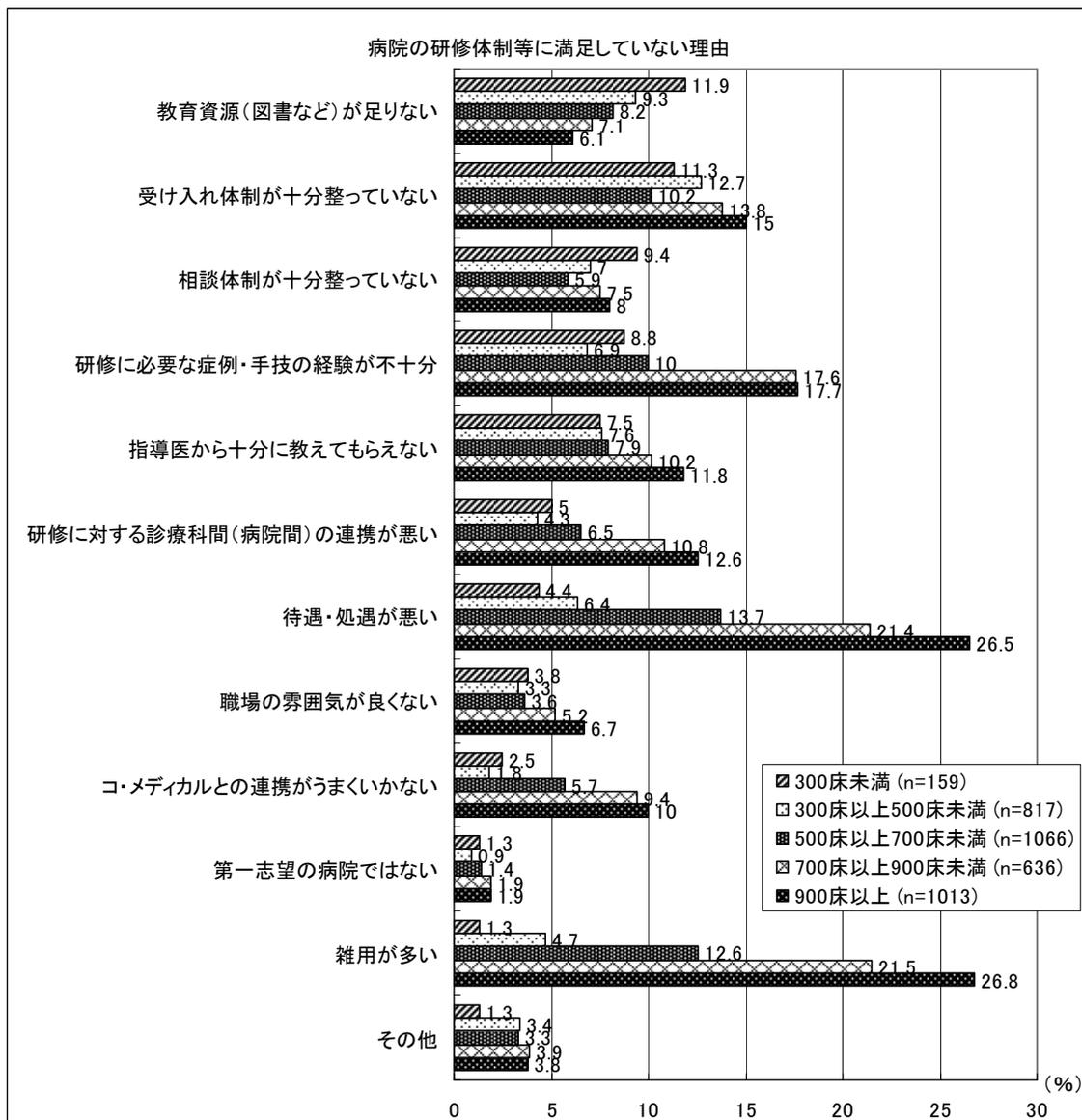
（なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。）



3) 研修体制について満足していない理由

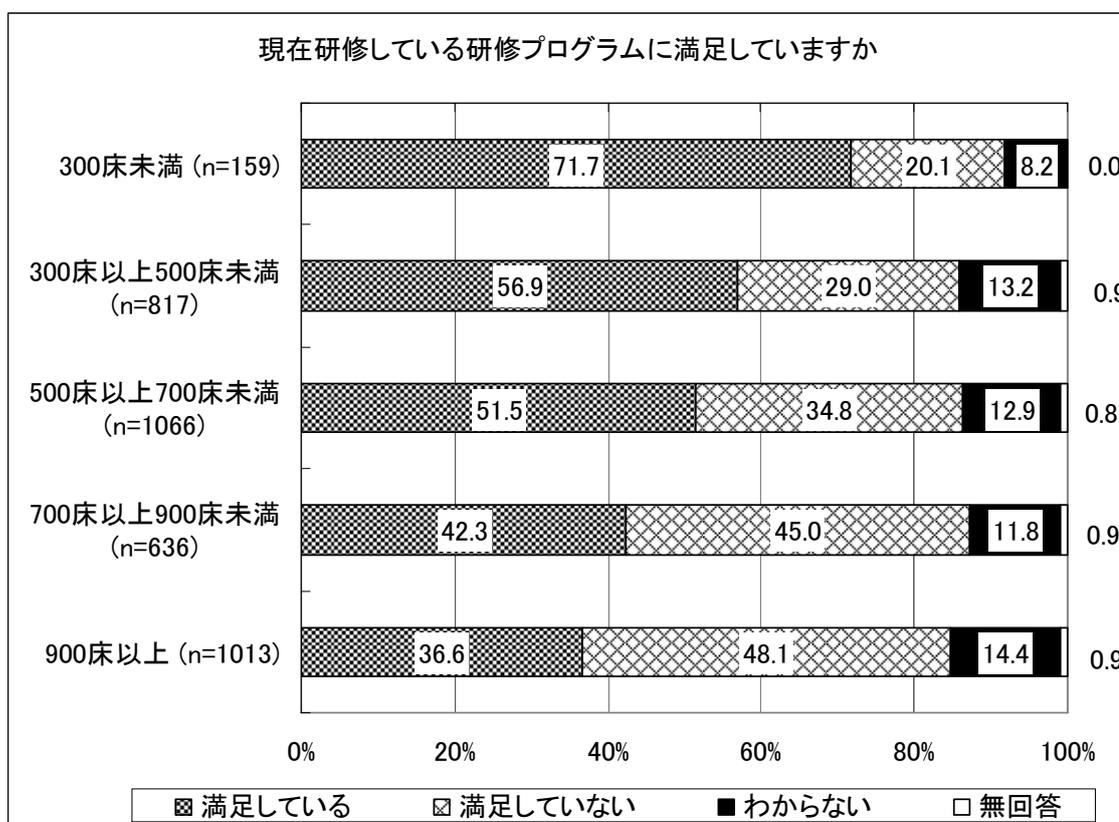
満足していない理由としては、500床未満の病院においては「教育資源(図書など)が足りない」が多く、500床以上の病院においては「雑用が多い」、「待遇・処遇が悪い」等が多かった。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



4) 研修プログラムについての満足度

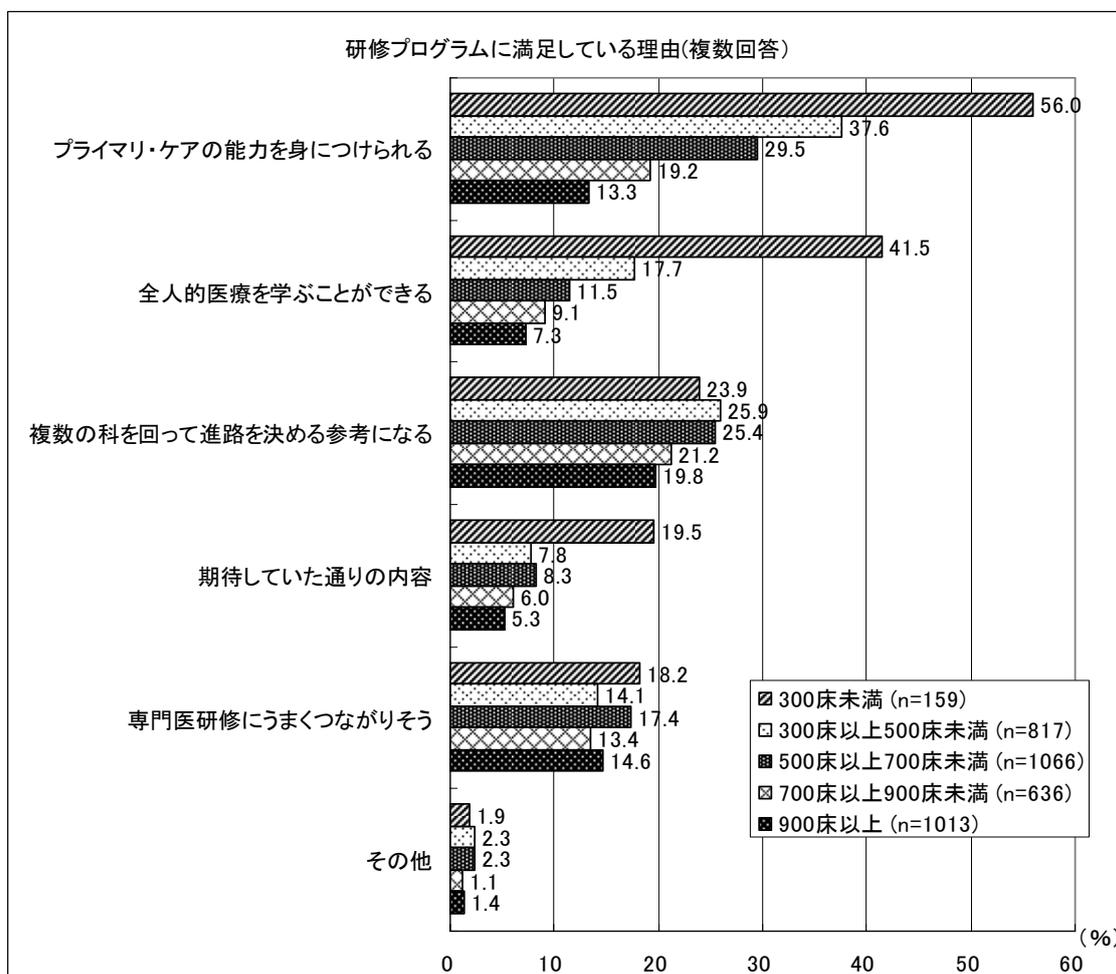
病院の研修プログラムについて満足している者の割合は、300床未満の病院において71.7%、300床以上500床未満の病院において56.9%、500床以上700床未満の病院において51.5%、700床以上900床未満の病院において42.3%、900床未満の病院において36.6%であり、満足していない者の割合は300床未満の病院において20.1%、300床以上500床未満の病院において29.0%、500床以上700床未満の病院において34.8%、700床以上900床未満の病院において45.0%、900床未満の病院において48.1%であった。



②研修プログラムに満足している理由

満足している理由としては、300床未満の病床の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」、「全人的医療を学ぶことができる」等が多い。また全ての病院においては、「複数の科を回って進路を決める参考になる」が多い。

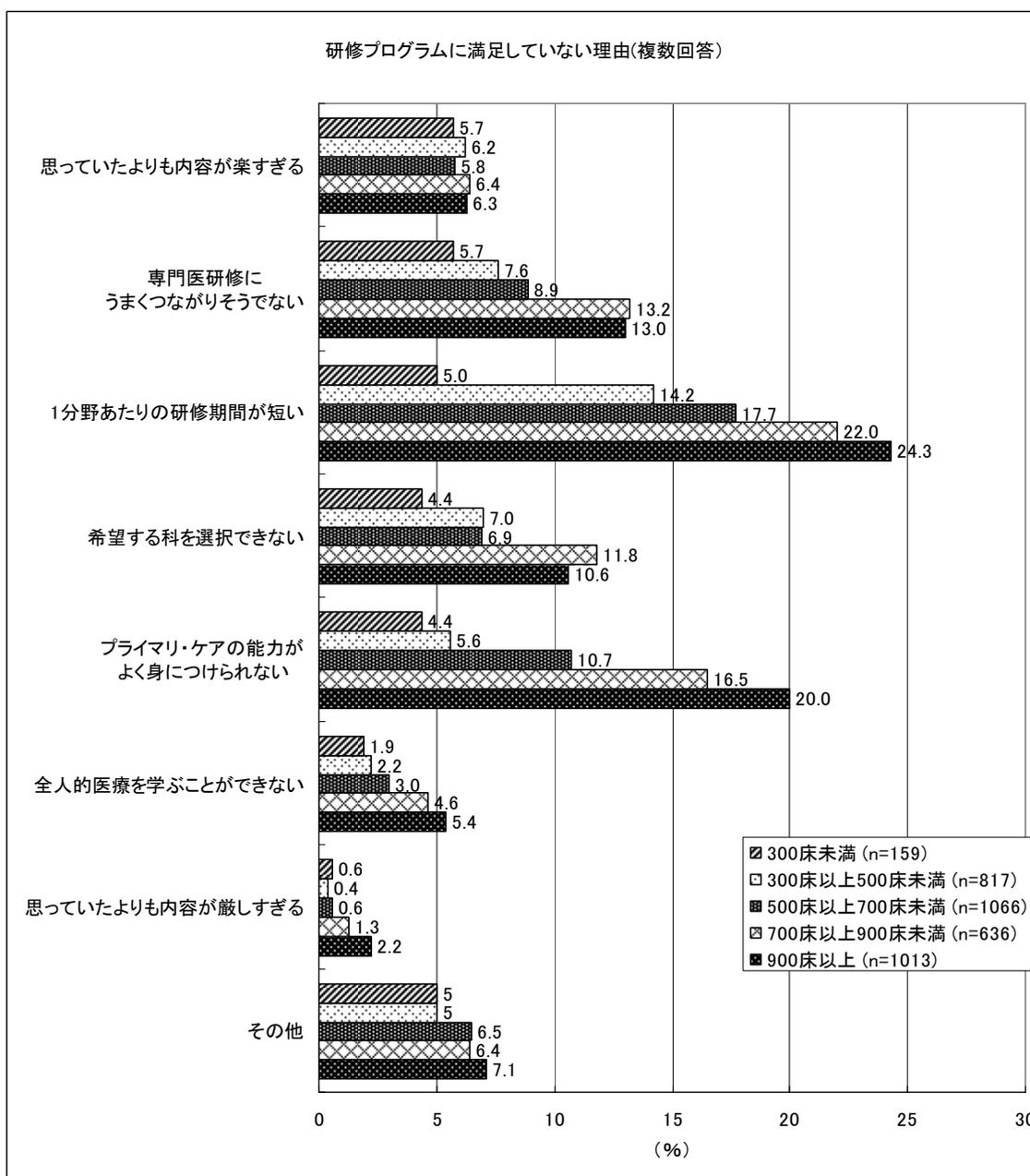
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



③研修プログラムに満足していない理由

満足していない理由としては、300床以上の病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」が、700床以上の病院においては、「プライマリ・ケアの能力を身につけられない」等が多かった。

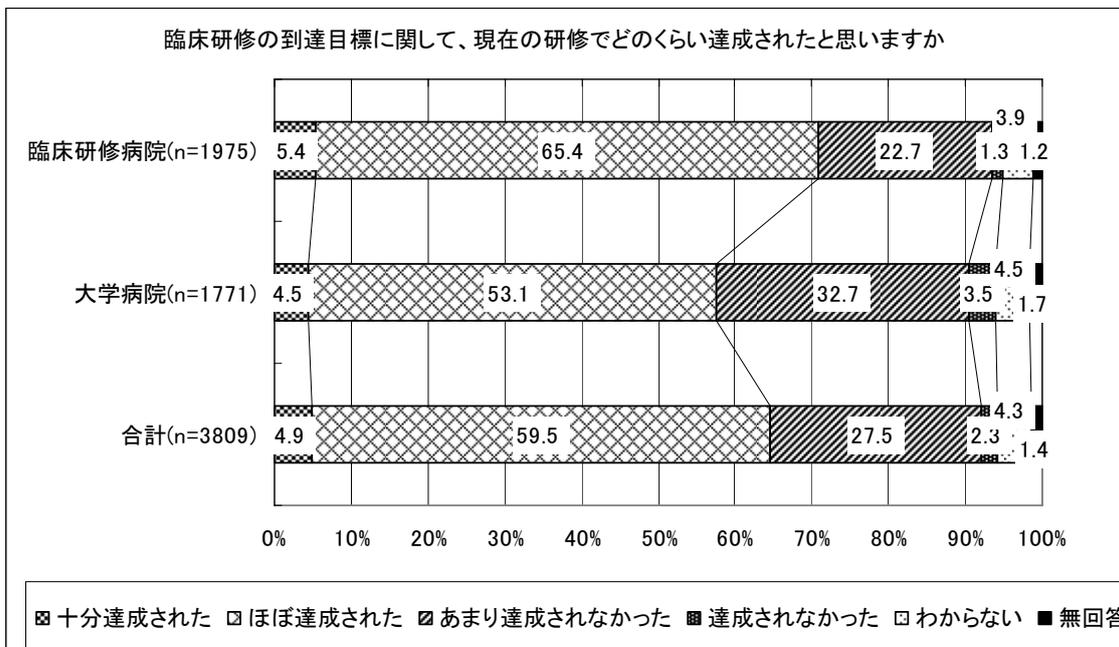
(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



(4)臨床研修の目標達成度

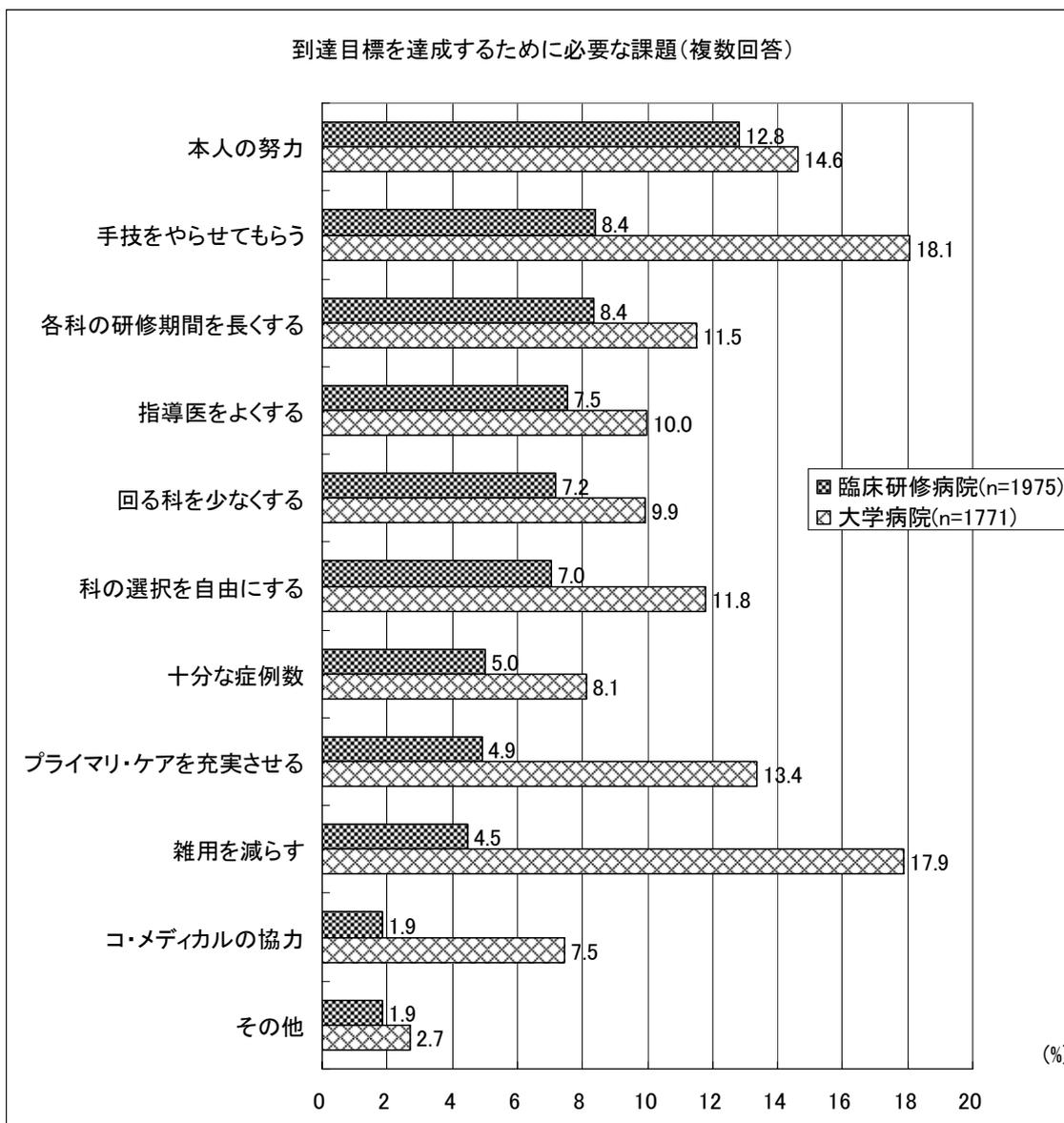
1)達成度

目標が十分、もしくはほぼ達成されたとした研修医の割合は、全体では64.4%、臨床研修病院では70.8%、大学病院では57.6%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。



2) 達成するために必要な課題

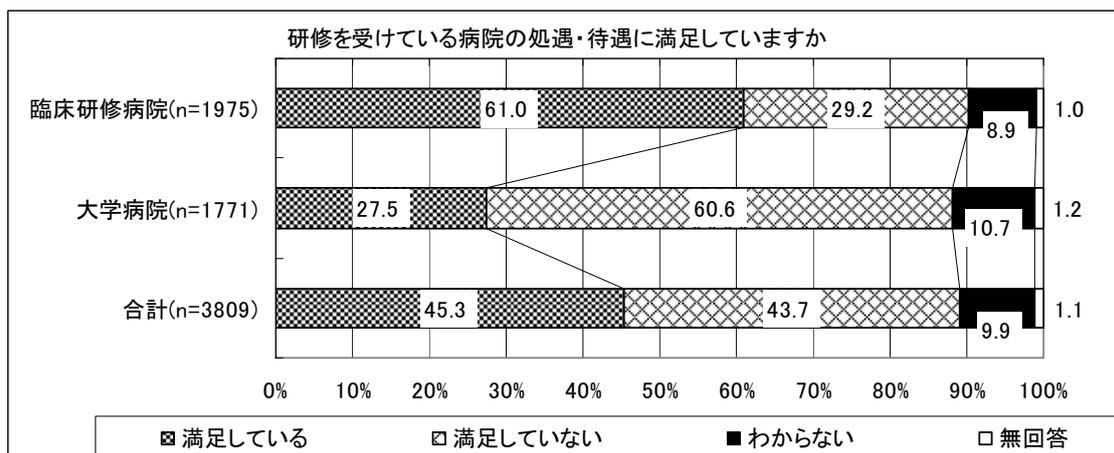
目標を達成するために必要な課題として、臨床研修病院においては「本人の努力」(14.6%)、大学病院においては「手技をやらせてもらう」(18.1%) 「雑用を減らす」(17.9%) 等が多い。



(5) 処遇・待遇について

1) 処遇・待遇についての満足度

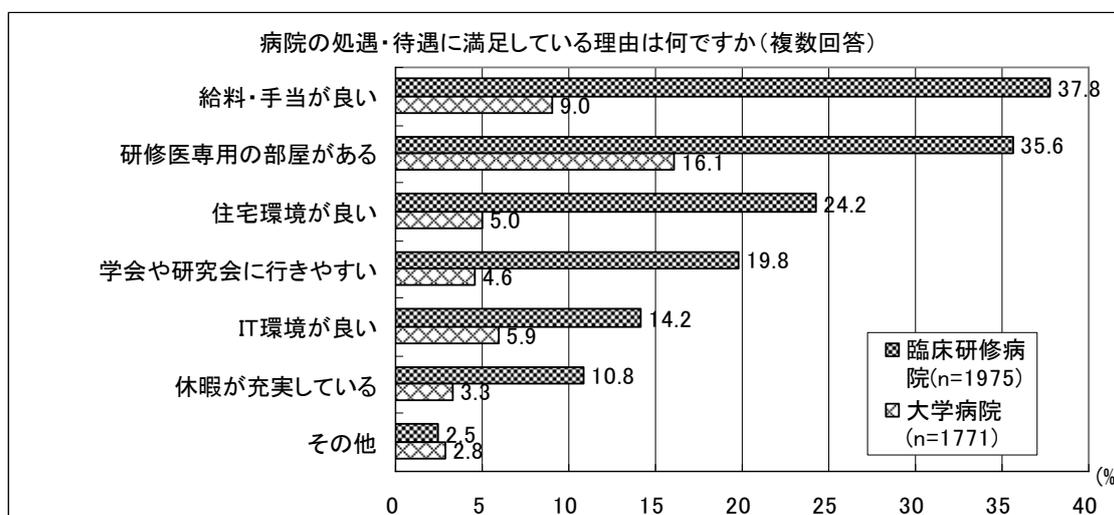
研修を受けている病院の処遇・待遇に満足しているとした者の割合は、臨床研修病院において61.0%、大学病院において27.5%であり、満足していないとした者は臨床研修病院において29.2%、大学病院において60.6%であった。



2) 処遇・待遇についての満足した理由(臨床研修病院/大学病院別)

満足している理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が良い(37.8%)」、「研修医専用の部屋がある(35.6%)」、大学病院においては「研修医専用の部屋がある(16.1%)」等が多い。

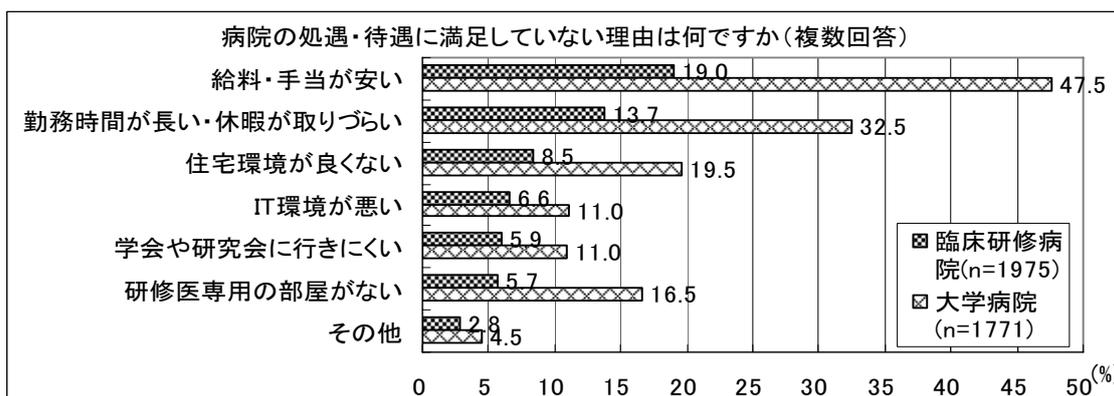
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



3) 処遇・待遇についての不満足の原因

満足していない理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が安い」(19.0%)、大学病院においては「給料・手当が安い」(47.5%)、「勤務時間が長い・休暇が取りづらい」(32.5%)等が多い。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



参考資料

厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室調べ

研修医(1年次生)の平均給与(年収)の比較

区分	平成15年度 (旧制度)A	平成16年度 (新制度)B	16' - 15' (B-A)	平成17年度C	17' - 16' (C-B)	17' - 15' (C-A)
	円	円	円	円	円	円
臨床研修病院	4,245,413	4,223,636	△ 21,777	4,562,902	339,266	317,489
国立①	2,897,122	3,836,323	939,201	4,039,758	203,435	1,142,636
公立	4,286,721	4,186,919	△ 99,802	4,626,322	439,403	339,601
公的	4,547,842	4,284,070	△ 263,772	4,641,408	357,338	93,566
その他	4,635,405	4,378,283	△ 257,122	4,638,145	259,862	2,740
大学附属病院	2,040,051	3,179,289	1,139,238	3,427,337	248,048	1,387,286
国立②	2,383,418	3,433,817	1,050,399	3,710,358	276,541	1,326,940
公立	2,309,335	3,763,542	1,454,207	4,016,824	253,282	1,707,489
私立	1,461,016	2,749,984	1,288,968	2,974,225	224,241	1,513,209
全体	2,645,810	3,653,496	1,007,686	4,004,494	350,998	1,358,684

国立①: 厚生労働省(国立病院機構)、防衛庁、日本郵政公社、労働福祉事業団(労働者健康福祉機構)

国立②: 文部科学省(国立大学法人)

公立: 都道府県、市町村

公的: 日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会

その他: 上記以外の公益法人、医療法人等

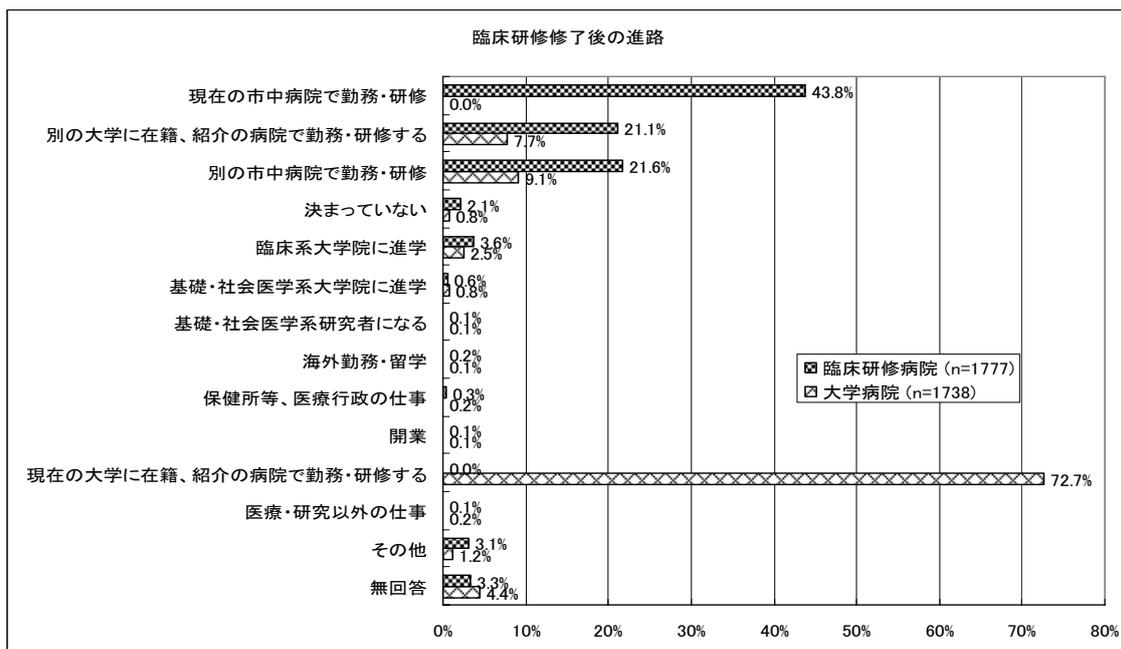
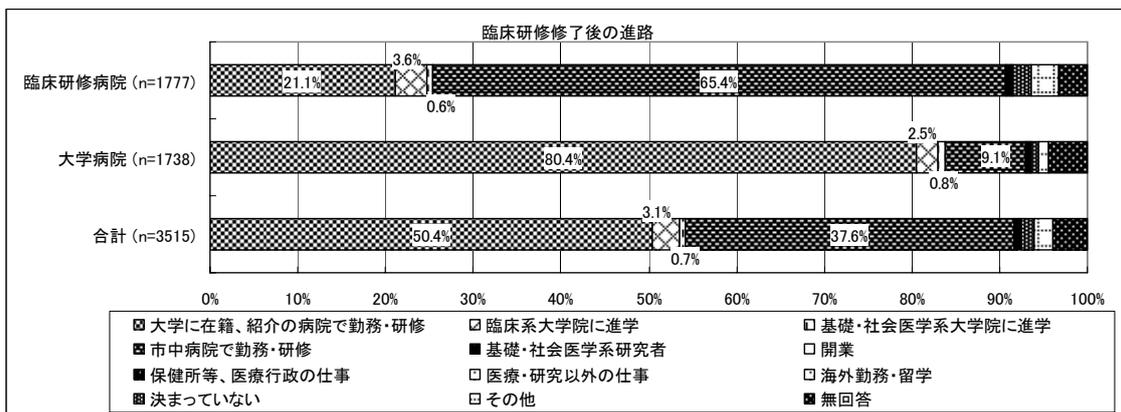
(6)臨床研修修了後の進路

臨床研修修了後の進路は、大学病院で勤務・研修を行う者は50.4%（大学院を入れると54.2%）、市中病院で勤務・研修を行う者は37.6%であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、臨床研修後に大学で勤務・研修を行う者の割合は80.4%（大学院を入れると83.7%）であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は21.1%（大学院を入れると25.3%）であった。

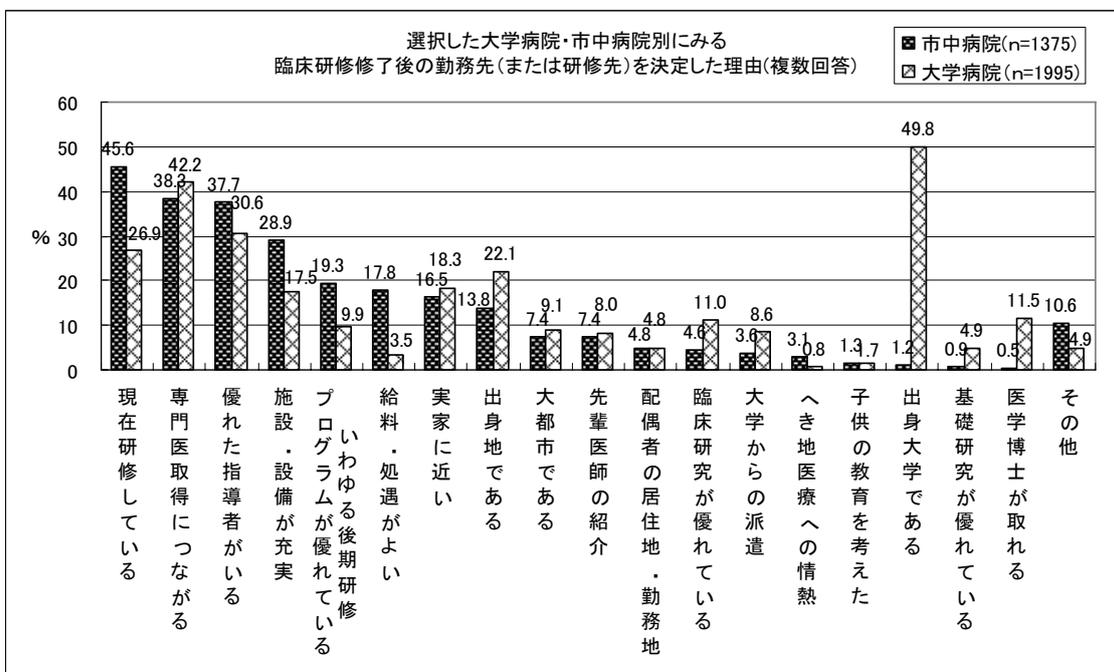
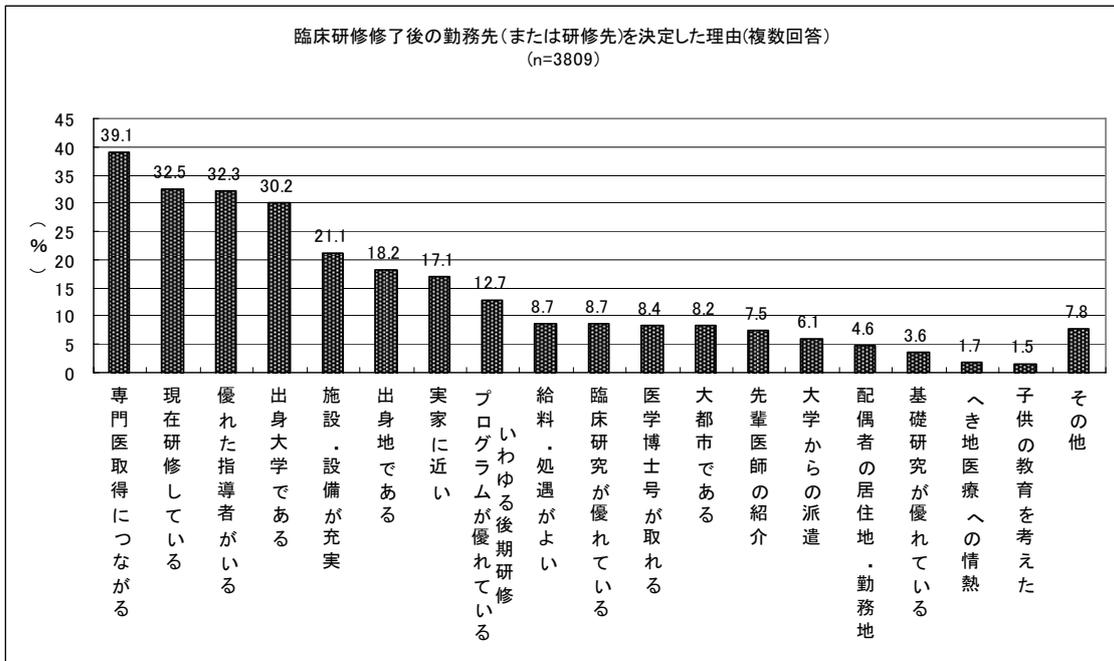
大学病院で臨床研修を行った者において、研修修了後に市中病院で勤務・研修を行う者の割合が9.1%であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は65.4%であった。

研修後も臨床研修を行った病院にて研修・勤務を引き続き行う傾向があり、特に大学病院ではその傾向が強い。



(7)臨床研修修了後の研修・勤務先を決定した理由

臨床研修修了後の勤務・研修先を決定した理由では、全体では、「専門医取得につながる」(39.1%)、「現在研修している」(32.5%)、「優れた指導者がいる」(32.3%)、「出身大学である」(30.2%)等が上位を占めた。

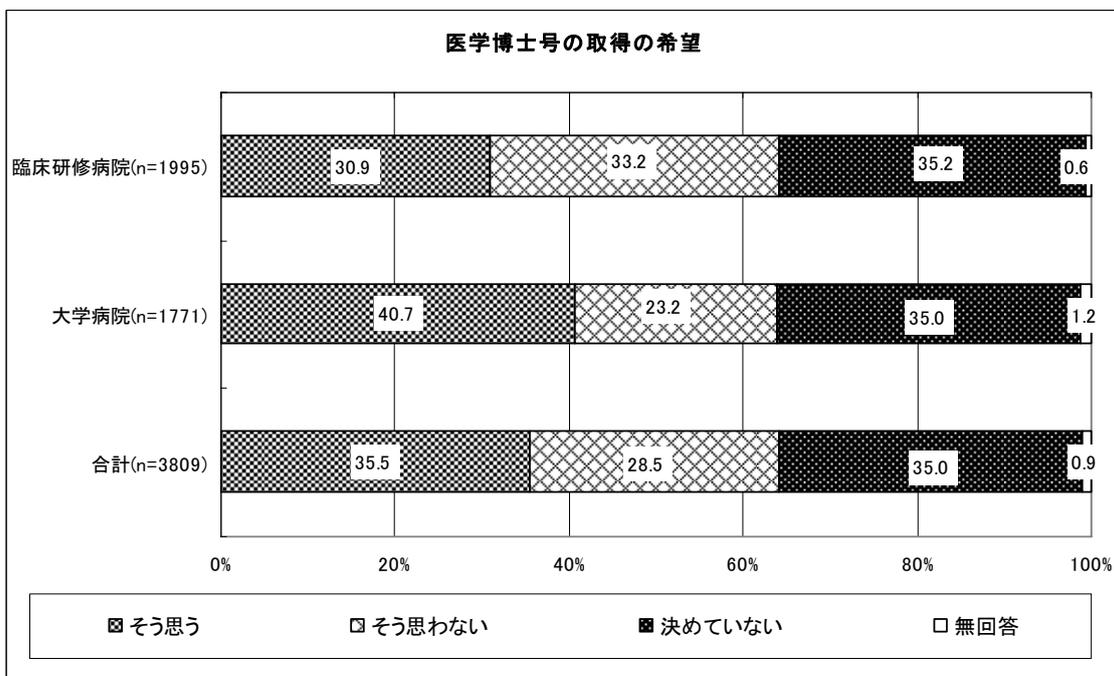
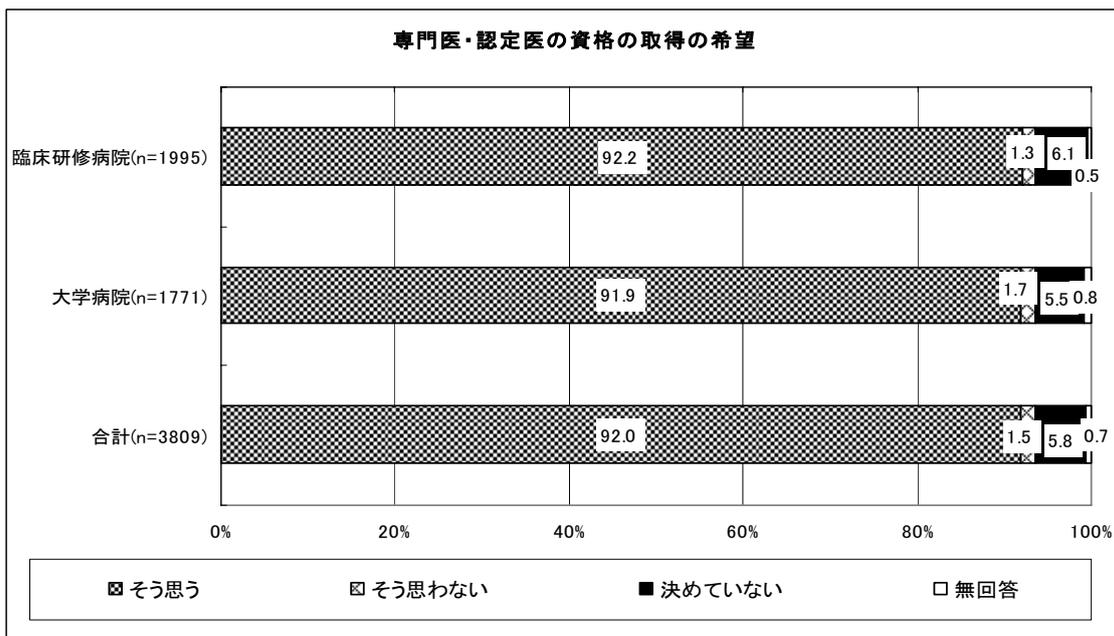


(8) 専門医・認定医・博士号の取得希望について

1) 専門医・認定医/医学博士の資格取得希望(臨床研修病院/大学病院別)

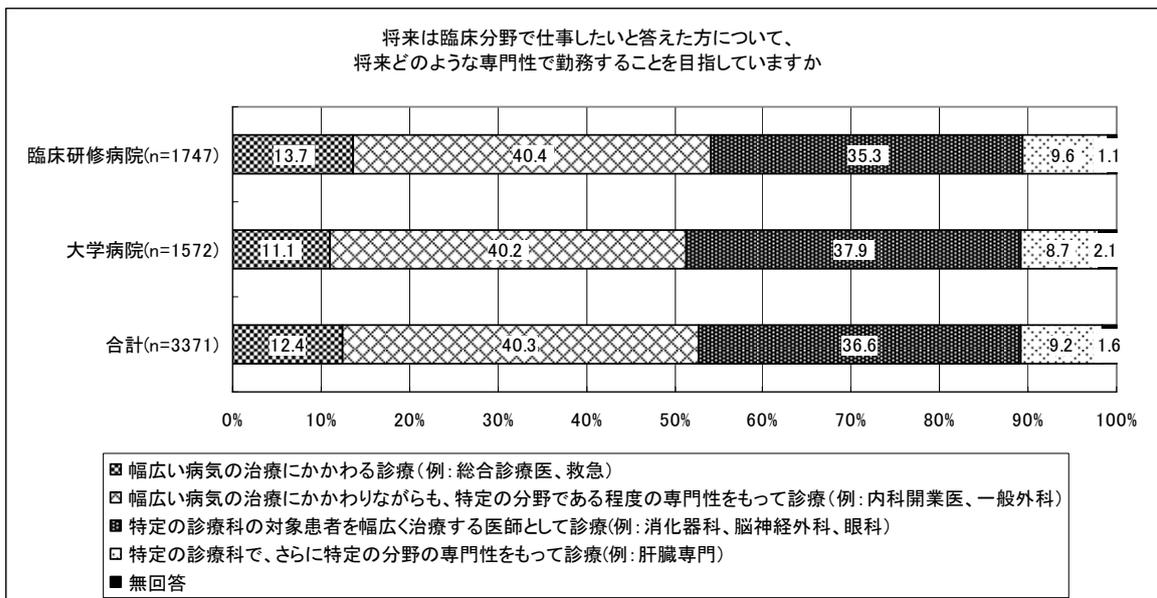
研修医が専門医、認定医の取得を希望している割合は、臨床研修病院では92.2%、大学病院では91.9%であった。

また、研修医が博士号の取得を希望している割合は、臨床研修病院では30.9%、大学病院では40.7%であった。



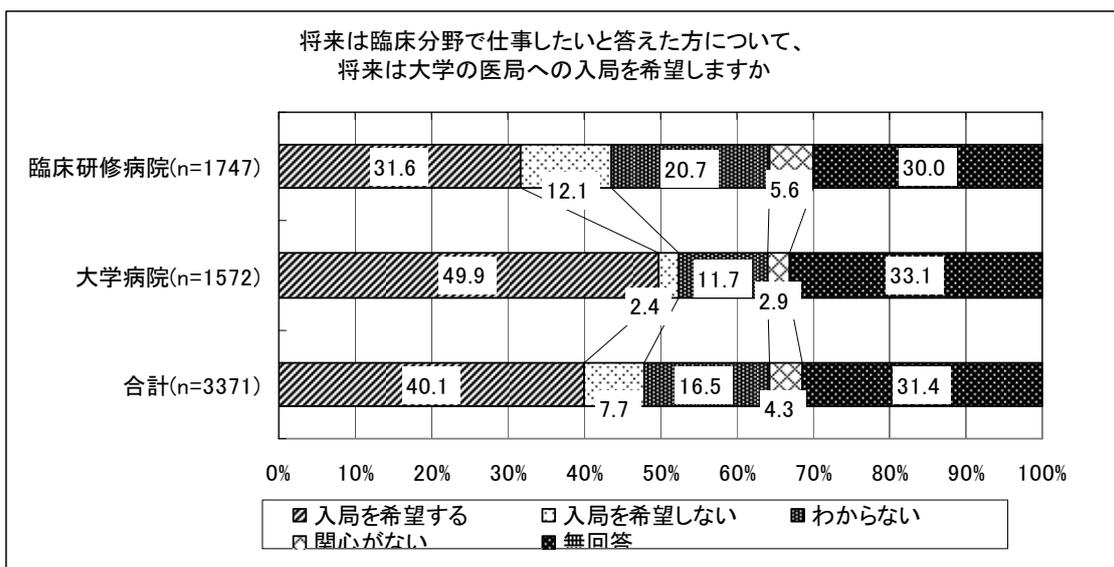
2) 専門性の範囲(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医において、「幅広い病気の治療にかかわりながらも特定の分野で専門性をもって診療したい」が 40.3%、「特定の診療科対象患者を幅広く治療する医師として診療したい」が 36.6%であった。



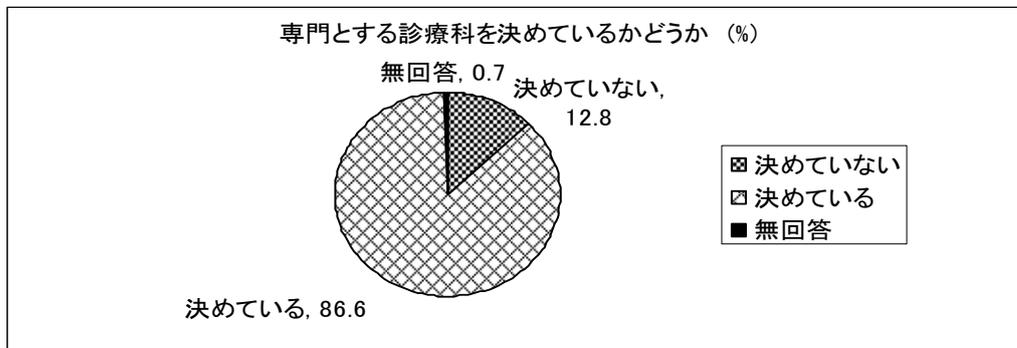
(9) 大学の医局へ入る希望(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医において、大学の医局へ入局希望があると回答した割合は、臨床研修病院にて 31.6%、大学病院において 49.9%であった。



(10)臨床研修修了後に進む診療科を決めているかどうか

臨床研修修了後に専門とする診療科を決めている者は3298人(86.6%)であった。



(11)希望する診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた3298人のうち、最も多い科は内科で14.6%であった。また、小児科は7.5%、産婦人科は4.9%、麻酔科は5.8%であった。小児科、産婦人科、麻酔科に関しては、20代医療施設従事医師診療科別割合(平成14年)よりも高くなっている。

診療科	人数	割合		人数	割合
内科	480	14.6%	脳神経外科	57	1.7%
外科	293	8.9%	心臓血管外科	46	1.4%
小児科	247	7.5%	総合診療科	25	0.8%
消化器科	217	6.6%	小児外科	16	0.5%
整形外科	213	6.5%	呼吸器外科	15	0.5%
循環器科	207	6.3%	リハビリテーション科	15	0.5%
麻酔科	191	5.8%	病理	15	0.5%
産婦人科	163	4.9%	基礎系	11	0.3%
精神科	142	4.3%	リウマチ科	8	0.2%
眼科	131	4.0%	心療内科	6	0.2%
皮膚科	131	4.0%	美容外科	6	0.2%
放射線科	100	3.0%	緩和ケア	5	0.2%
呼吸器科	92	2.8%	医療行政職	5	0.2%
泌尿器科	86	2.6%	アレルギー科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	84	2.5%	その他	67	2.0%
形成外科	71	2.2%	無回答	18	0.5%
救命救急	70	2.1%	総計	3298	100.0%
神経内科	62	1.9%			

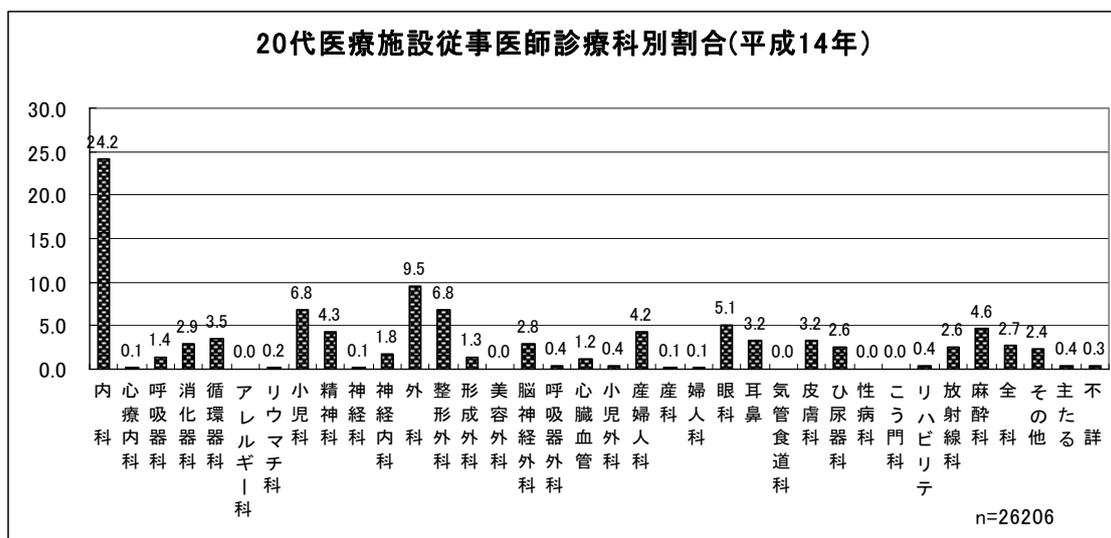
内科系

内科	480	14.6%
消化器科	217	6.6%
循環器科	207	6.3%
呼吸器科	92	2.8%
神経内科	62	1.9%
総合診療科	25	0.8%
リウマチ科	8	0.2%
心療内科	6	0.2%
合計	1097	33.3%

外科系(産婦人科含まない)

外科	293	8.9%
整形外科	213	6.5%
眼科	131	4.0%
皮膚科	131	4.0%
泌尿器科	86	2.6%
耳鼻咽喉科	84	2.5%
形成外科	71	2.2%
脳神経外科	57	1.7%
心臓血管外科	46	1.4%
小児外科	16	0.5%
呼吸器外科	15	0.5%
美容外科	6	0.2%
合計	1149	34.8%

<参考> 20代医療施設従事医師診療科別割合

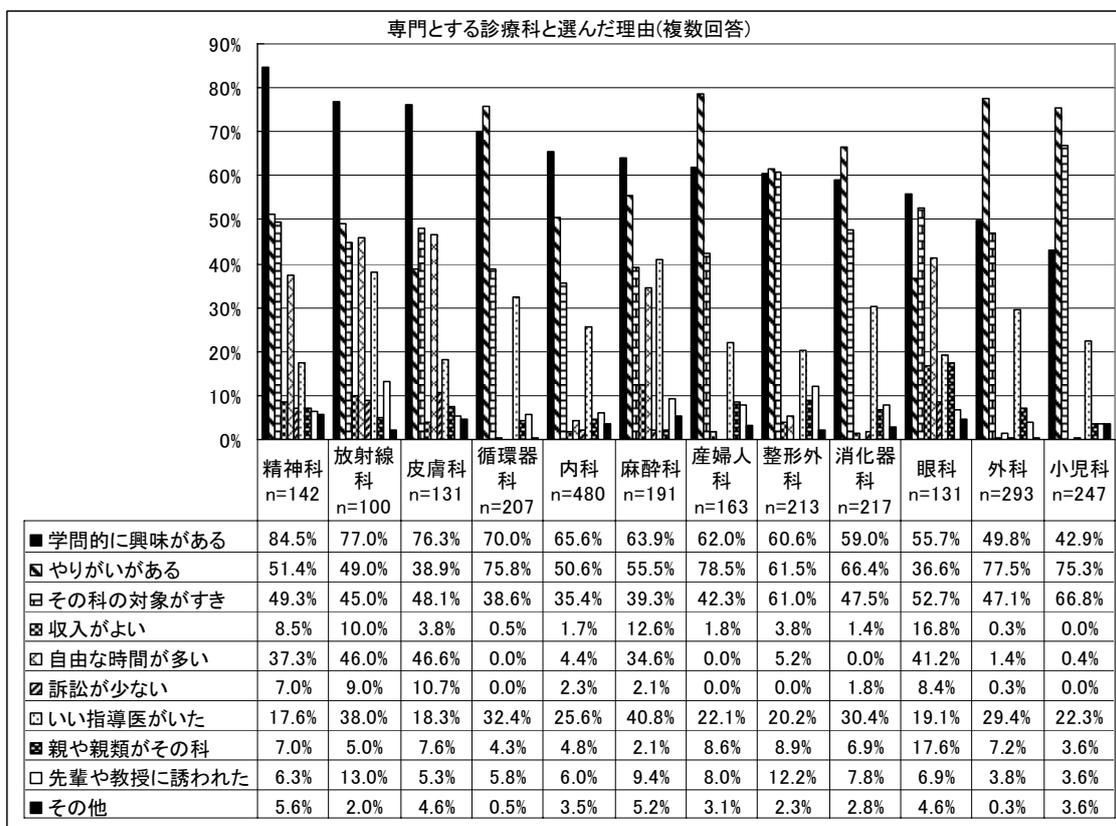
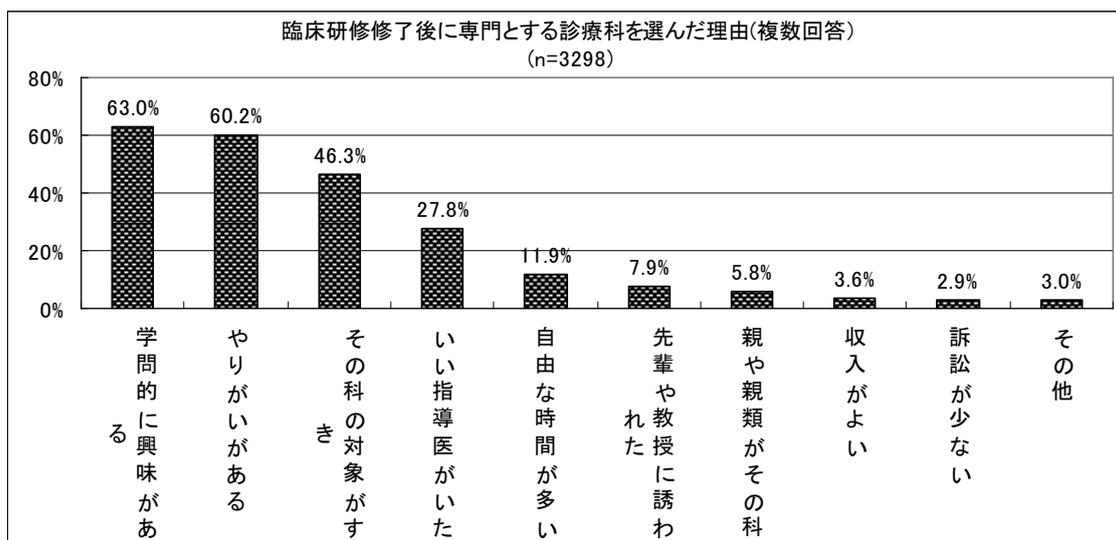


厚生労働省大臣官房統計情報部 平成14年医師・歯科医師・薬剤師調査

※平成16年度より開始した医師臨床研修制度の影響を除くため、平成14年調査結果を提示した。

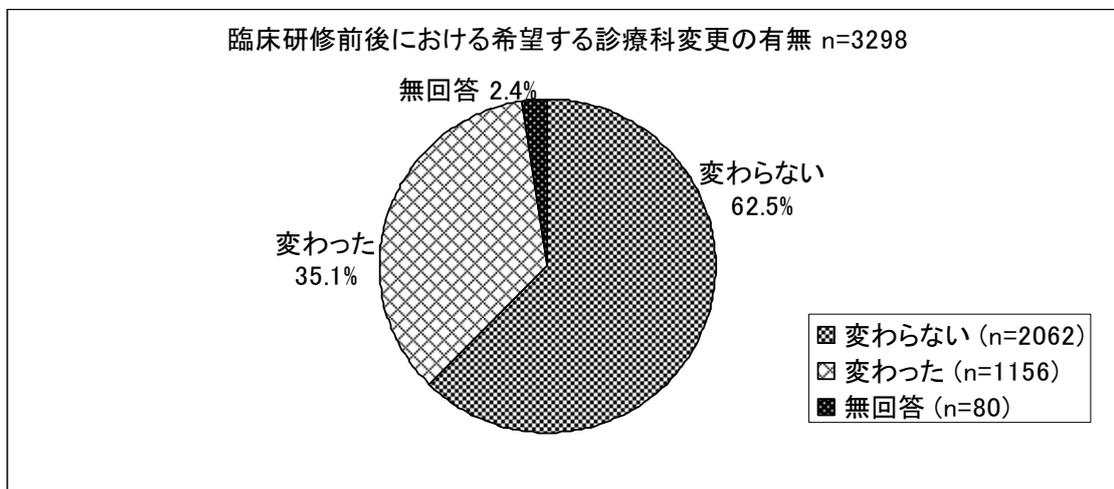
(12)(診療科別) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(63.0%)、次いで、「やりがいがある」(60.2%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科、循環器科では「学問的に興味がある」が70%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



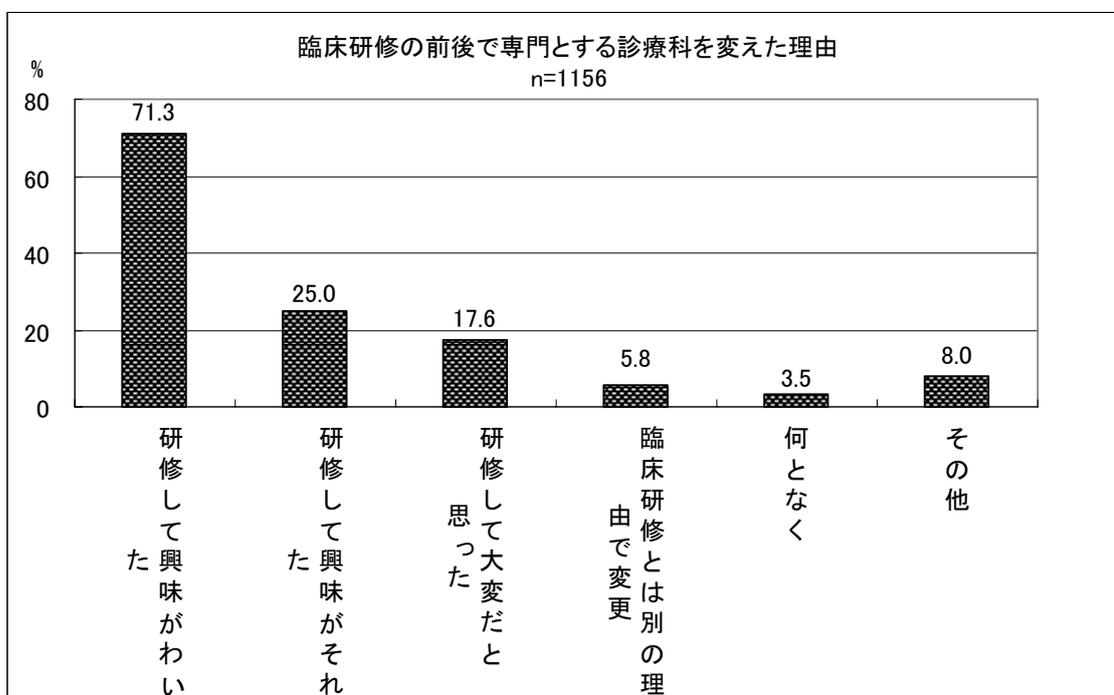
(13)(診療科別) 研修後の診療科変更について

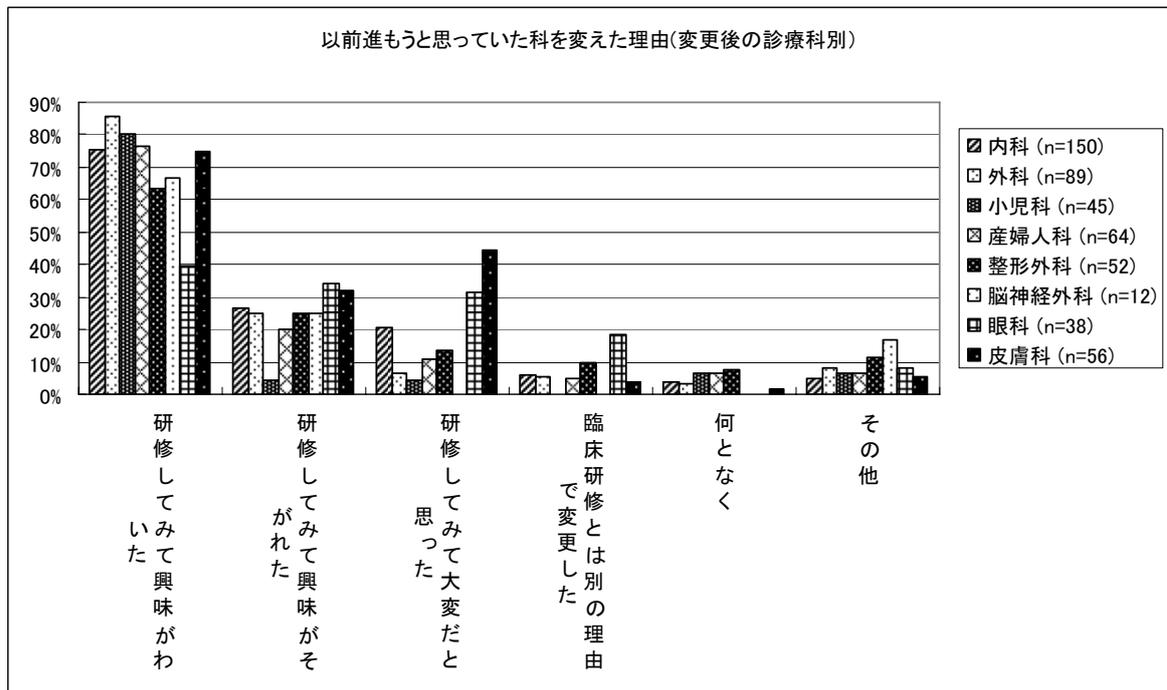
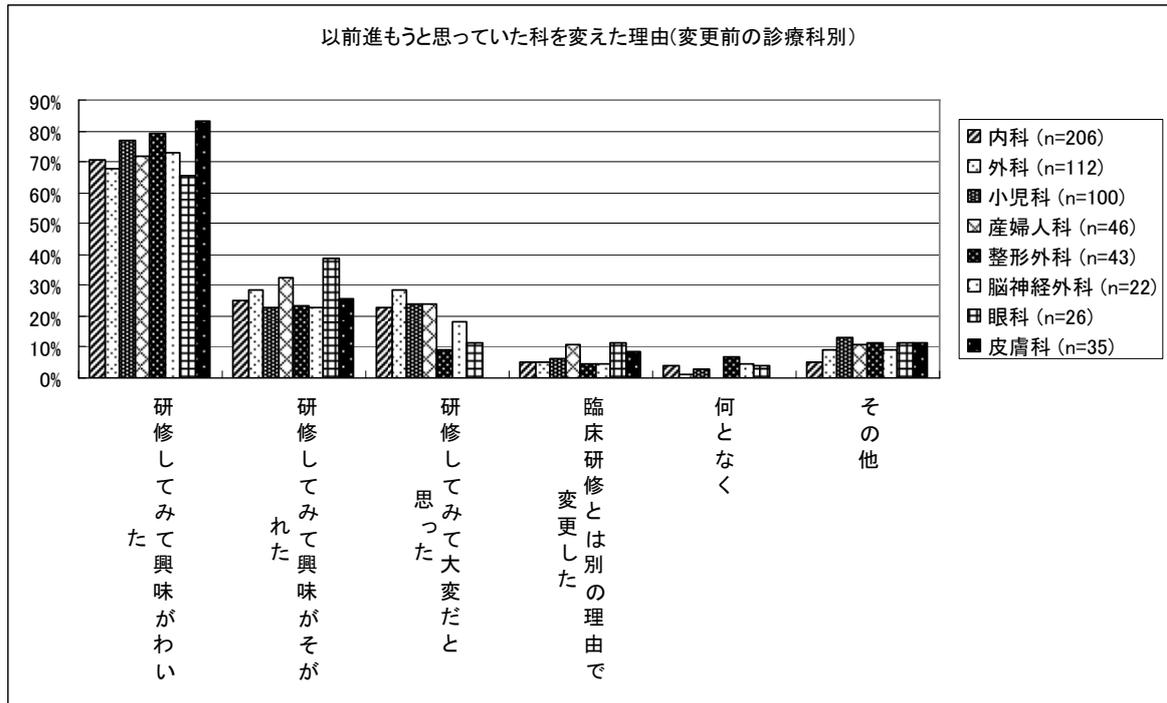
臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1156人(35.1%)であった。



(14)(診療科別) 診療科を変更した理由

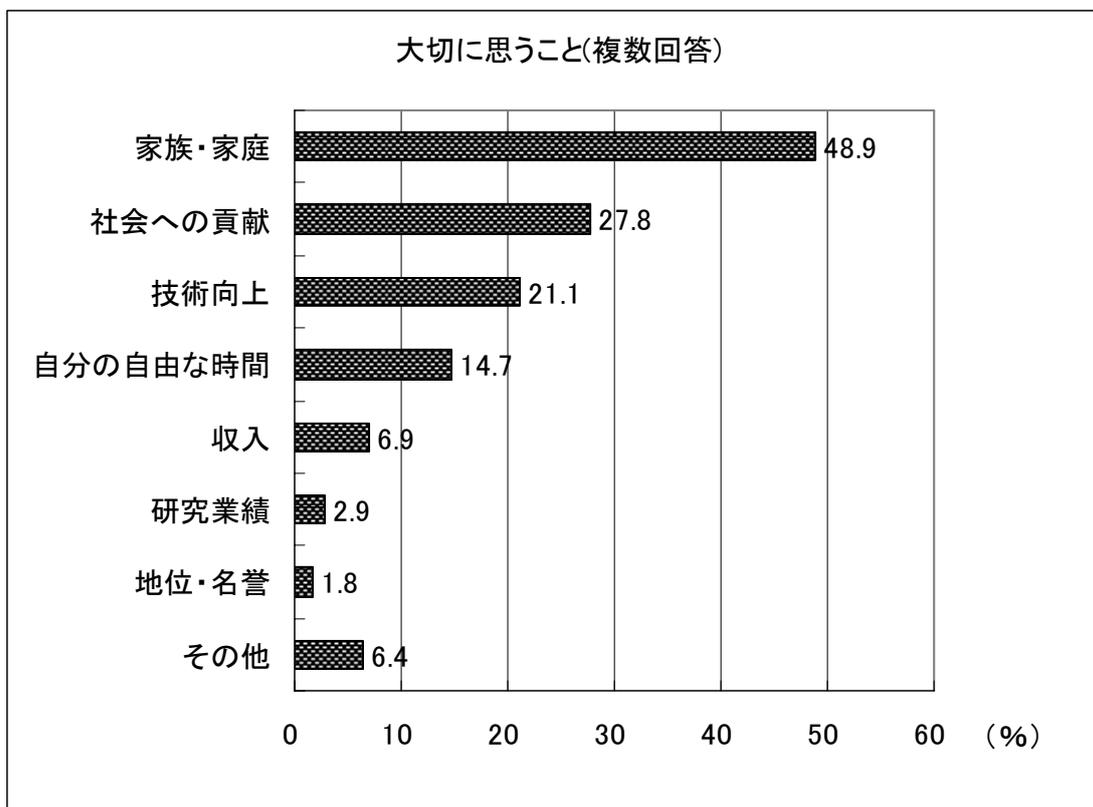
診療科を変更した理由は「研修してみて興味がわいたから」(71.3%)が最も多く、「研修してみて大変だと思った」は17.6%であった。





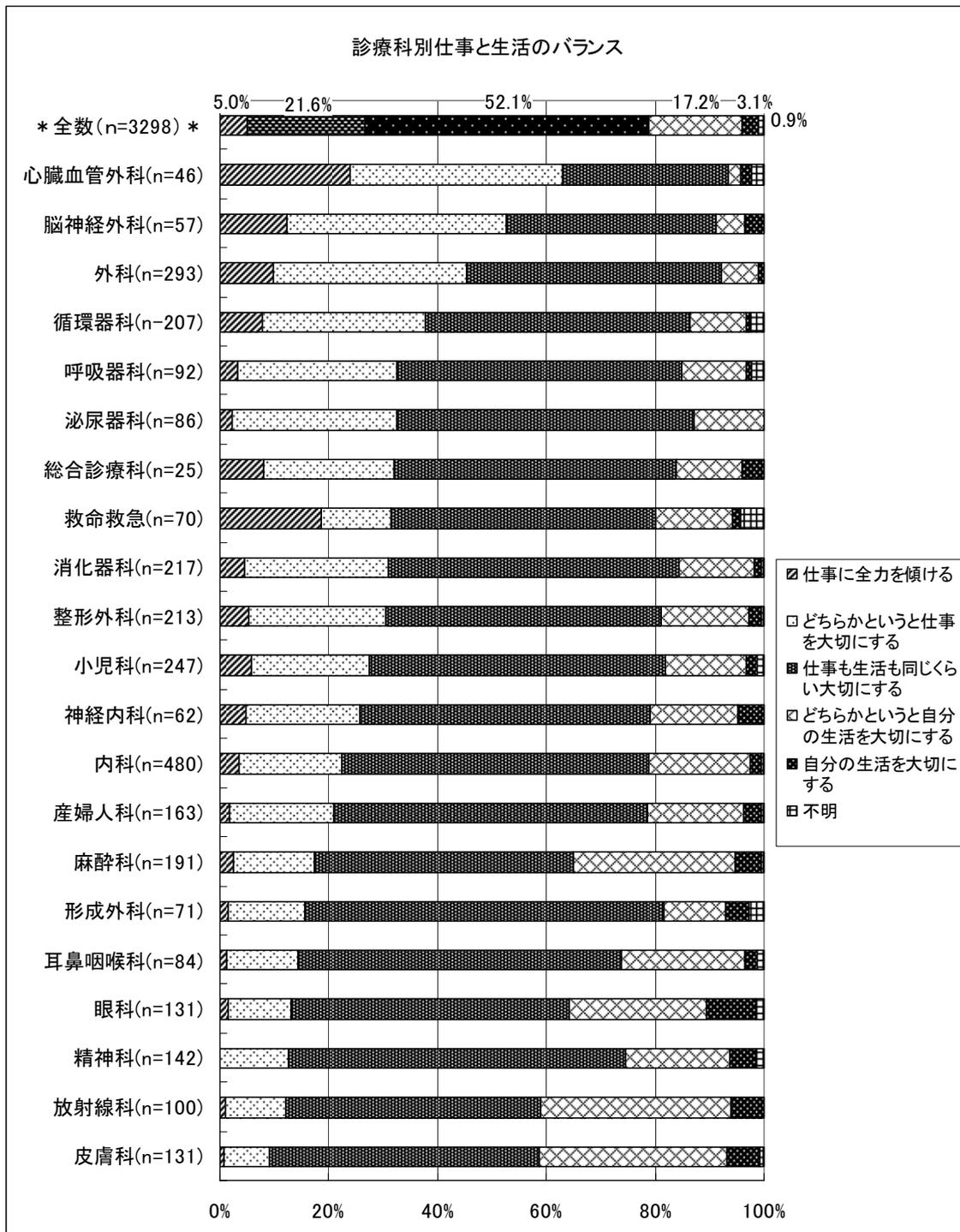
(15)大切に思うことについて

最も大切に思うことは「家族・家庭」が最も多く、48.9%であった。ついで「社会への貢献」が27.8%、「技術向上」が21.1%であった。



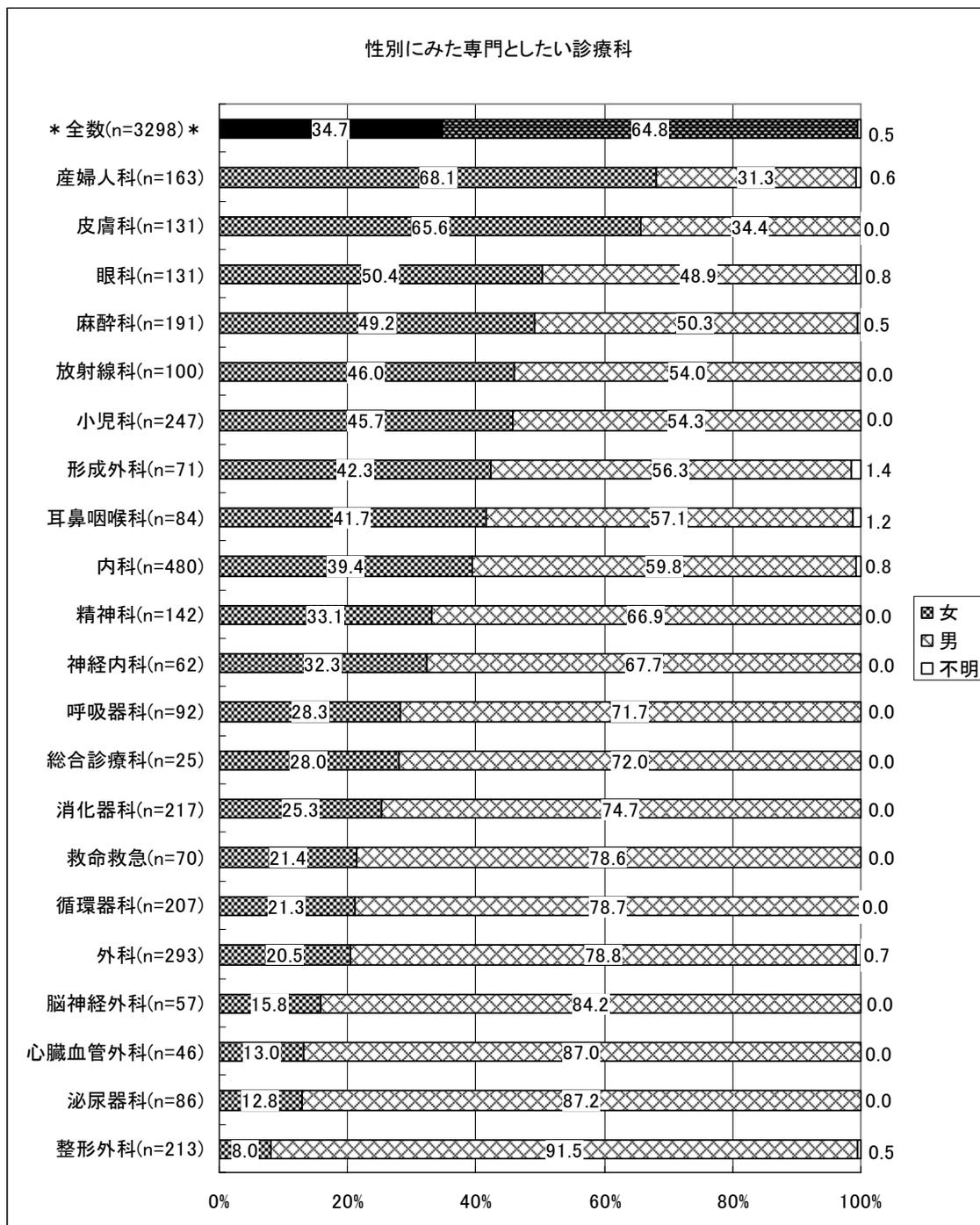
(16)(診療科別) 仕事と生活のバランスについて

仕事と生活のバランスについては、「仕事に全力を傾ける」「どちらかという仕事を大切にする」を選んだ者は26.6%、「仕事も生活も同じくらい大切にする」を選んだ者は52.1%、「どちらかという自分の生活を大切にする」「自分の生活を大切にする」を選んだ者は20.3%であった。



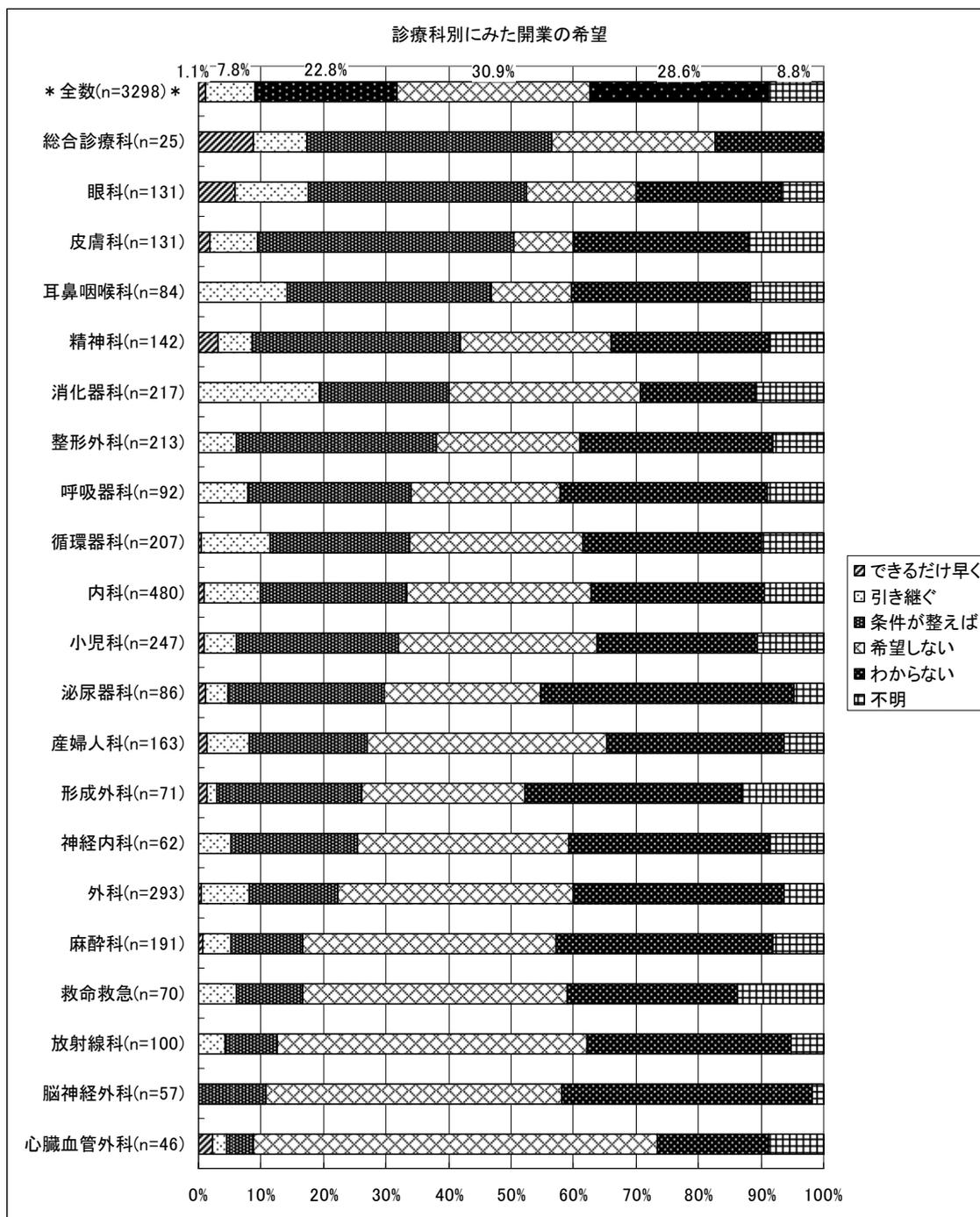
(17) 性別にみた専門とした診療科

女性医師の割合が高いのは、産婦人科（68.1%）皮膚科（65.6%）、眼科（50.4%）等であり、女性医師の割合が低いのは、整形外科（8.0%）、泌尿器科（12.8%）、心臓血管外科（13.0%）等であった。



(18) 将来の開業希望

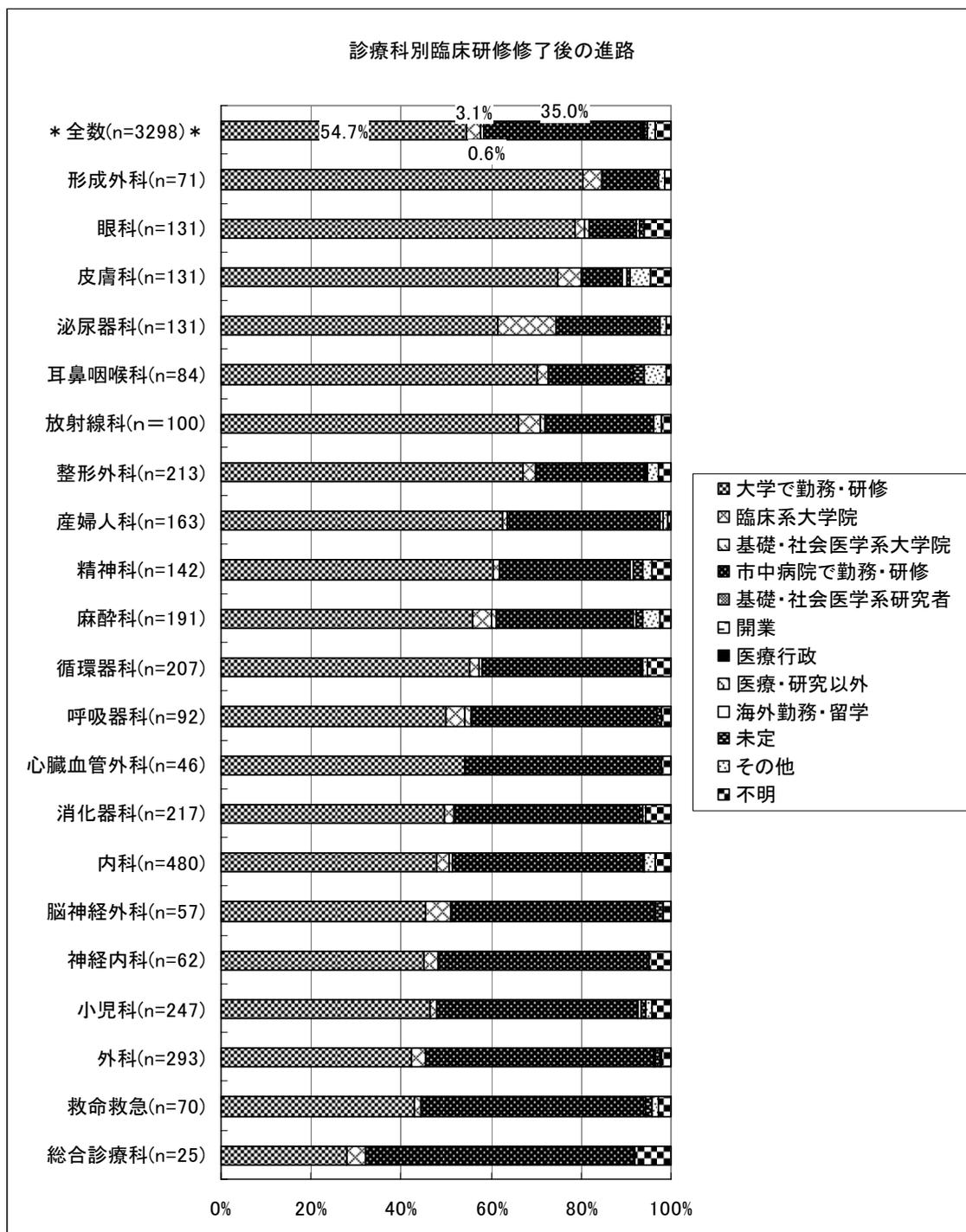
将来、開業を希望する割合（「できるだけ早く」「引き継ぐ」「条件が整えば」の計）が多い科は総合診療科、眼科、皮膚科等であり、少ない科は心臓血管外科、脳神経外科等であった。



※ 開業を希望する割合（「できるだけ早く」、「引き継ぐ」、「条件が整えば」の計）順

(19)(診療科別) 臨床研修修了後の進路

大学病院で勤務・研修する割合が高い科は、形成外科、眼科、皮膚科等であり、市中病院で勤務・研修する割合が高い科は、総合診療科、外科、救命救急等であった。

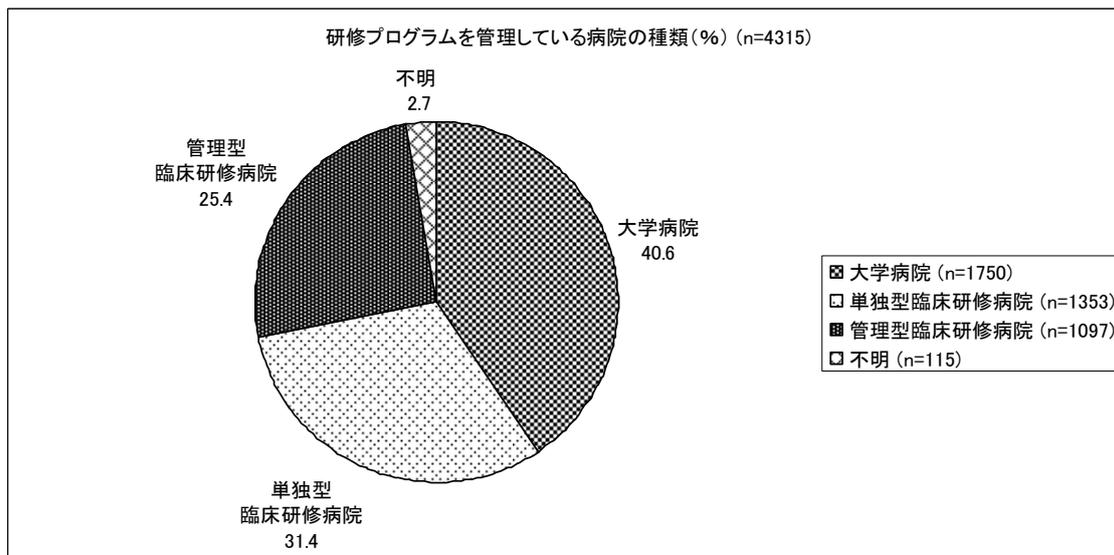


## 2. 研修1年次生に関する調査

### (1) 研修医のプログラムを管理している病院について

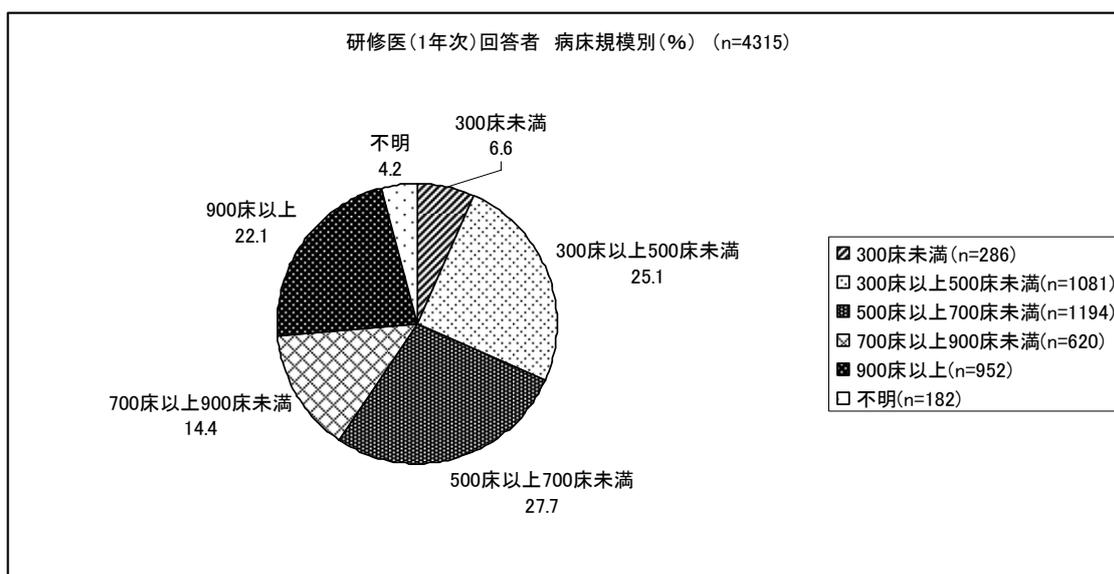
#### 1) 研修医のプログラムを管理している病院の種類

研修医のプログラムを管理している病院は、大学病院 40.6%、臨床研修病院 56.8%であった。



#### 2) 研修プログラムを管理している病院の規模

研修プログラムを管理している病院の規模は、300床未満 (6.6%)、300床以上500床未満 (25.1%)、500床以上700床未満 (27.7%)、700床以上900床未満 (14.4%)、900床以上 (22.1%) であった。

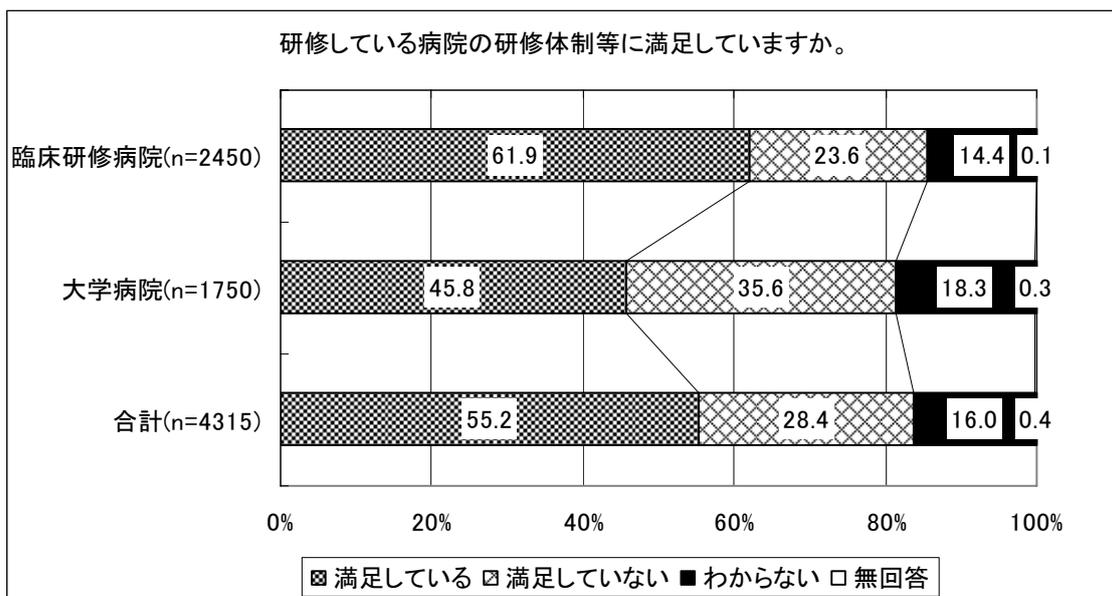


(2) 臨床研修病院・大学病院別分析（研修体制・プログラムについての満足度）

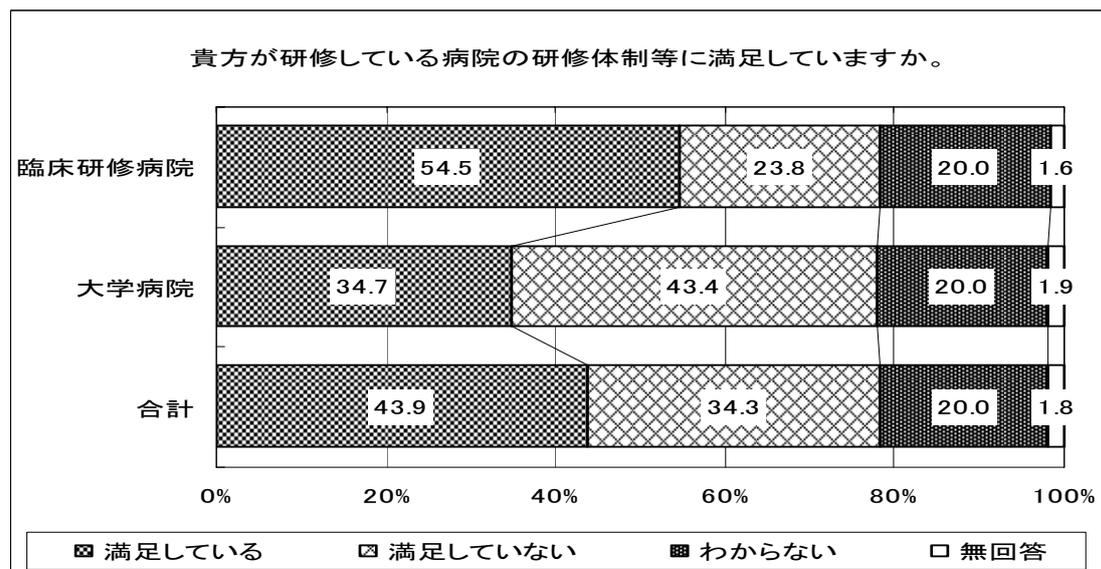
1) 研修体制についての満足度

病院の研修体制について満足している者の割合は、臨床研修病院において61.9%、大学病院において45.8%であり、満足していない者の割合は臨床研修病院において23.6%、大学病院において35.1%であった。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院よりも大学病院において、満足している者が増加している。



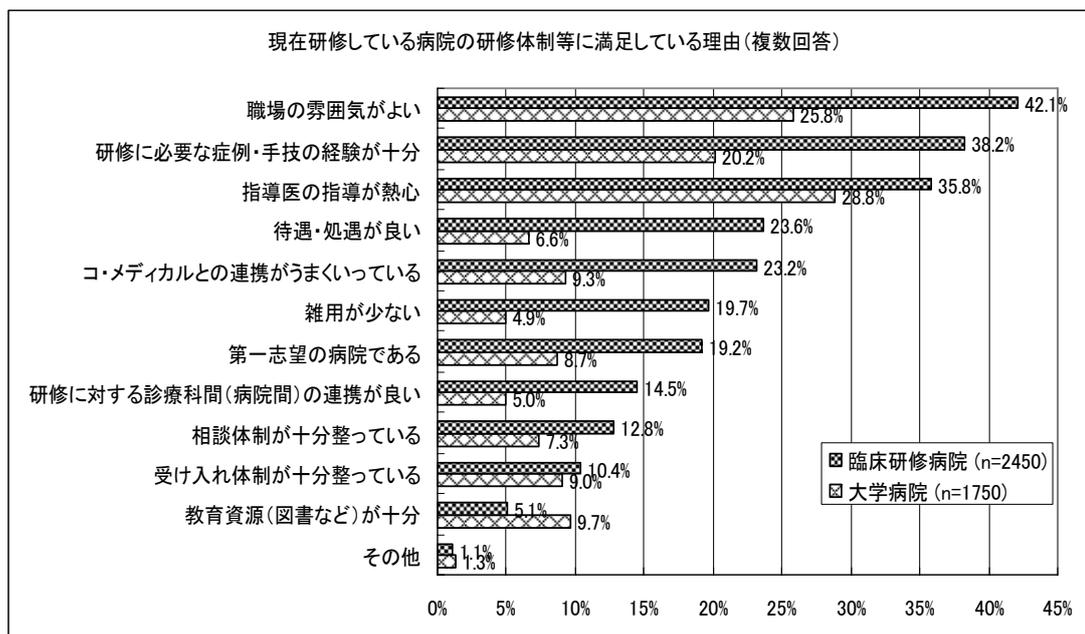
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



2) 研修体制に満足している理由

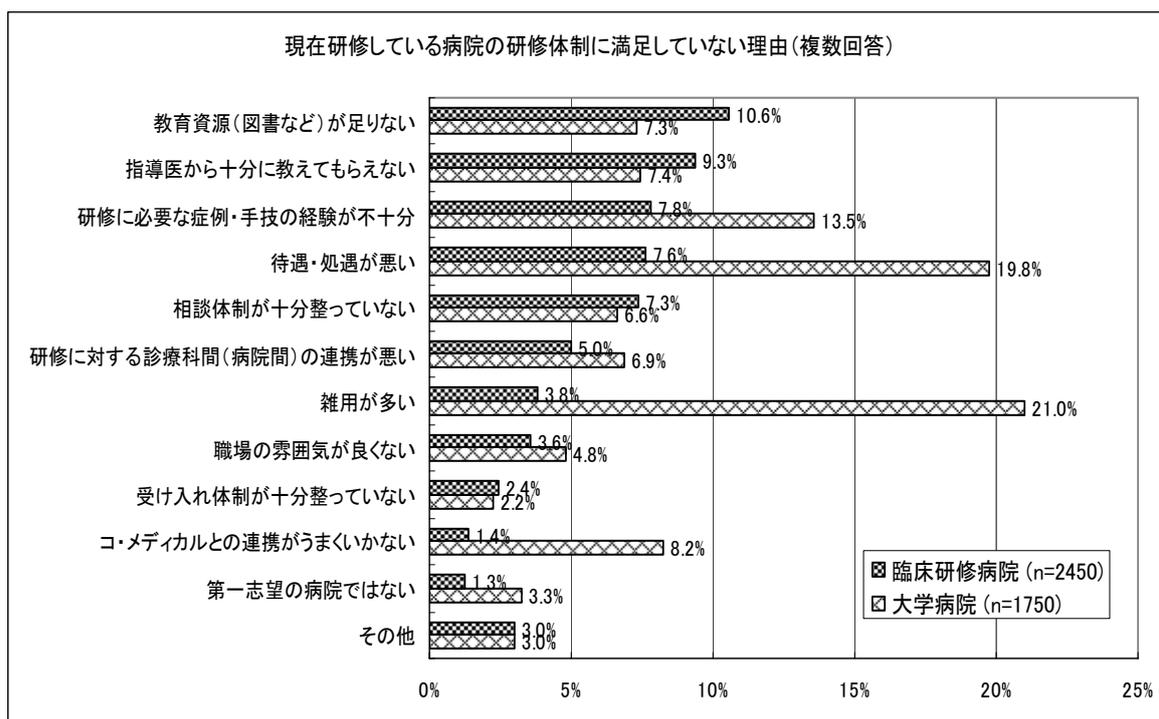
研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気がよい」(42.1%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(38.2%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(28.8%)等が多い。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)

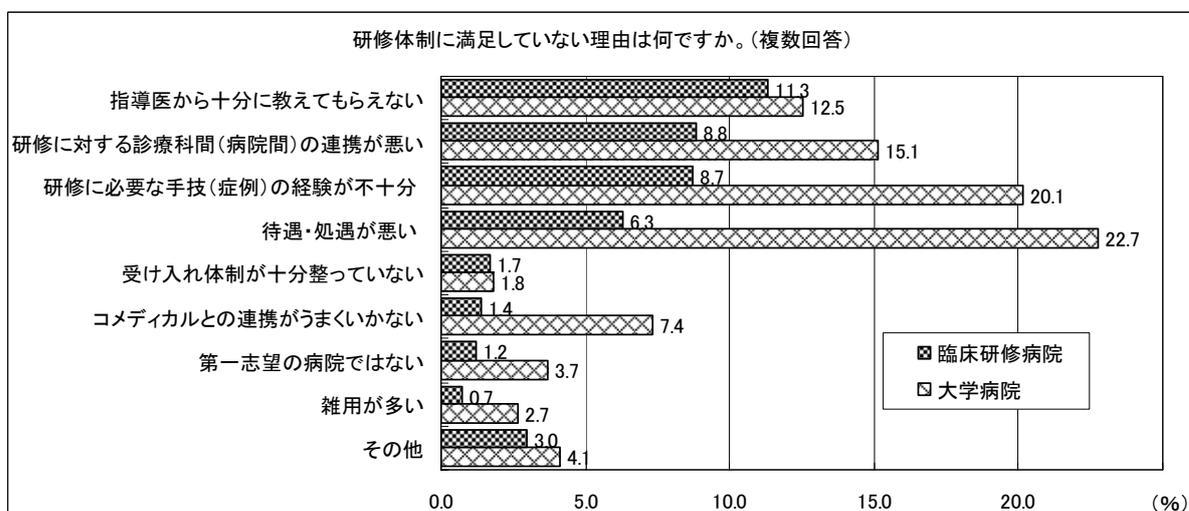


### 3) 研修体制に満足していない理由

研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「教育資源（図書等）が足りない」（10.6%）、大学病院においては「雑用が多い」（21.0%）、「待遇・処遇が悪い」（19.8%）等が多い。  
 （なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。）

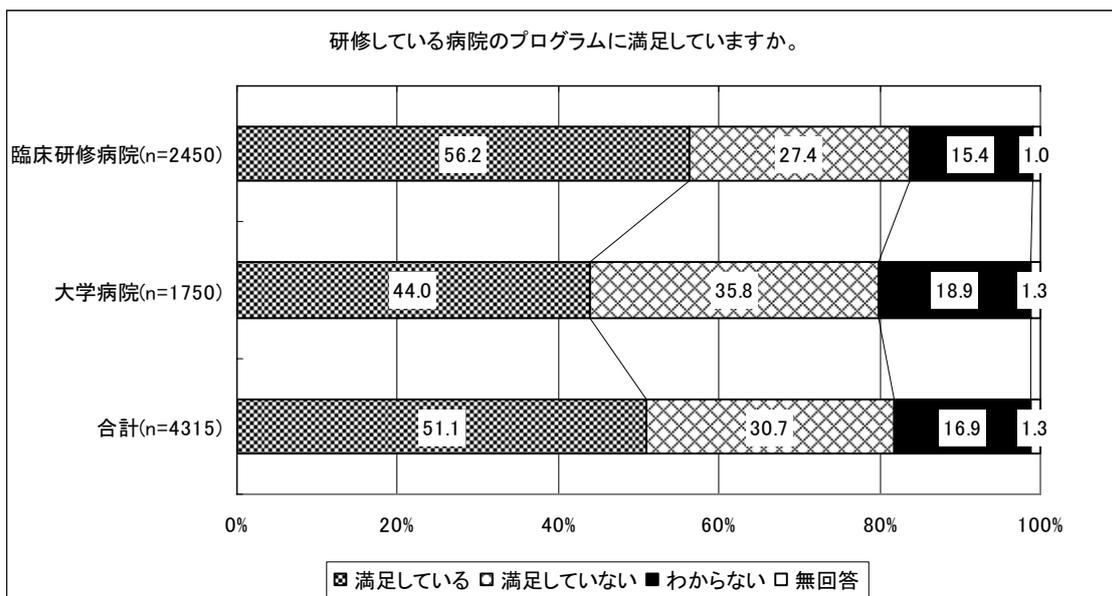


### <参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」

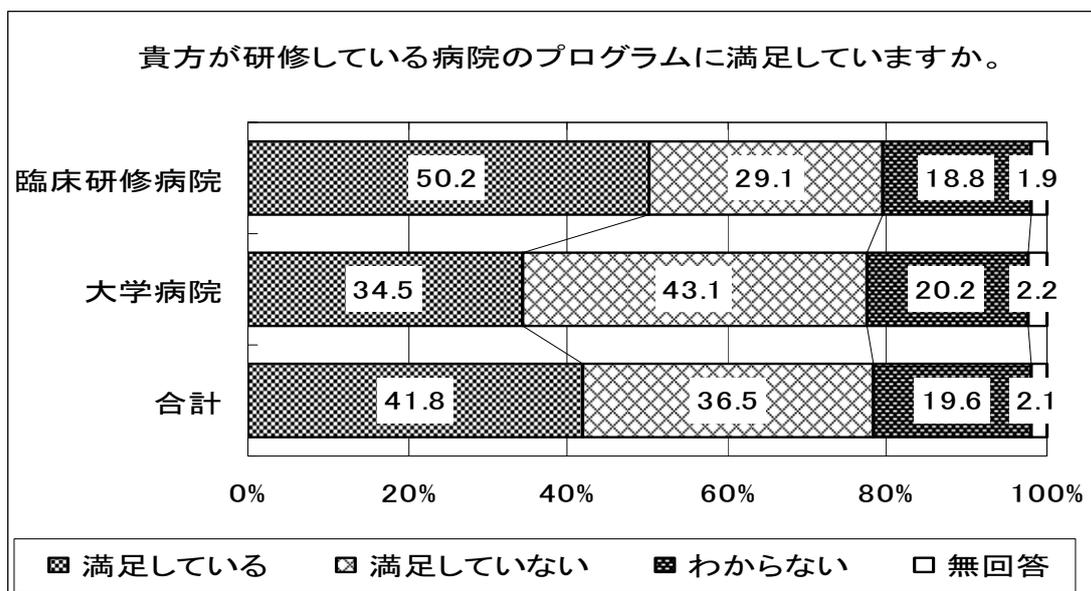


#### 4) 研修プログラムへの満足度

病院の研修プログラムについて満足している者の割合は、臨床研修病院において56.2%、大学病院において44.0%であり、満足していない者の割合は、臨床研修病院において27.4%、大学病院において35.8%であった。



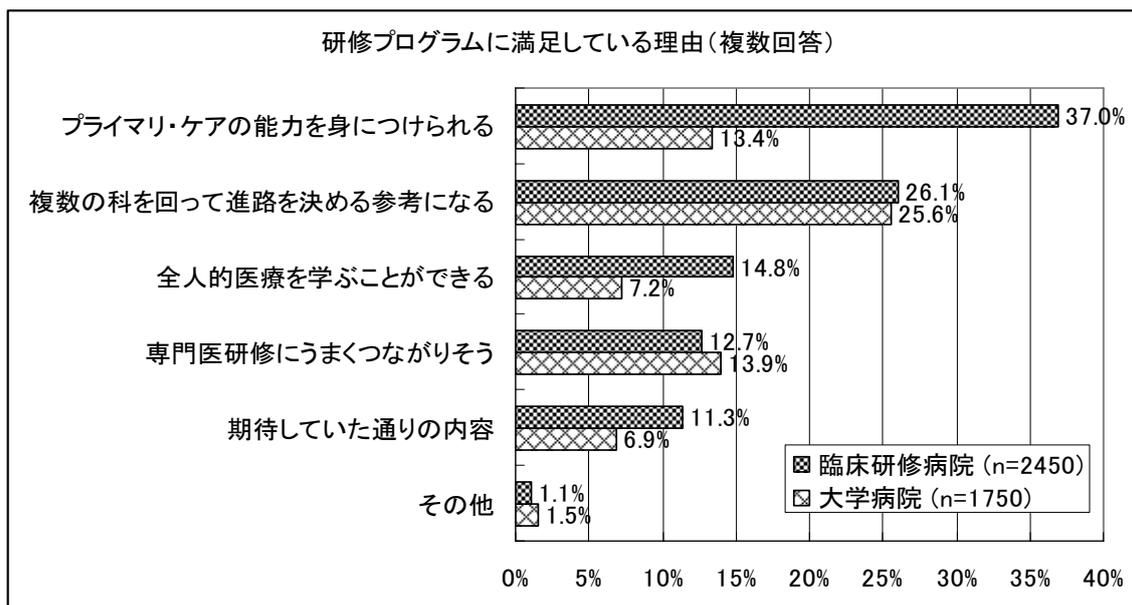
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



5) 満足している理由

研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.0%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(26.1%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.6%)等が多い。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)

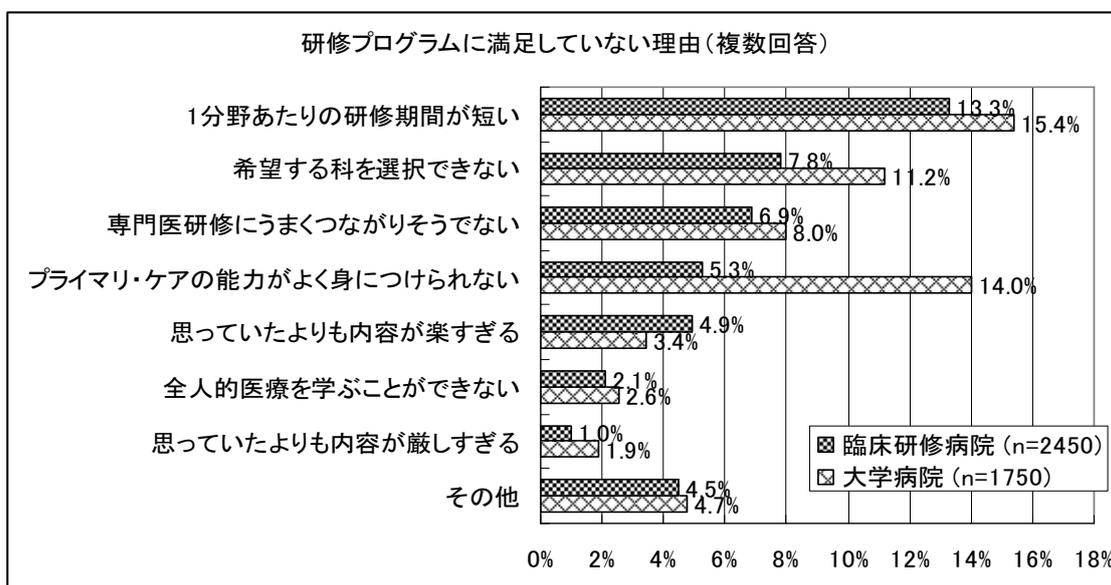


6) 満足していない理由

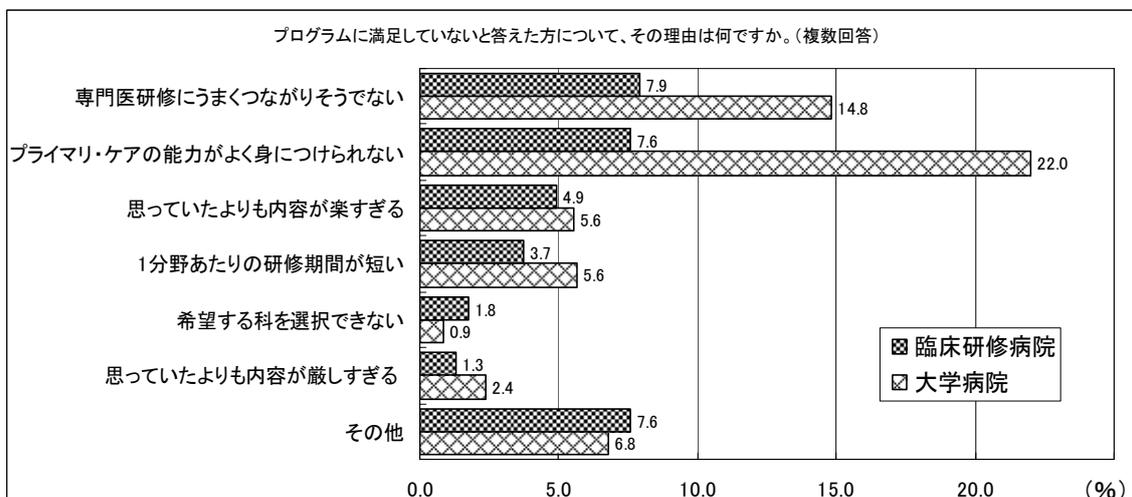
研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(13.3%)、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(15.4%)、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」(14.0%)等が多い。

また、昨年度(1年次研修医)と比較すると、「1分野あたりの研修期間が短い」が増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



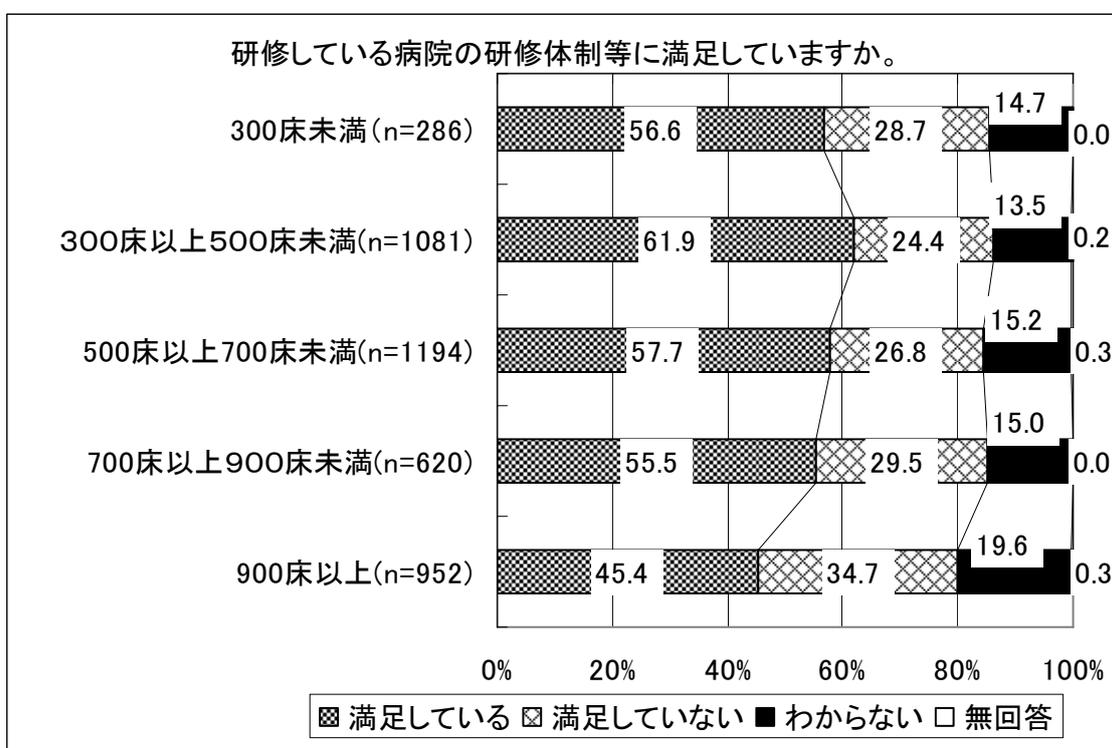
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



(3) 病床規模別分析（研修体制・プログラムについての満足度）

1) 研修体制についての満足度

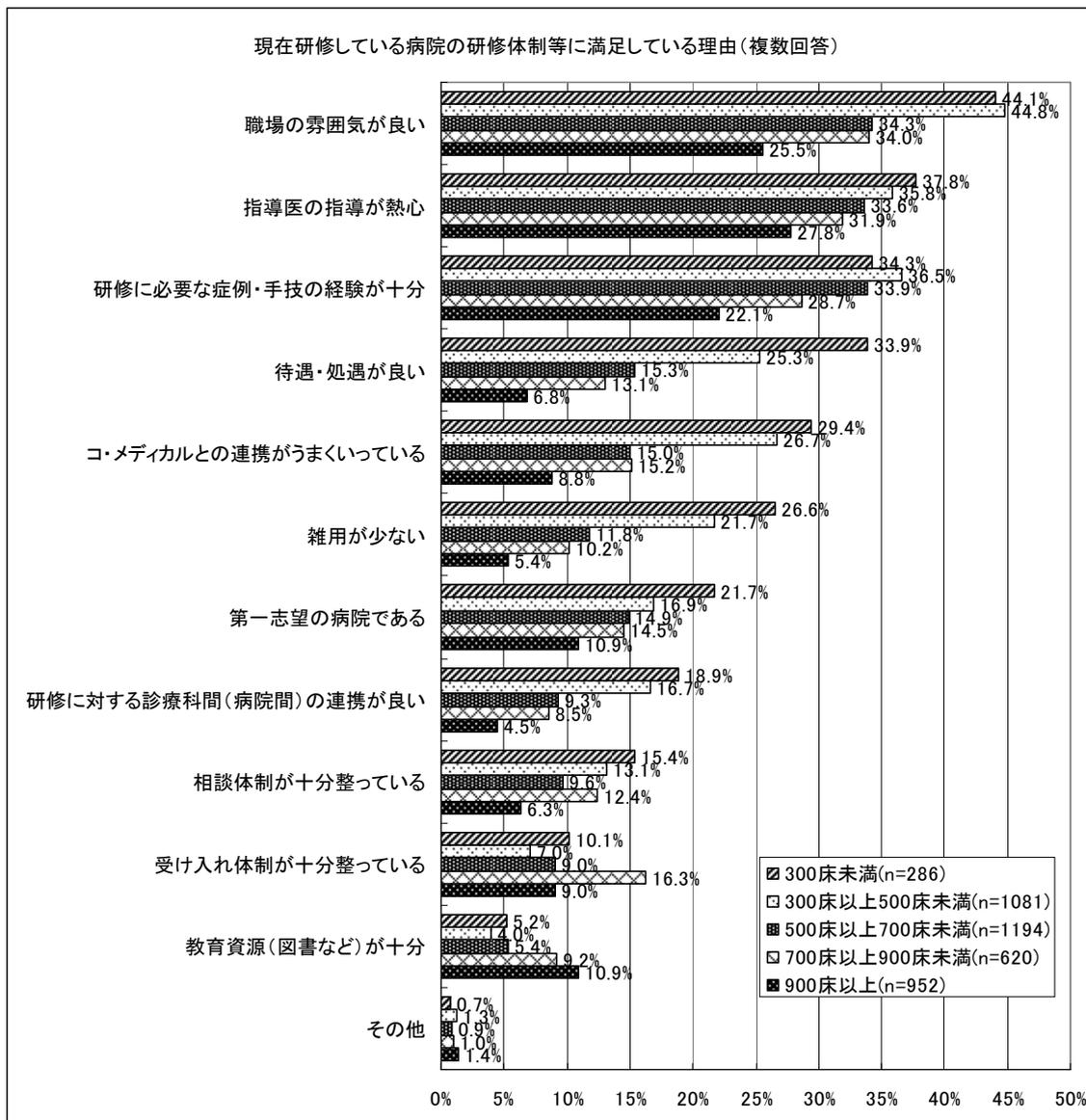
病院の研修体制について満足している者の割合は、300床未満の病院において56.6%、300床以上500床未満の病院において61.9%、500床以上700床未満の病院において57.7%、700床以上900床未満の病院において55.5%、900床未満の病院において45.4%であり、満足していない者の割合は、300床未満の病院において28.7%、300床以上500床未満の病院において24.4%、500床以上700床未満の病院において26.8%、700床以上900床未満の病院において29.5%、900床以上の病院において34.7%であった。



2) 研修体制について満足している理由

満足している理由としては、病床規模の小さい病院においては、「職場の雰囲気がよい」「指導医の指導が熱心」等が多く、病床数の多い病院においては、「教育資源（図書など）が十分」が病床規模の小さい病院よりも多かった。

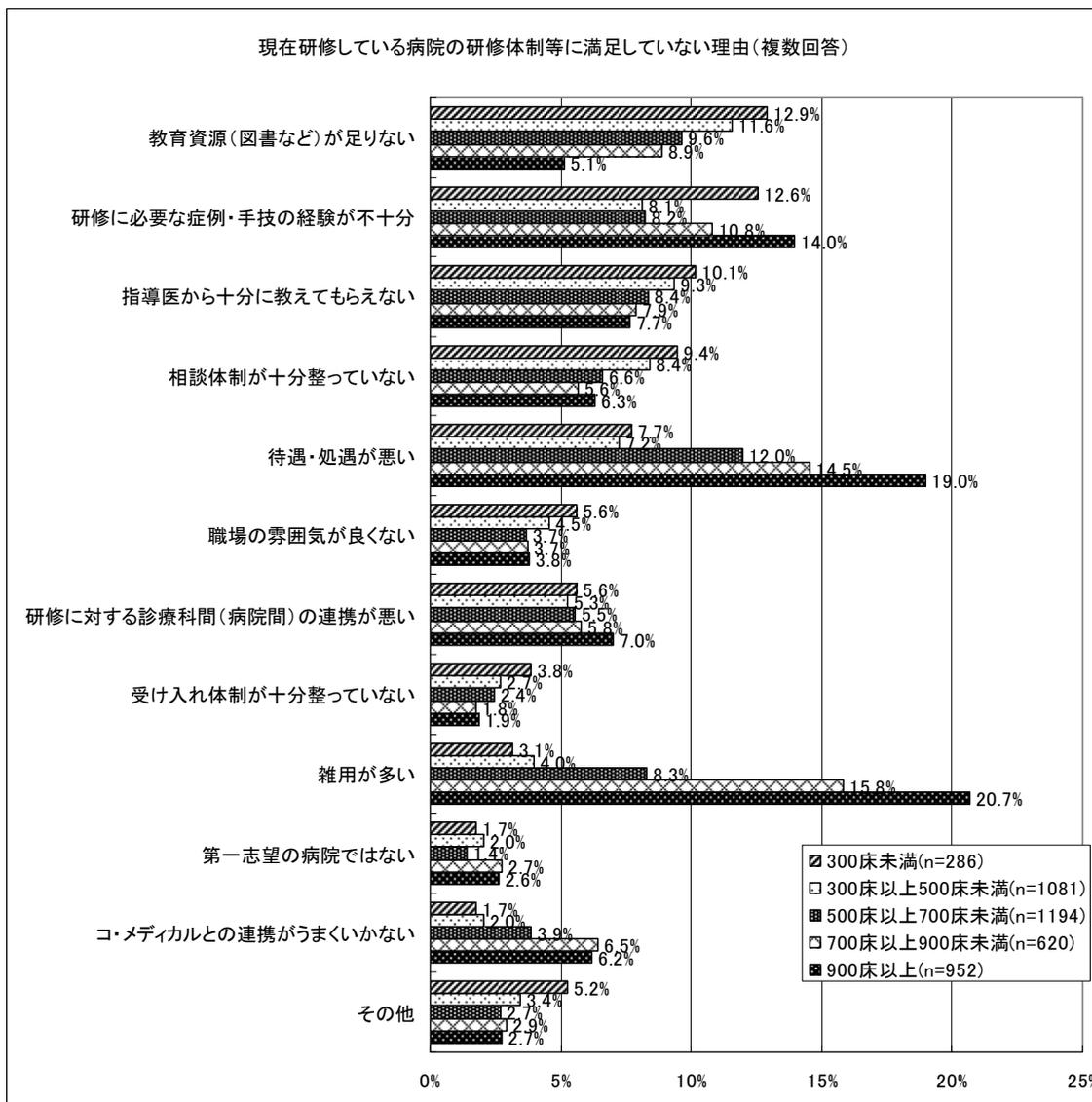
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



3) 研修体制について満足していない理由

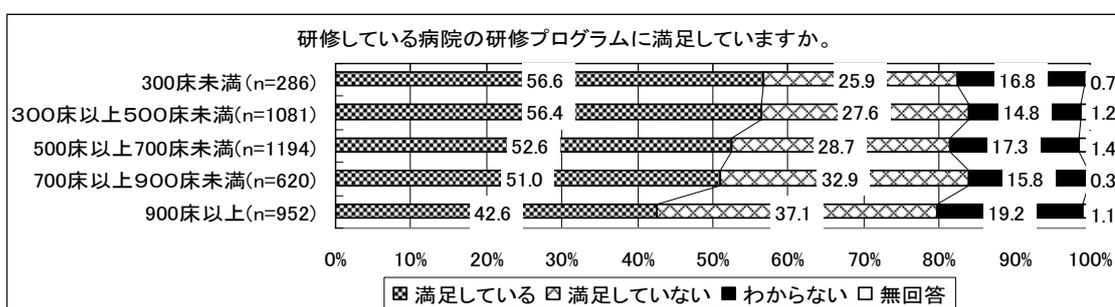
満足していない理由としては、500床未満の病院においては「教育資源(図書など)が足りない」等が多く、500床以上の病院においては「雑用が多い」、「待遇・処遇が悪い」等が多かった。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



#### 4) 研修プログラムについての満足度

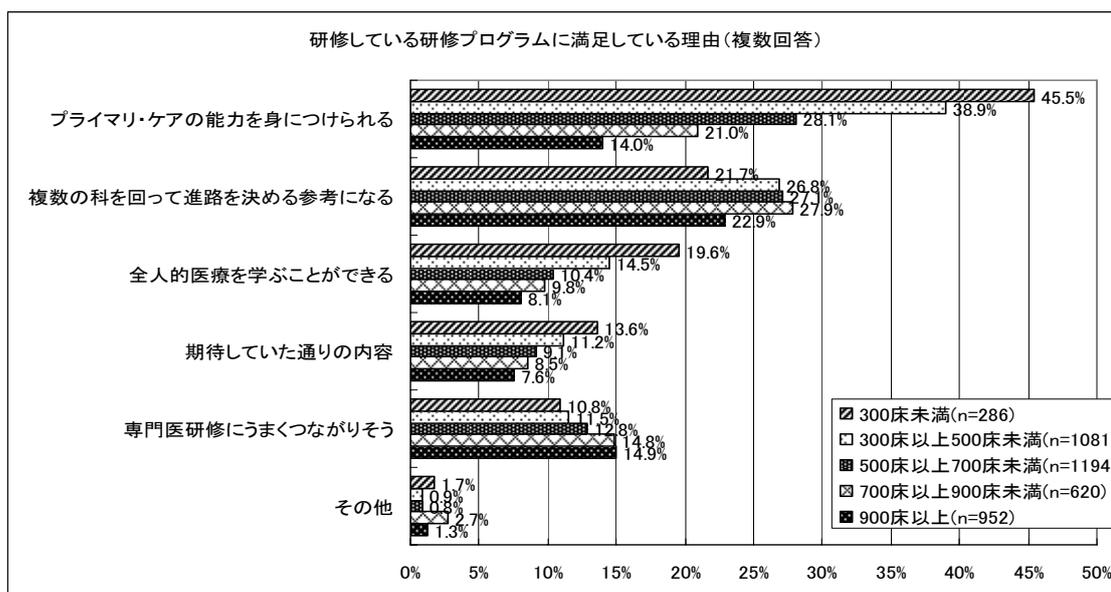
病院の研修プログラムについて満足している者の割合は、300床未満の病院において56.6%、300床以上500床未満の病院において56.4%、500床以上700床未満の病院において52.6%、700床以上900床未満の病院において51.0%、900床未満の病院において42.6%であり、満足していない者の割合は300床未満の病院において25.9%、300床以上500床未満の病院において27.6%、500床以上700床未満の病院において28.7%、700床以上900床未満の病院において32.9%、900床未満の病院においては37.1%であった。



#### ② 研修プログラムに満足している理由

満足している理由としては、病床規模の小さい病院においては、「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」が多い。

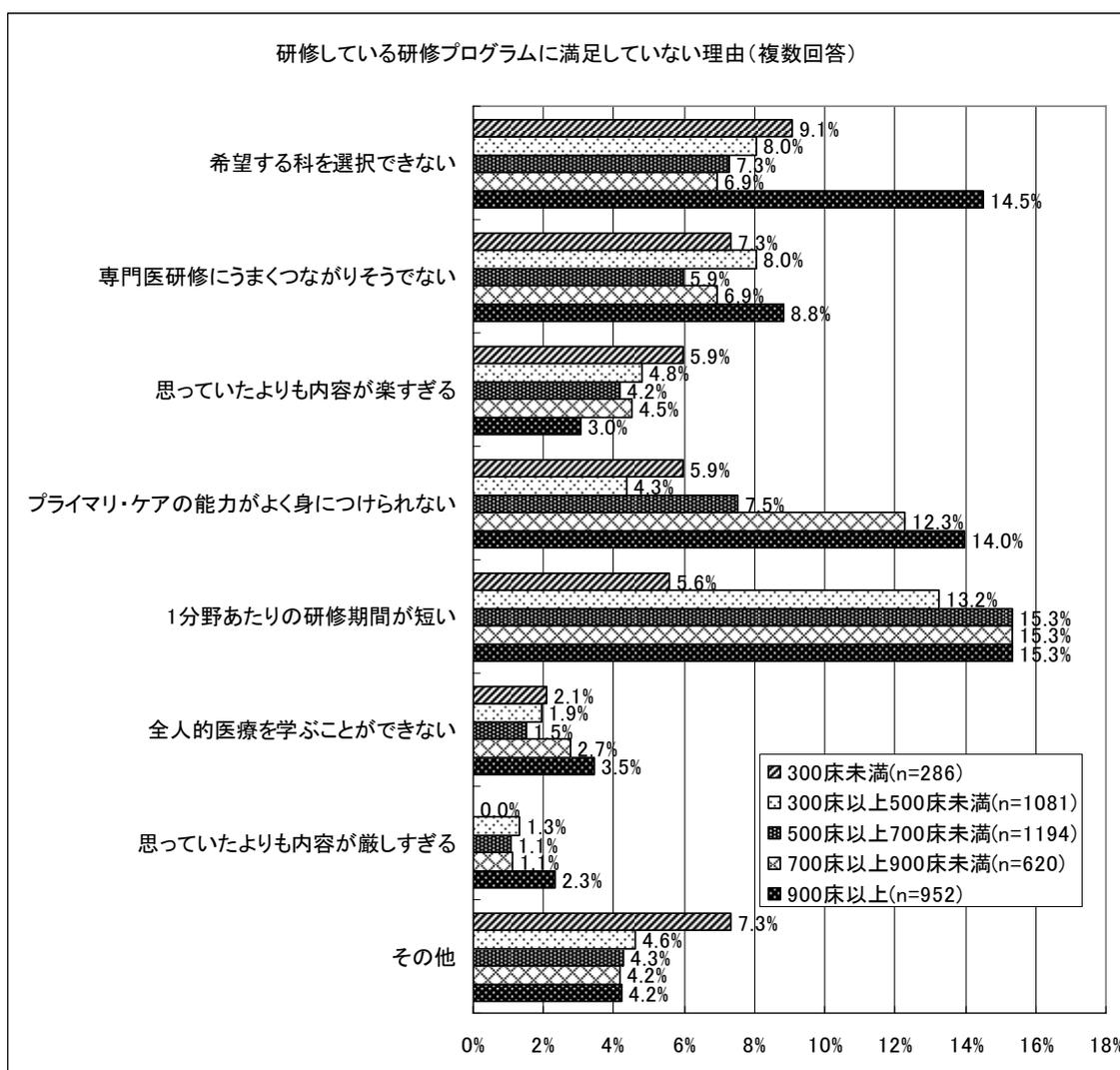
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



③研修プログラムに満足していない理由

満足していない理由としては、300床以上の病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」が、700床以上の病院においては、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」が多かった。

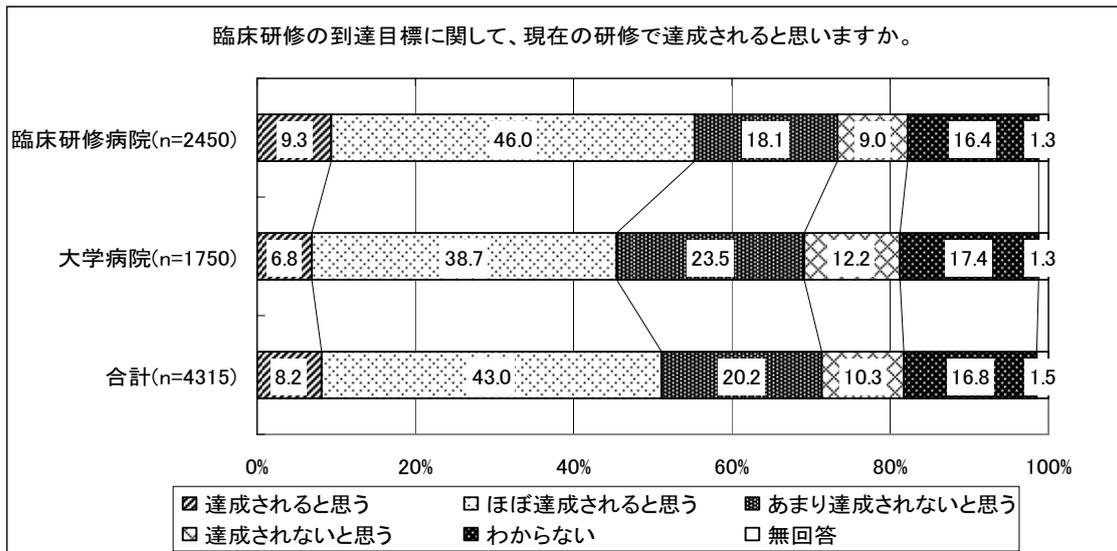
(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



(4) 臨床研修の目標達成度

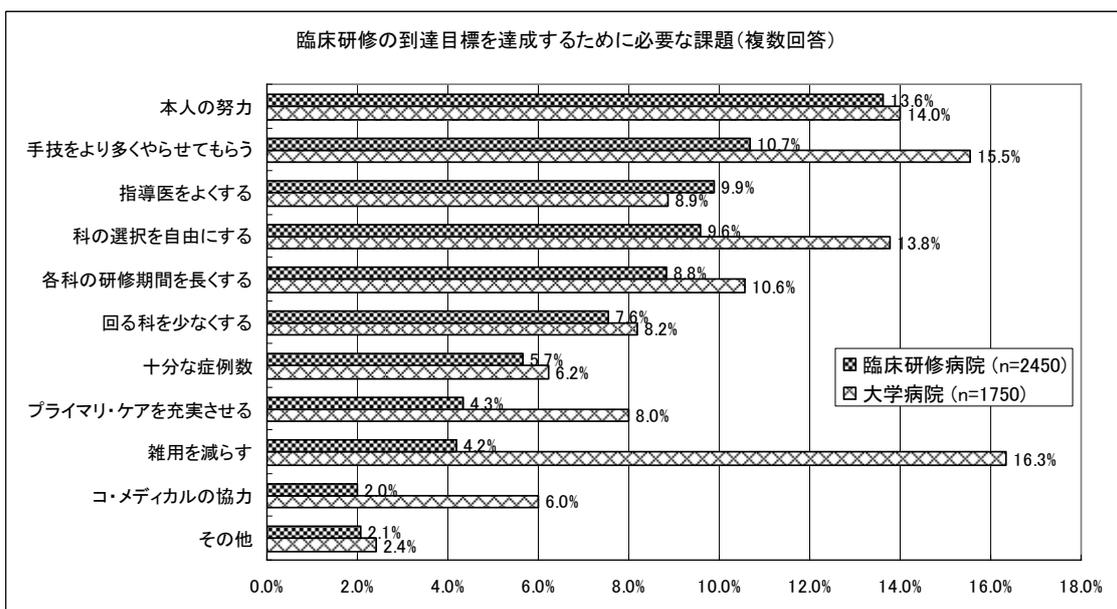
1) 達成度

目標が十分、もしくはほぼ達成されると思うとした者の割合は、臨床研修病院において55.3%、大学病院において45.8%であり、目標があまり達成されないと思う、もしくは達成されないと思うとした者の割合は、臨床研修病院において27.1%、大学病院において35.7%であった。



2) 達成するために必要な課題

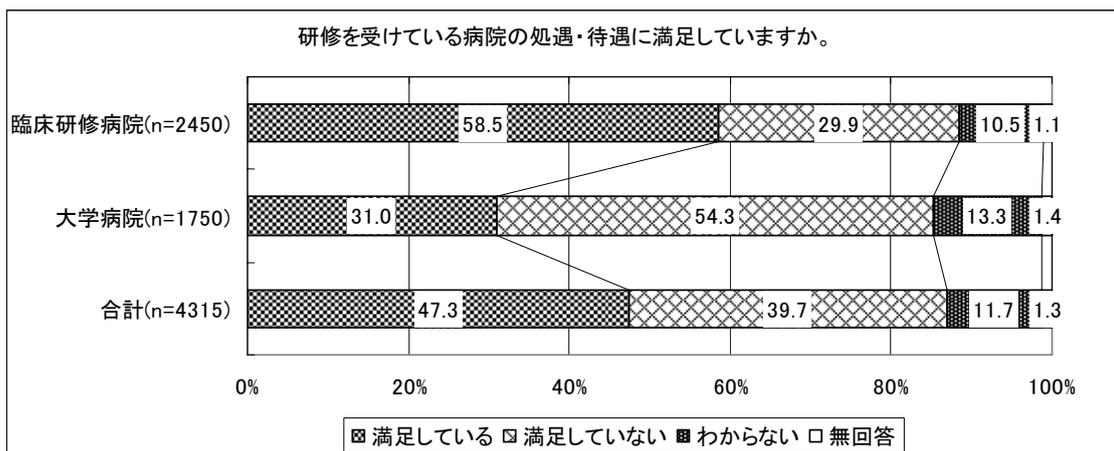
目標を達成するために必要な課題として、臨床研修病院においては「本人の努力」(13.6%)、大学病院においては「雑用を減らす」(16.3%)、「手技をやらせてもらう」(15.5%)が多い。



(5) 処遇・待遇について

1) 処遇・待遇についての満足度

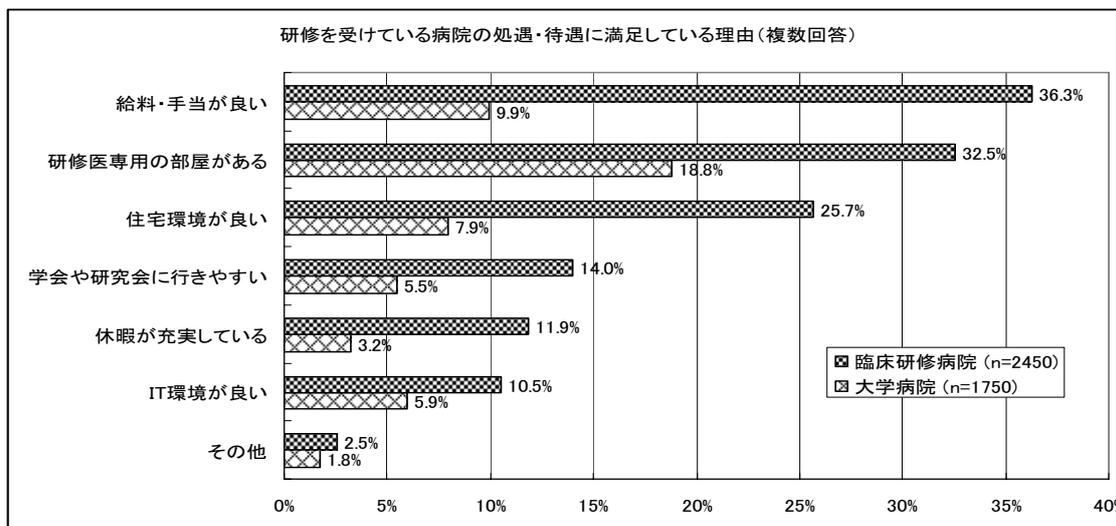
研修を受けている病院の処遇・待遇に満足しているとした者の割合は、臨床研修病院において58.5%、大学病院において31.0%であり、満足していないとした者は臨床研修病院において29.9%、大学病院において54.3%であった。



2) 処遇・待遇についての満足した理由

満足している理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が良い」(36.3%)、「研修医専用の部屋がある」(32.5%)、大学病院においては「研修医専用の部屋がある」(18.8%)が多い。

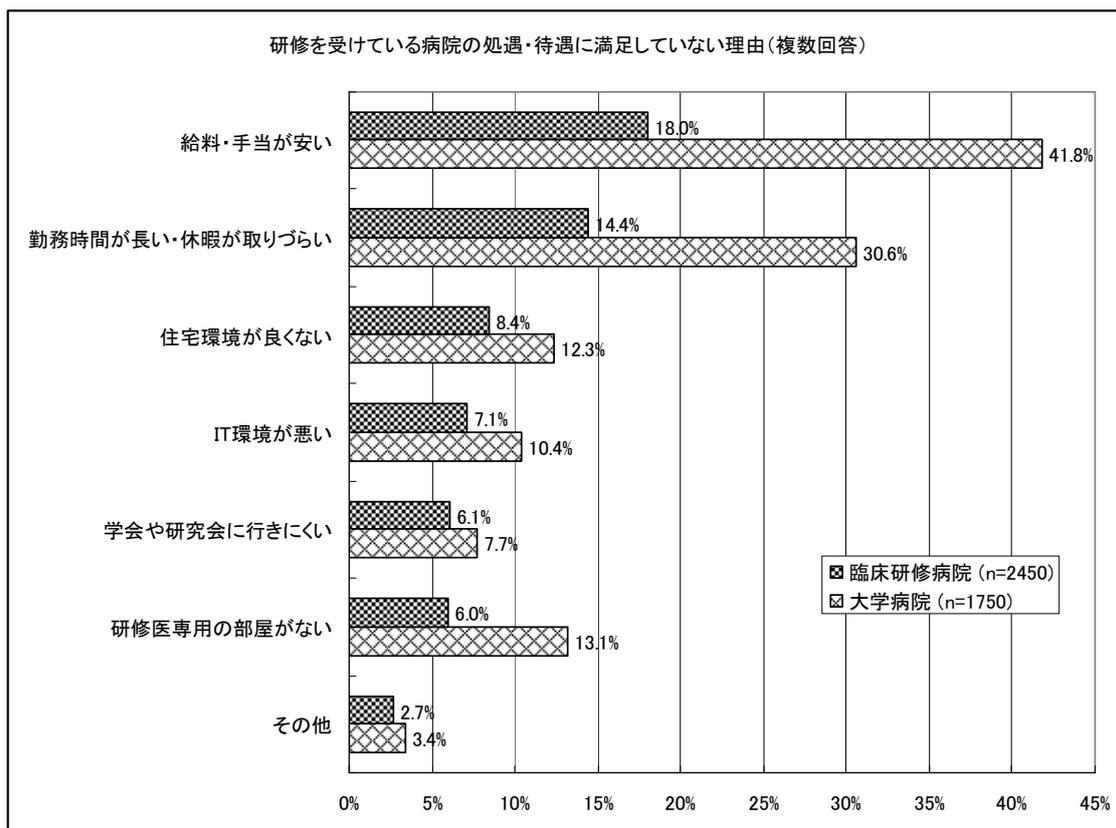
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



3) 処遇・待遇についての不満足の原因

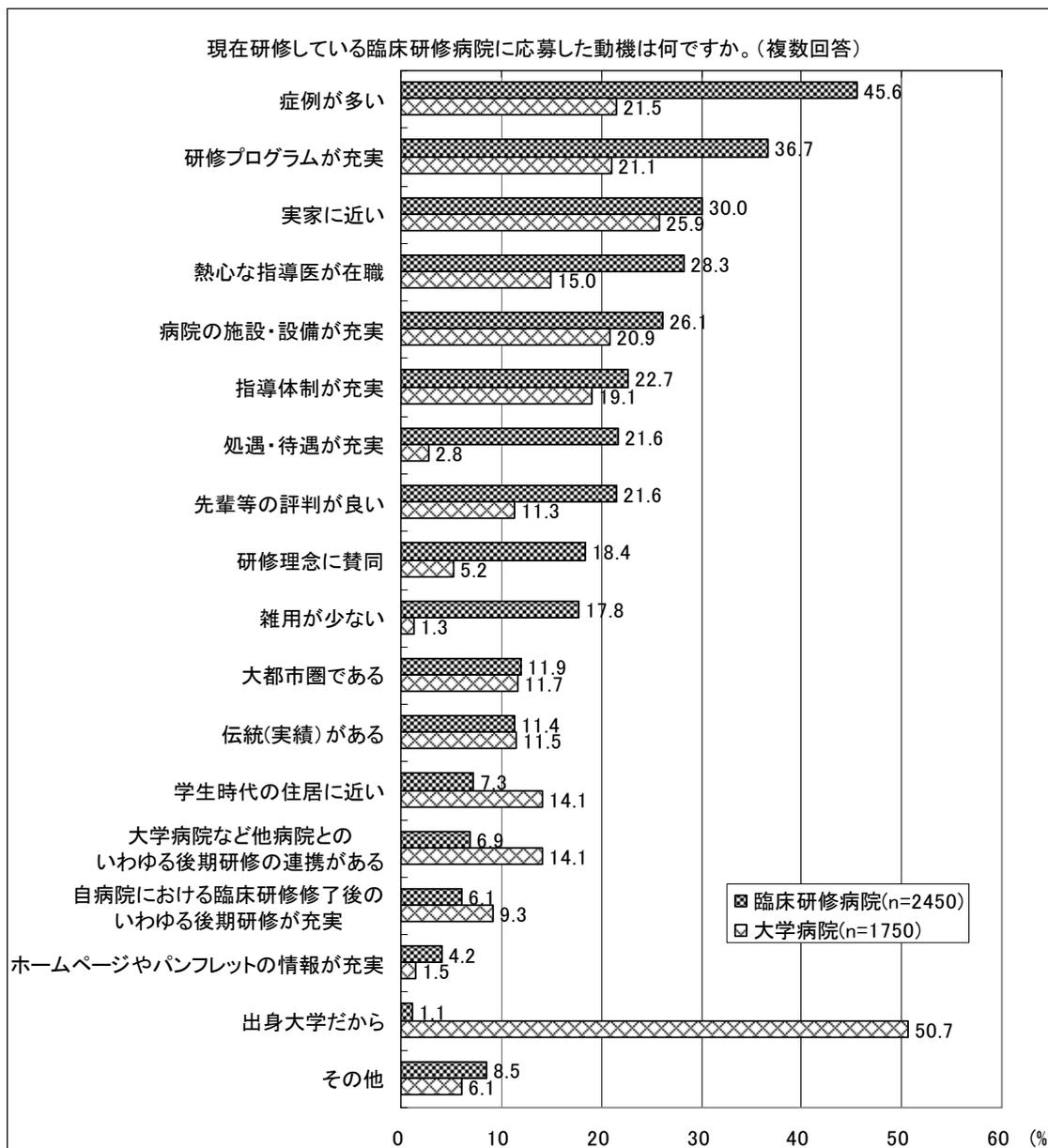
満足していない理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が安い」(18.0%)、大学病院においては「給料・手当が安い」(41.8%)、「勤務時間が長い・休暇が取りづらい」(30.6%)が多い。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



(6) 現在研修している病院に応募した動機

現在研修している臨床研修病院に応募した動機としては、臨床病院では「症例が多い」(45.6%)、「研修プログラムが充実」(36.7%)、大学病院では「出身大学だから」(50.7%)が多い。



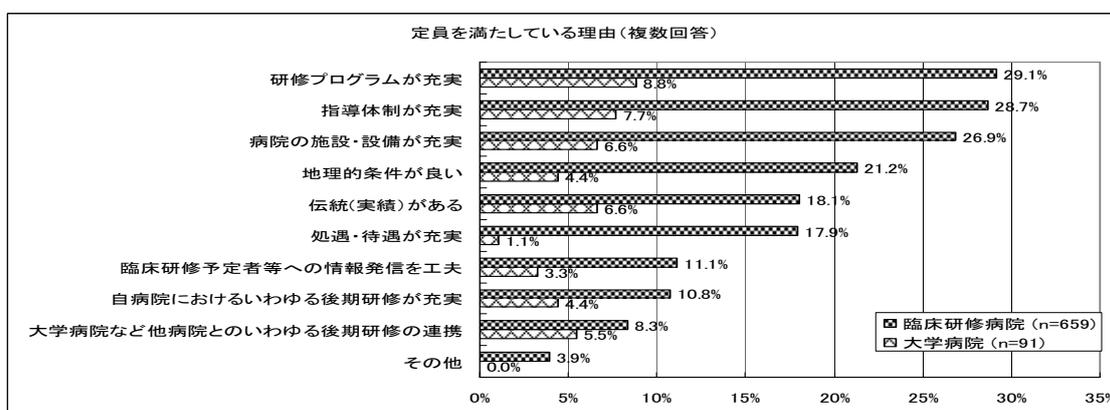
### 3. 病院に関する調査

#### (1) 有効回答率

対象病院数 849施設（臨床研修病院745施設、大学病院104施設）  
 回答病院数 755施設（臨床研修病院659施設、大学病院 91施設）  
 有効回答率 88.9%（臨床研修病院88.5%、大学病院87.5%）

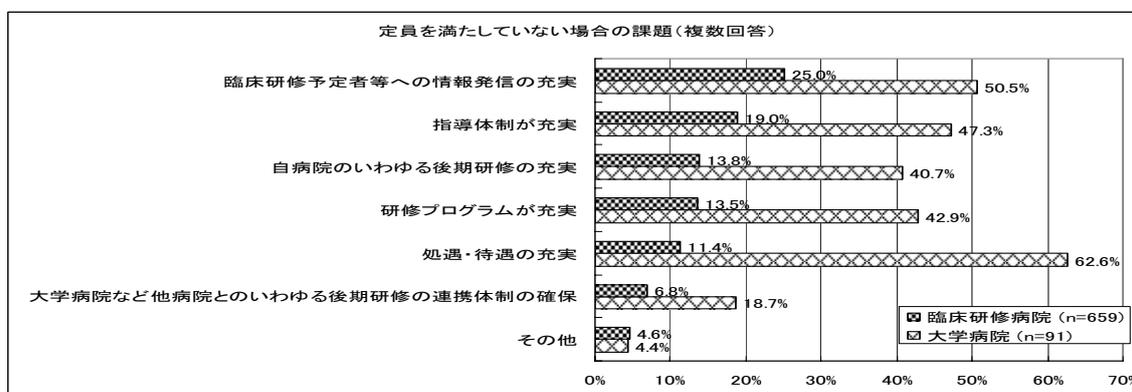
#### (2) 定員を満たしている理由

募集定員を満たしている理由として、臨床研修病院においては「研修プログラムが充実」（29.1%）、「指導体制が充実」（28.7%）、「病院の施設・設備が充実」（26.9%）が、大学病院においては「研修プログラムが充実」（8.8%）等が多く挙げられた。



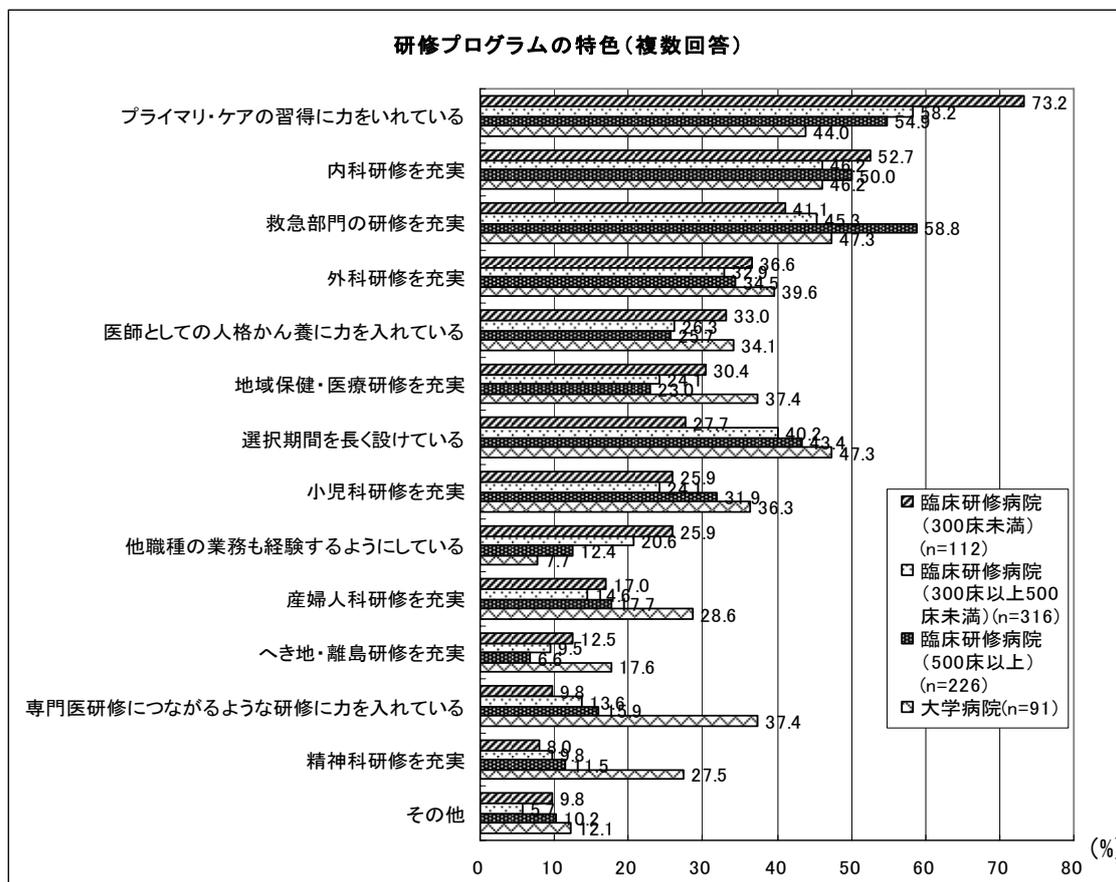
#### (3) 定員を満たしていない場合の課題

研修医が募集定員を満たしていない場合の課題として、臨床研修病院においては「臨床研修予定者等への情報発信の充実」（25.0%）、「指導体制が充実」（19.0%）等が、大学病院においては「処遇・待遇の充実」（62.6%）、「臨床研修予定者等への情報発信の充実」（50.5%）等が多く挙げられた。



(4) 研修プログラムの特色

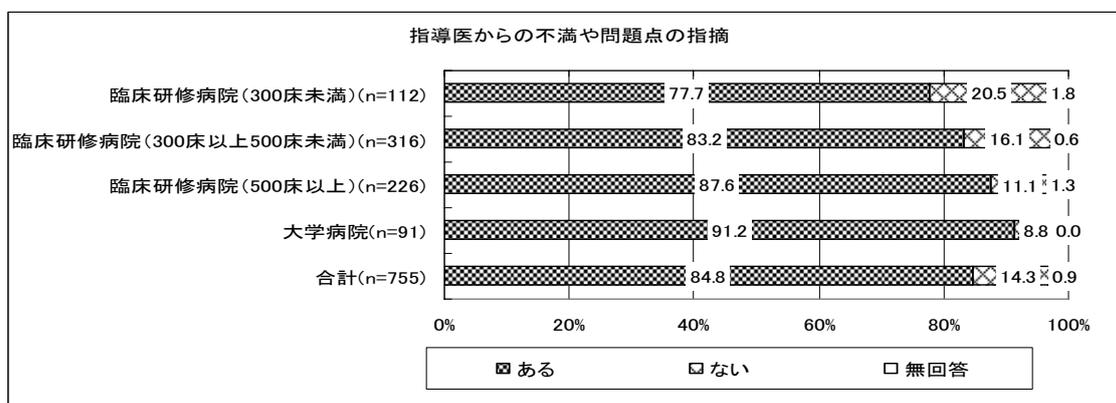
研修プログラムの特色として挙げられたのは、臨床研修病院では「プライマリ・ケアの習得に力をいれている」「内科研修を充実」等が、大学病院では「救急部門の研修を充実」「選択期間を長く設けている」等が挙げられている。



(5) 研修体制について

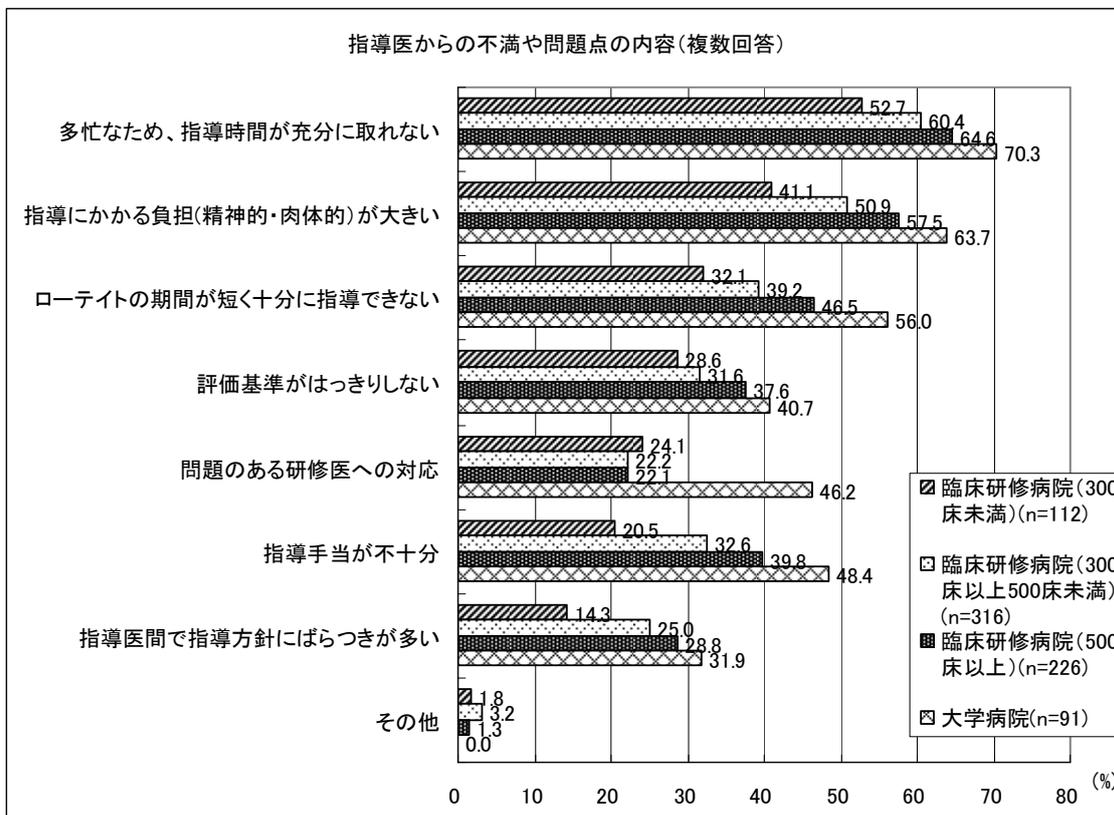
1) 指導医からの不満や問題点の指摘の有無

大学病院は臨床研修病院よりも多く、臨床研修病院では病床規模の大きい病院ほど多い。



## 2) 指導医からの指摘の内容

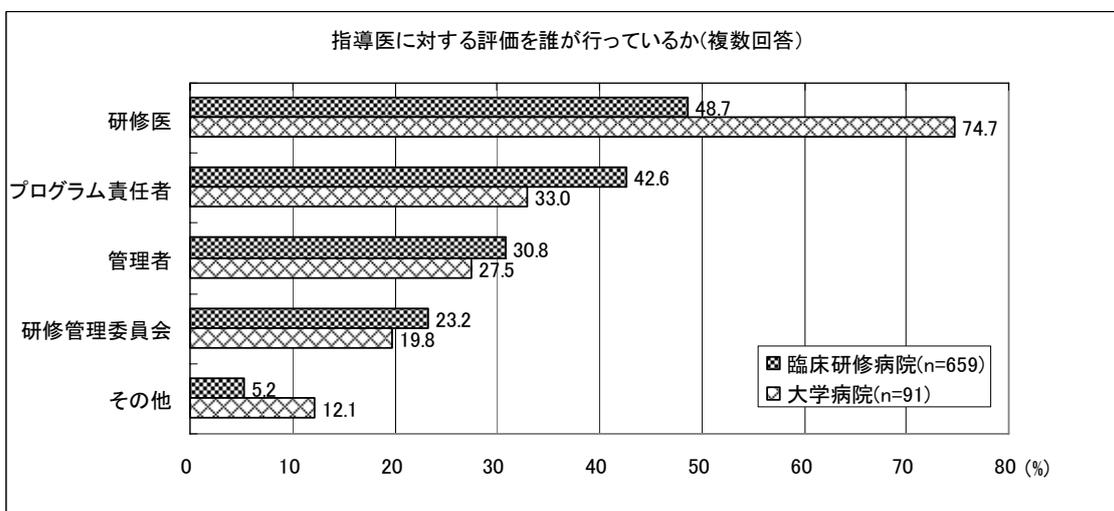
指導医からの不満や問題点として挙げられたのは、「多忙なため、指導に十分な時間がとれない」「指導にかかる負担（精神的・肉体的）が大きい」等が多い。



## 3) 指導医に対する評価方法について

### ①指導医に対する評価を誰が行っているか

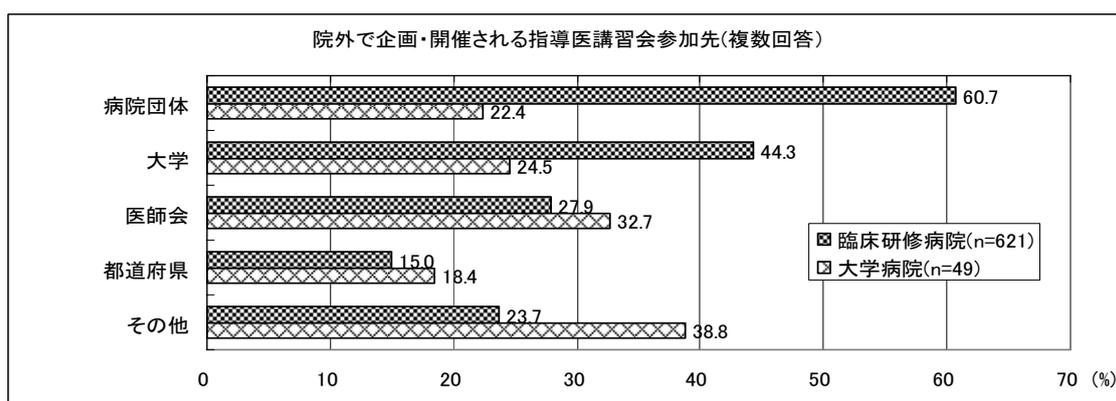
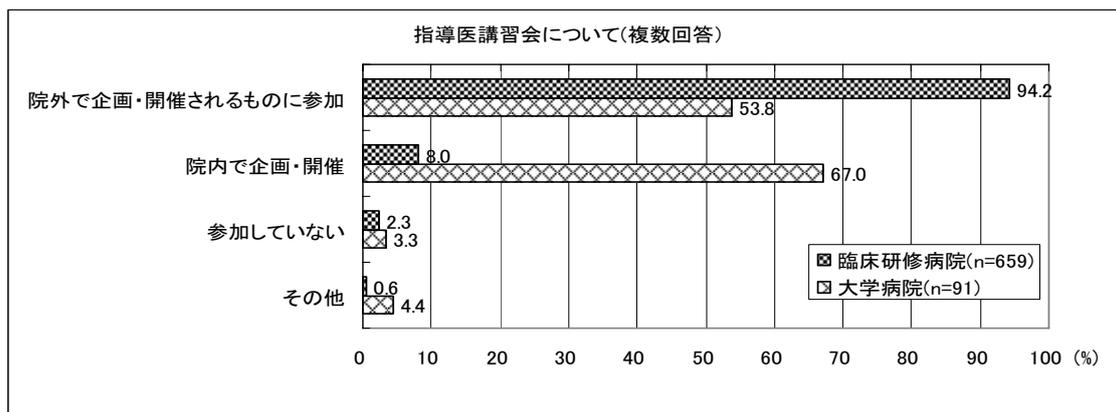
指導医に対する評価を研修医、プログラム責任者が行っている場合が多い。



②指導医講習会参加先

指導医講習会への参加については、臨床研修病院においては、「院外で企画・開催されるものに参加」することが多く、大学病院では「院内で企画・開催」されるものに参加することが多い。

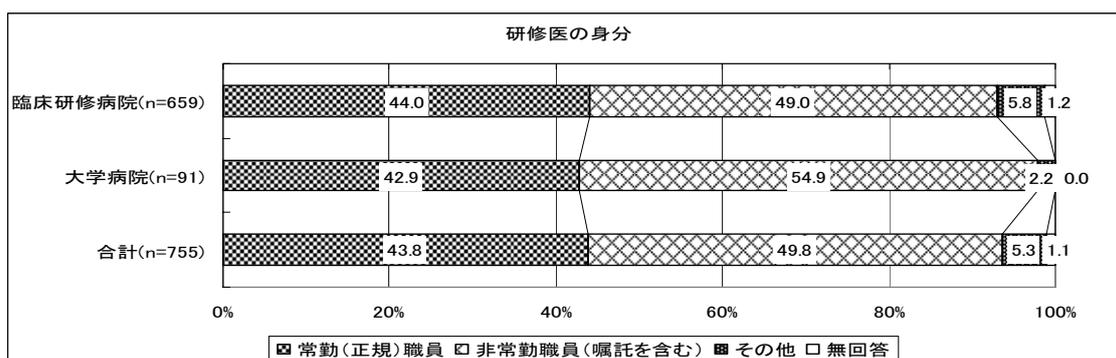
院外で企画・開催されるものに参加すると回答した病院が参加する「院外で企画・開催される指導医講習会」は、臨床研修病院では病院団体が、大学病院では医師会が多い。



(6) 研修医の処遇・待遇について

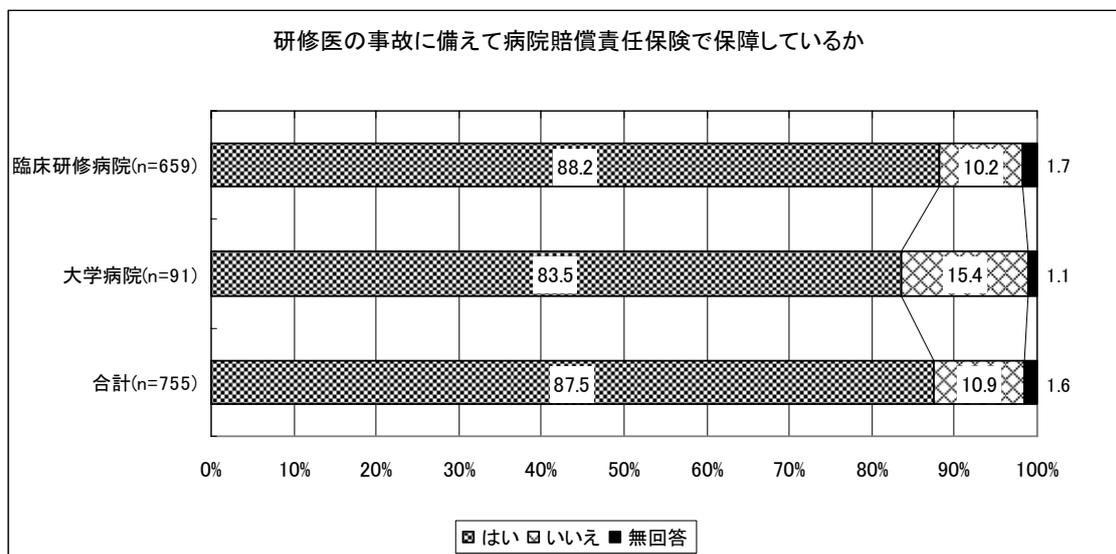
1) 研修医の身分

研修医の身分を常勤とするのは、臨床研修病院で44.0%、大学病院で42.9%で、非常勤とするのは、臨床研修病院で49.0%、大学病院で54.9%であった。



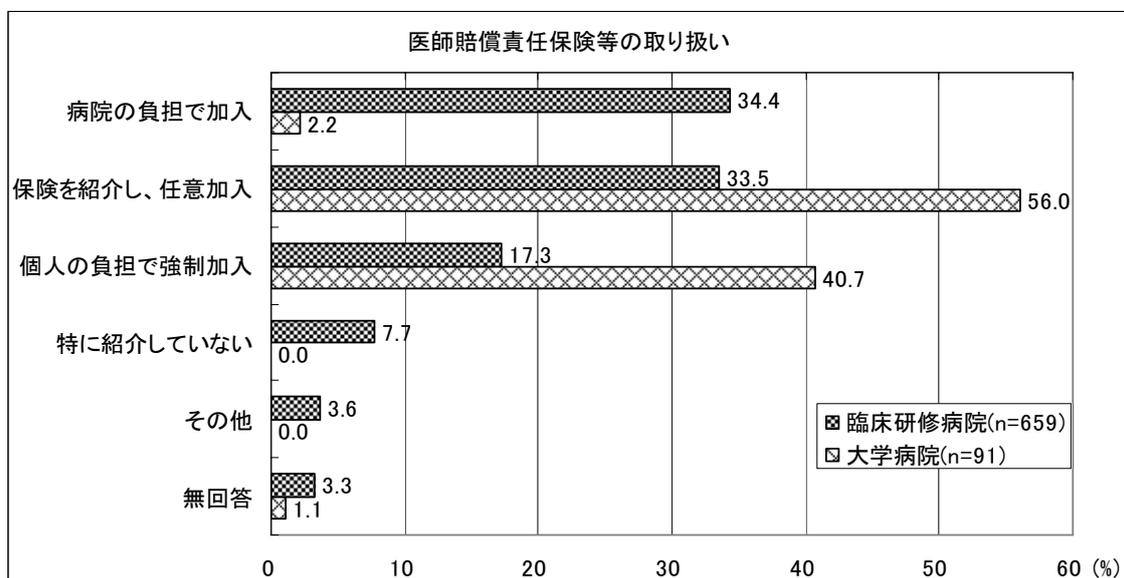
## 2) 事故に備えての病院賠償責任保険での保障

臨床研修病院で88.2%、大学病院で83.5%が保障されていた。



## 3) 事故に備えての医師賠償責任保険等の取り扱い

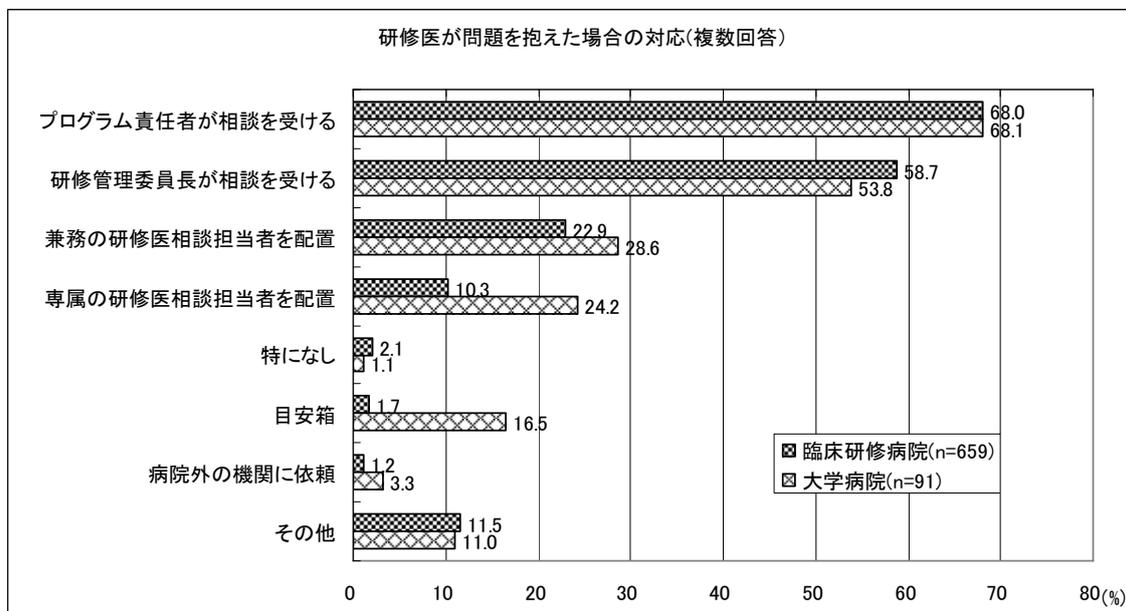
臨床研修病院では「病院の負担で加入」(34.4%)「保険を紹介し任意加入」(33.5%)が多く、大学病院では「保険を紹介し任意加入」(56.0%)「個人の負担で強制加入」(40.7%)が多い。



(7) 研修医への対応について

1) 研修医が問題を抱えた場合の対応

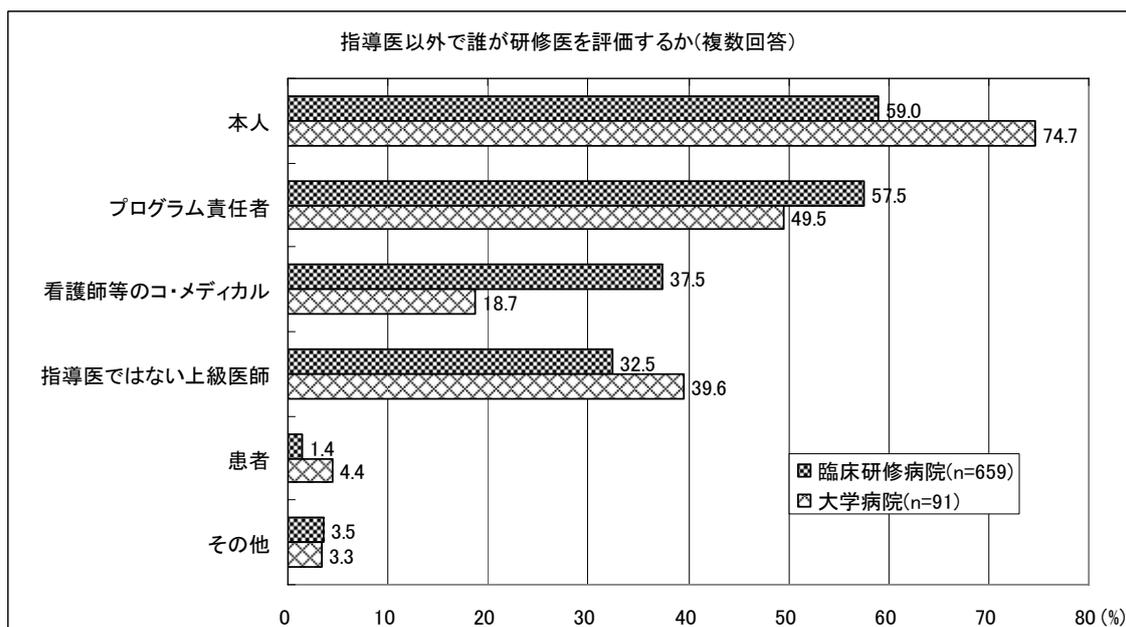
プログラム責任者や研修管理委員長が相談を受ける場合が、臨床研修病院、大学病院ともに多い。



2) 研修医の評価方法について

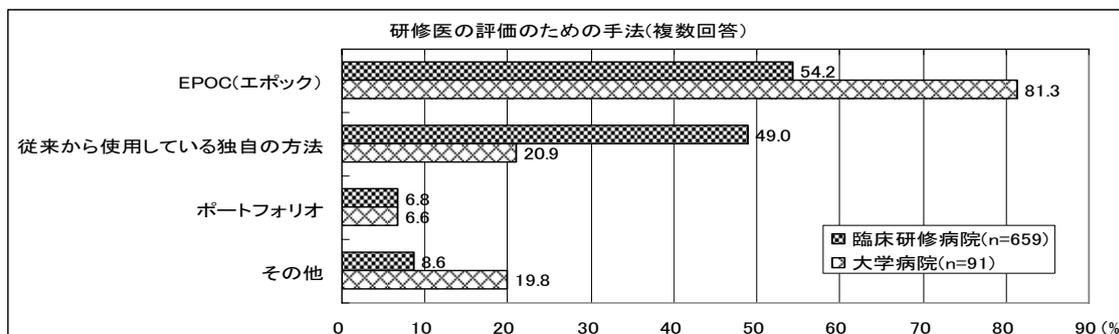
①指導医以外で研修医の評価を行っている者

臨床研修病院、大学病院ともに、「本人」、「プログラム責任者」が多い。



## ②研修医の評価の手法

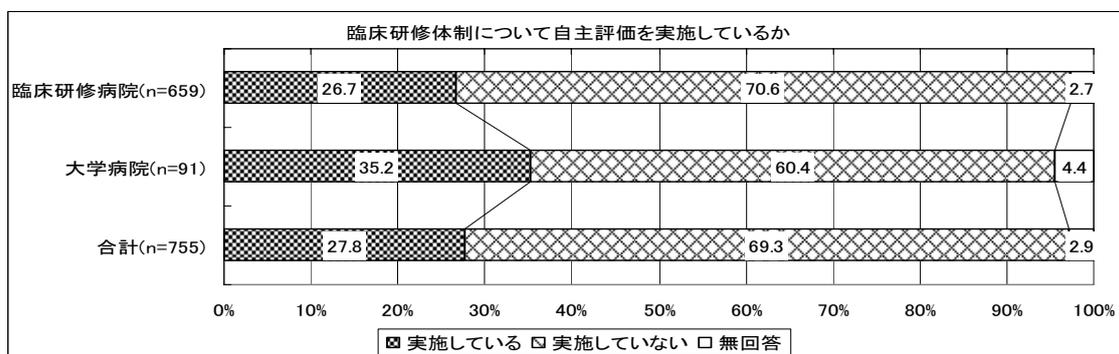
臨床研修病院では「EPOC（エポック）」（54.2%）、「従来から使用している独自の手法」（49.0%）が多く、大学病院では「EPOC（エポック）」（81.3%）であった。



## (8) 臨床研修における評価について

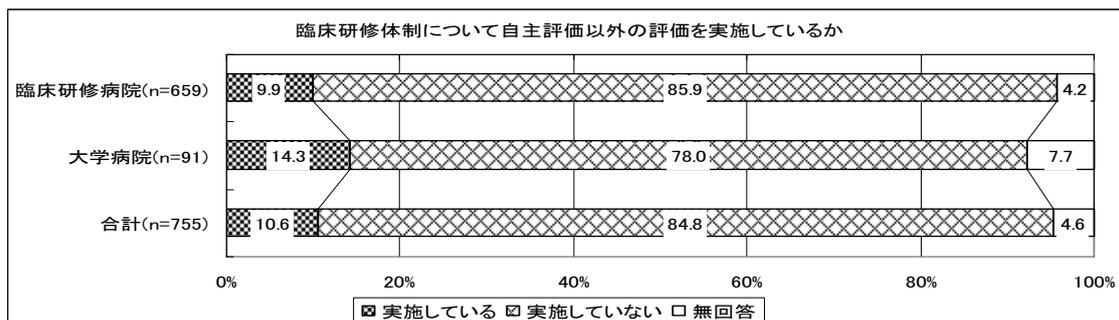
### 1) 臨床研修についての自主評価の実施の有無

臨床研修体制について、自主評価を実施しているのは、臨床研修病院では26.7%、大学病院では35.2%、自主評価していないのは、臨床研修病院では70.6%、大学病院では60.4%であった。



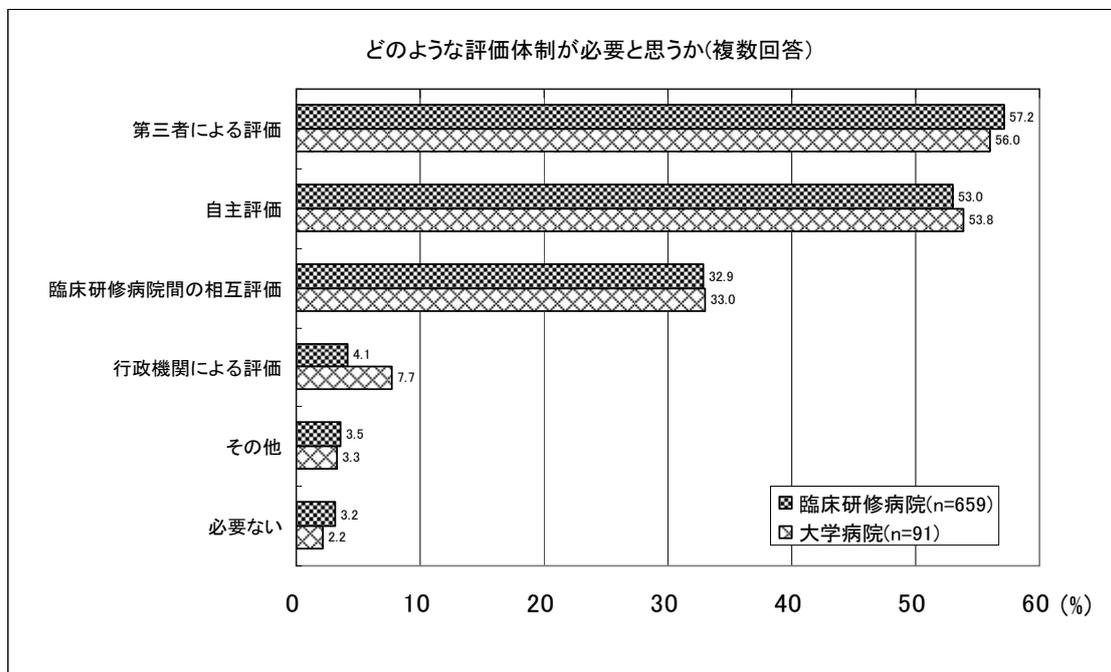
### 2) 臨床研修についての自主評価以外の評価

臨床研修体制について、自主評価以外の評価を実施しているのは、臨床研修病院では9.9%、大学病院では14.3%、自主評価以外の評価を実施していないのは、臨床研修病院では85.9%、大学病院では78.0%であった。



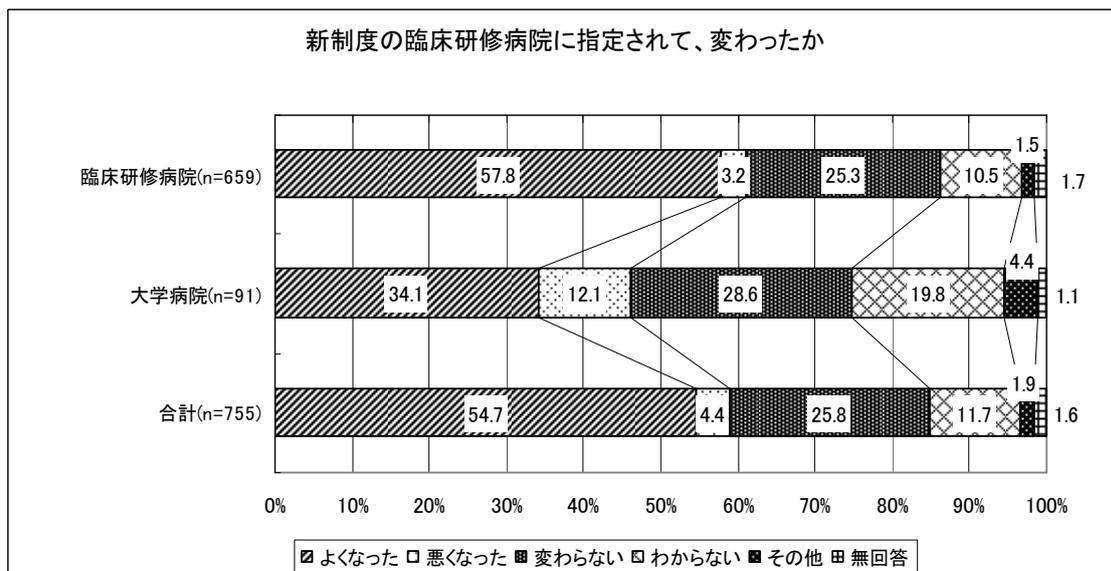
### 3) 臨床研修についての必要な評価体制について

臨床研修病院、大学病院ともに、「第三者による評価」、「自主評価」が多い。



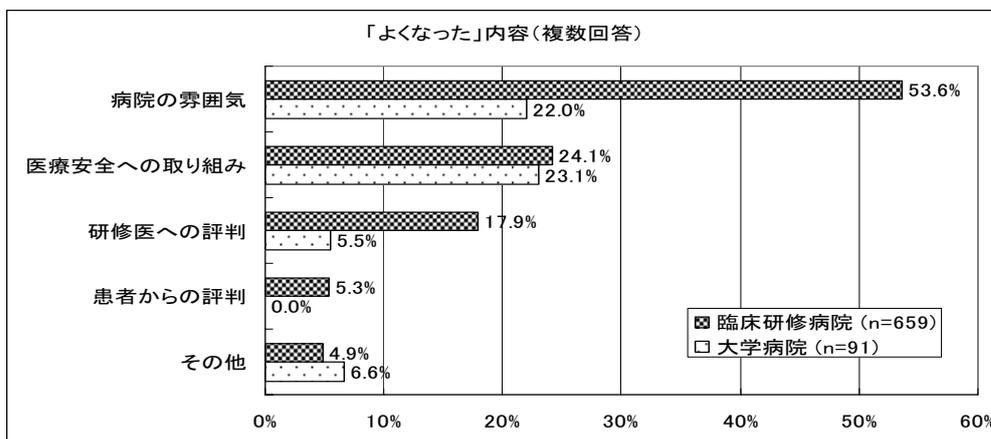
### (9) 新医師臨床研修制度による病院の変化について

1) 新制度の臨床研修病院に指定されて、「よくなった」と回答したのが臨床研修病院では57.8%、大学病院では34.1%、「悪くなった」と回答したのが臨床研修病院では3.2%、大学病院では12.1%であった。



2) よくなった内容

よくなった内容としては、「病院の雰囲気」「医療安全への取り組み」が多い。



3) 悪くなった内容

悪くなった内容としては、「研修医への評判」が多い。

